

令和7年度
豊見城市 市民意識調査
報告書



令和8年5月



豊見城市

目次

I. 調査概要.....	1
II. 調査結果.....	2
1. あなた自身のことについて	2
問 1 あなたの性別を教えてください。	
問 2 あなたの年齢を教えてください。	
問 3 あなたがお住まいになっている地区(住所地)はどちらですか。	
問 4 あなたの本市における居住年数はどの程度ですか。	
問 5 あなたの家族構成について教えてください。	
問 6 同居家族に 18 歳未満の子はいますか。	
問 7 あなたの世帯全体の過去1年間の年間収入はだいたいどれくらいになりますか。	
問 8 あなたの職業について教えてください。	
問 9 あなたの通勤・通学先について教えてください。	
2. 豊見城市全体のことについて	9
問 10 あなたは、市内に今後も住みたいと思いますか。	
問 10-2 前問で「1. ずっと住みたい」、「2. 今のところ、市外に移る予定はない」と答えた方に伺います。なぜ市内に住みたいのですか。	
問 10-3 問 10 で「3. できれば今すぐにでも市外へ移りたい」、「4. いつかは市外へ移りたい」と答えた方に伺います。なぜ市外へ移りたいのですか。	
問 11 あなたは、本市が子育てしやすい「まち」だと思いますか。	
問 11-2 前問で「2. そう思わない」と答えた方に伺います。どのような点でそう思いますか。	
問 12 観光客が豊見城市に訪れることで、あなたの生活にどのような影響を感じていますか。 良い面と悪い面で当てはまるものを選んでください。	
問 13 あなたは、本市の観光が、もっと盛んになると良いと思いますか。	
3. 地域活動について.....	19
問 14 あなたは、自分が困っている時に、自治会や公的相談所、民生委員等、相談できる機関や人をどの程度知っていますか。	
問 15 あなたは、地域活動(自治会・通り会・PT(C)Aの活動)にどの程度参加していますか。	
問 16 あなたは、現在、以下のようなボランティア活動を行っていますか。	
4. 健康、スポーツについて	22
問 17 健康のための取組や実感について、それぞれ「1. はい」「2. いいえ」でお答えください。	
問 18 あなたは、30 分以上の運動をどの程度の頻度で行っていますか。	

5. 防災・消防・救急、公共交通について 25

- 問 19 あなたが実施している防災対策は何ですか。
- 問 20 あなたは、過去5年以内に応急手当(心肺蘇生法及び AED の取扱い)の講習を受けたことがありますか。
- 問 21 あなたは、現在、公共交通機関をどの程度利用されていますか。
- 問 21-2 前問で路線バスを「5. 利用していない」と答えた方に伺います。路線バスを利用しない理由は何ですか。

6. 生活環境、自然環境について 30

- 問 22 あなたは、日常生活の中で、騒音や悪臭等の生活環境について現在困っていることがありますか。
- 問 23 あなたは、以下のような環境に優しいエコ活動として、実践していることはありますか。
- 問 23-2 前問で「6. ごみの分別・発生抑制・減量」と答えた方に伺います。ごみを減らすために日頃の暮らしの中で、どのような取組をしていますか。
- 問 24 あなたは、市内の公園をどのぐらいの頻度で利用しますか。
- 問 24-2 前問で「利用していない」と答えた方は、その理由を教えてください。

7. 男女平等、平和について 35

- 問 25 あなたは、家庭・職場・地域・社会通念・慣習など社会のあらゆる場面において、男女の地位は「平等」になっていると思いますか。
- 問 26 あなたは、家庭・職場・地域・社会全般のどのようなことに関して男女の不平等を感じますか。
- 問 27 あなたが知っている平和に関連する日はありますか。
- 問 28 あなたは、この1年間で平和について意識したり、考えたりすることはありましたか。

8. 文化財、生涯学習について 42

- 問 29 あなたは、市の指定文化財、文化財、伝統行事・芸能を知っていますか。
- 問 30 あなたは、この1年間で自発的に学習(生涯学習)したことがありますか。
- 問 30-2 前問で「1. ある」と答えた方に伺います。どのような場所・手段で学習(生涯学習)していますか。

9. 市政について 45

- 問 31 あなたは、市の情報をどのような方法で得ていますか。
- 問 31-2 前問で「9. 市の情報を得ていない」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。
- 問 32 あなたは、市民が市政に対して意見や要望を言える機会が設けられていると思いますか。
- 問 33 あなたは、この1年間で市役所職員の窓口や電話での対応(服装、挨拶、応対等)は、どのように感じていますか。



問 33-2 前問で「3. どちらかと言えば悪い」、「4. 悪い」と答えた方に伺います。どのような
点で悪い印象を感じましたか。

10. まちづくりに対する満足度、重要度について..... 50

問 34 次の(1)～(5)の分野ごとに、まちづくりに対する現在の取組状況に関する満足度
と今後取り組むべき重要度についてご意見をお聞きます。

I. 調査概要

1. 調査目的

令和3年度から開始している「第5次豊見城市総合計画」に関連する各施策の目標指標の現状値及び各施策に対する市民ニーズについて把握・分析し、今後のまちづくりへ反映させるため調査を実施した。

2. 調査の内容

- (1) あなた自身のことについて
- (2) 豊見城市全体のことについて
- (3) 地域活動について
- (4) 健康、スポーツについて
- (5) 防災、消防・救急、公共交通について
- (6) 生活環境、自然環境について
- (7) 男女平等、平和について
- (8) 文化財、生涯学習について
- (9) 市政について
- (10) まちづくりに対する満足度、重要度について

3. 調査方法

- (1) 調査期間：令和8年2月27日（金）～ 3月22日（金）
- (2) 調査対象：令和8年1月末日時点における18歳以上の市民
- (3) 対象者数：2,000名
- (4) 抽出方法：住民基本台帳から調査対象を無作為抽出
- (5) 調査方法：調査票の配布 … 郵送
調査票の回収 … 郵送、窓口提出またはWeb 回答

4. 回収結果

- (1) 回答数：603件（郵送 368件、窓口5件、Web 230件）
- (2) 回答率：30.2%
- (3) 本調査は、住民基本台帳から無作為抽出した2,000名を対象とした標本調査であり、信頼度95%における標本誤差は±4.0ポイントである。

5. 留意点

調査結果の数値は、原則として百分率（％）で表記し、小数点以下第二位を四捨五入している。また、複数回答については回答項目ごとに算定しているため、合計数値は100%にならない場合がある。

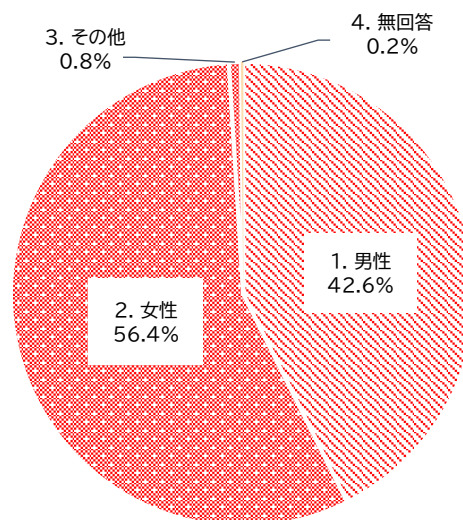
Ⅱ. 調査結果

1. あなた自身のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

● 回答者の性別は、「男性」が42.6%、「女性」が56.4%、「その他」が0.8%となっている。

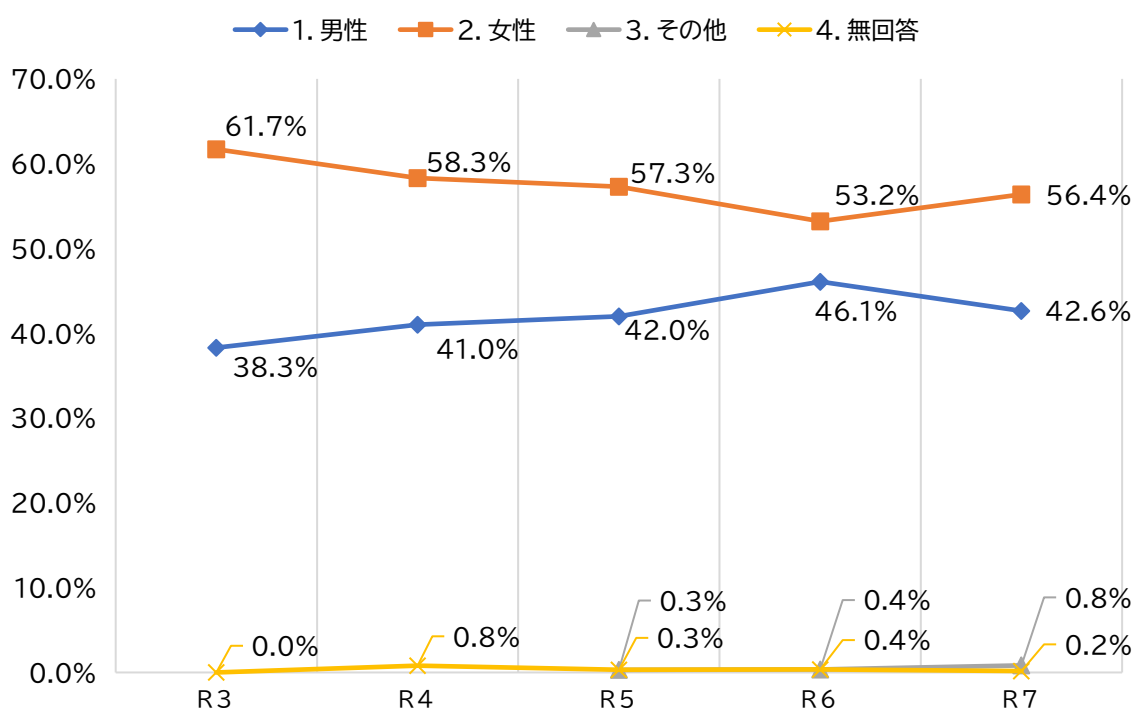
項目	回答数	構成比
1. 男性	257	42.6%
2. 女性	340	56.4%
3. その他	5	0.8%
4. 無回答	1	0.2%
計	603	100%



※令和5年度調査より、回答項目に「その他」を追加している。

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

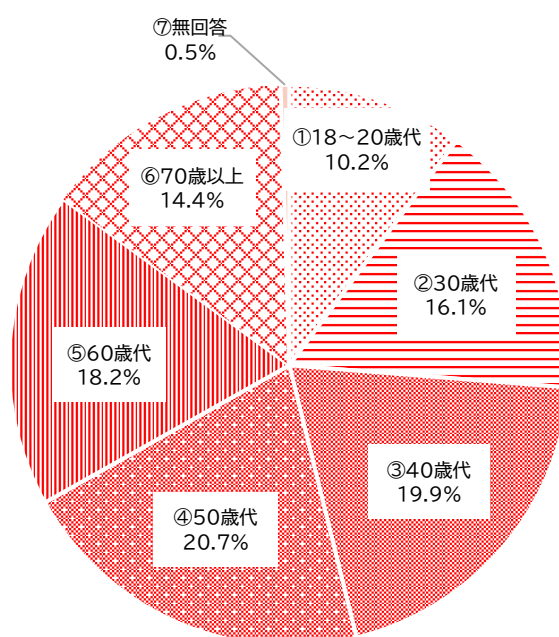
●「男性」が増加、「女性」が減少傾向から、それぞれ令和5年の水準となった。



問 2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

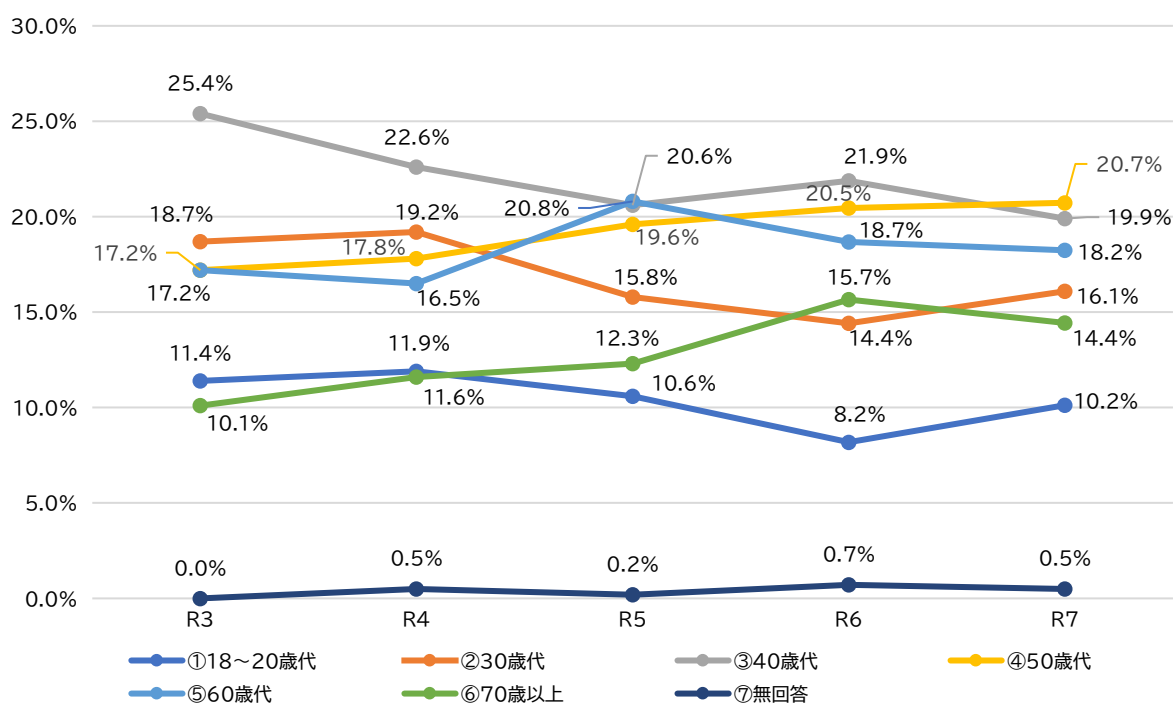
- 回答者の年齢は、「50 歳代」が 20.7%と最も多く、次いで「40 歳代」が 19.9%、「60 歳代」が 18.2%の順となっている。

項目	回答数	構成比
①18～20 歳代	61	10.2%
②30 歳代	97	16.1%
③40 歳代	120	19.9%
④50 歳代	125	20.7%
⑤60 歳代	110	18.2%
⑥70 歳以上	87	14.4%
⑦無回答	3	0.5%
計	603	100%



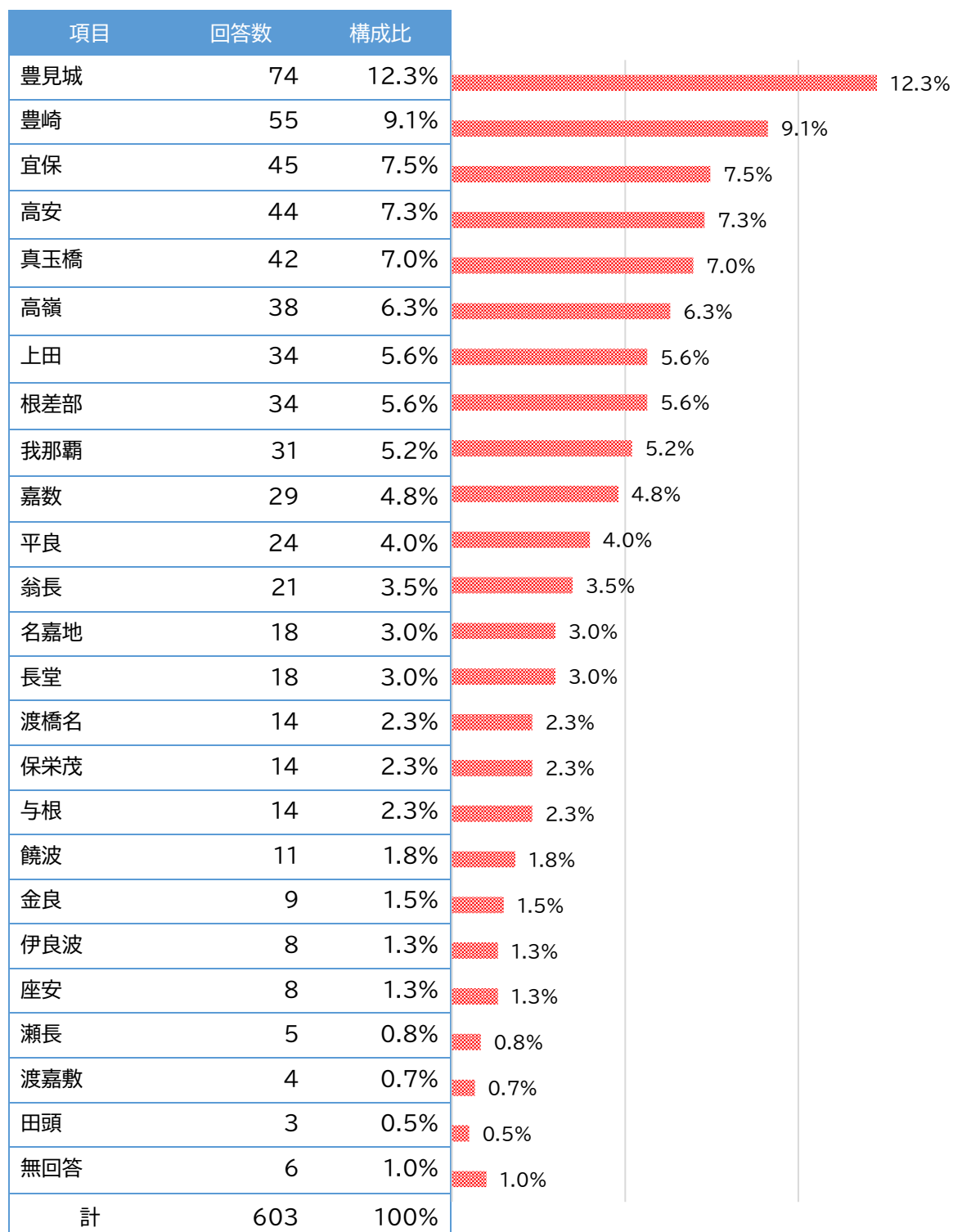
「経年比較(令和 3 年度～令和 7 年度)」

- 「50 歳代」については、経年で増加している。



問3 あなたがお住まいになっている地区(住所地)はどちらですか。(〇は1つ)

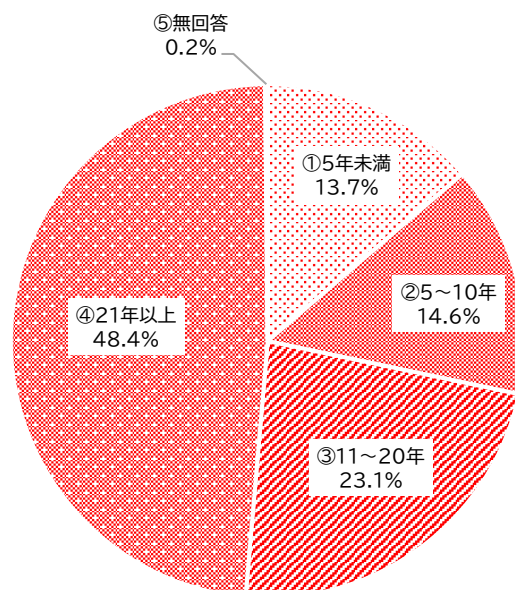
● 地区別では、「豊見城」が12.3%と最も高く、次いで「豊崎」が9.1%、「宜保」が7.5%の順となっている。



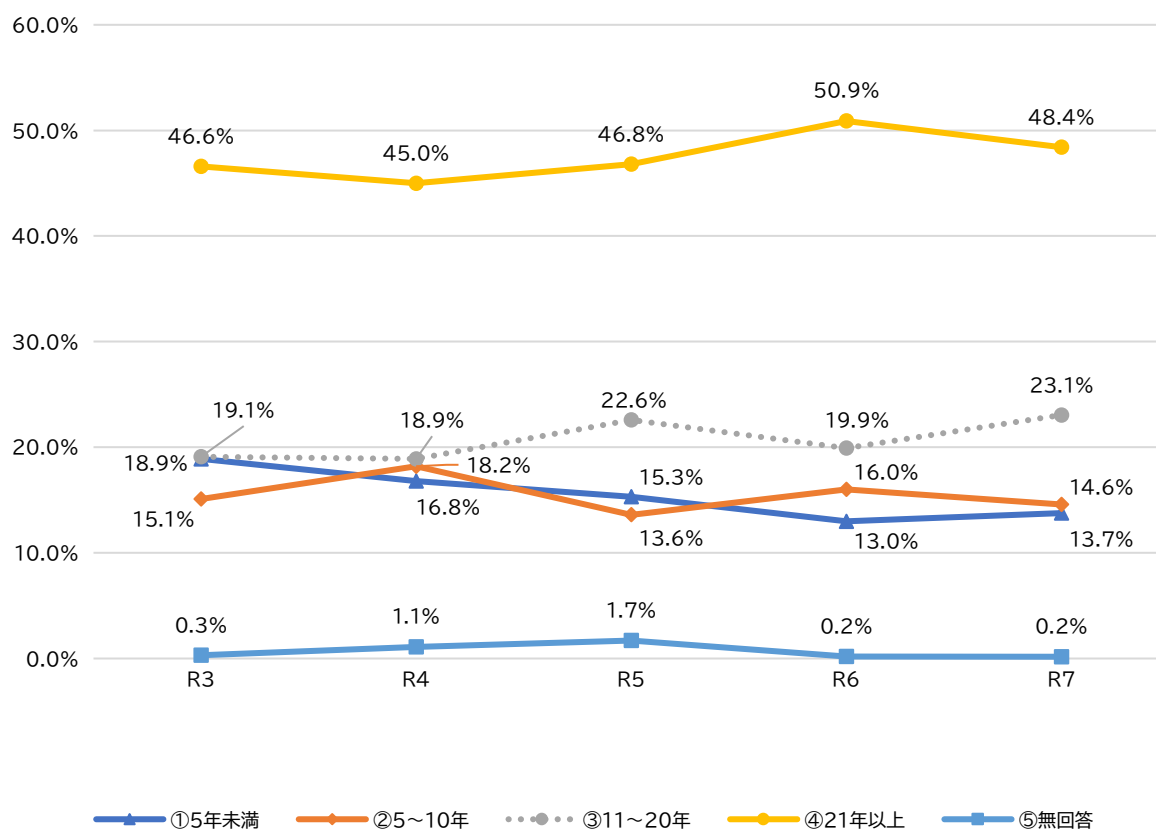
問 4 あなたの本市における居住年数はどの程度ですか。(〇は 1 つ)

- 回答者の本市での居住年数は、「21 年以上」が 48.4%と最も高く、次いで「11～20 年」が 23.1%、「5～10 年」が 14.6%の順となっている。

項目	回答数	構成比
①5 年未満	83	13.7%
②5～10 年	88	14.6%
③11～20 年	139	23.1%
④21 年以上	292	48.4%
⑤無回答	1	0.2%
計	603	100%



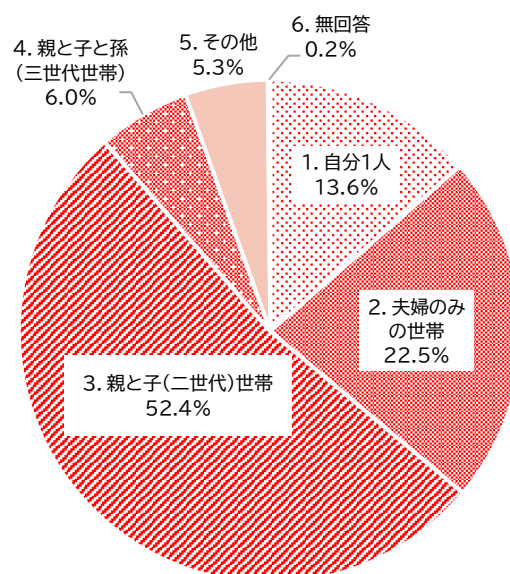
《経年比較(令和 3 年度～令和 7 年度)》



問 5 あなたの家族構成について教えてください。(〇は1つ)

- 回答者の本市での家族構成は、「親と子(二世代)世帯」が 52.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 22.5%、「自分1人」が 13.6%の順となっている。

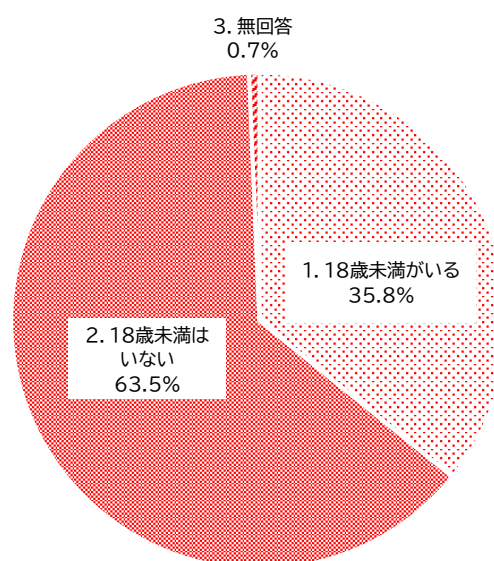
項目	回答数	構成比
①自分1人	82	13.6%
②夫婦のみの世帯	136	22.5%
③親と子(二世代)世帯	316	52.4%
④親と子と孫(三世代世帯)	36	6.0%
⑤その他	32	5.3%
⑥無回答	1	0.2%
計	603	100%



問 6 同居家族に 18 歳未満の子はいますか。(〇は1つ)

- 同居家族に「18 歳未満がいる」が 35.8%、「18 歳未満はいない」が 63.5%となっている。

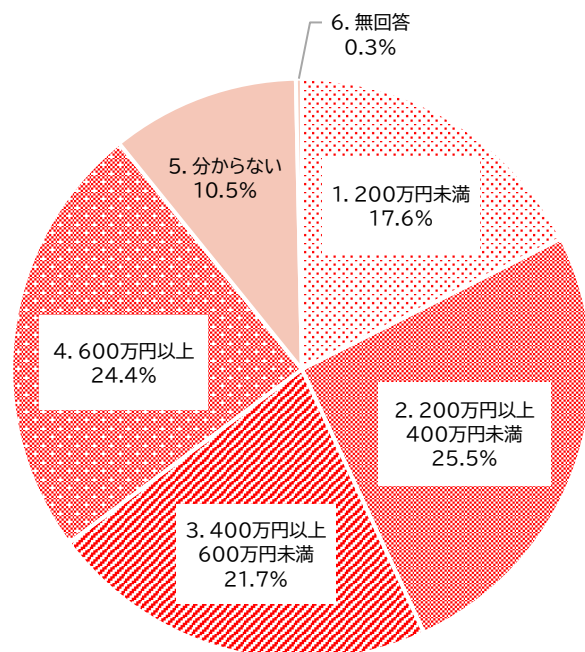
項目	回答数	構成比
①18 歳未満がいる	216	35.8%
②18 歳未満はいない	383	63.5%
③無回答	4	0.7%
計	603	100%



問 7 あなたの世帯全体の過去 1 年間の年間収入はだいたいどれくらいになりますか。(〇は 1 つ)

- 「200 万円以上 400 万円未満」が 25.5%と最も高く、次いで「600 万円以上」が 24.4%、「400 万円以上 600 万円未満」が 21.7%の順となっている。

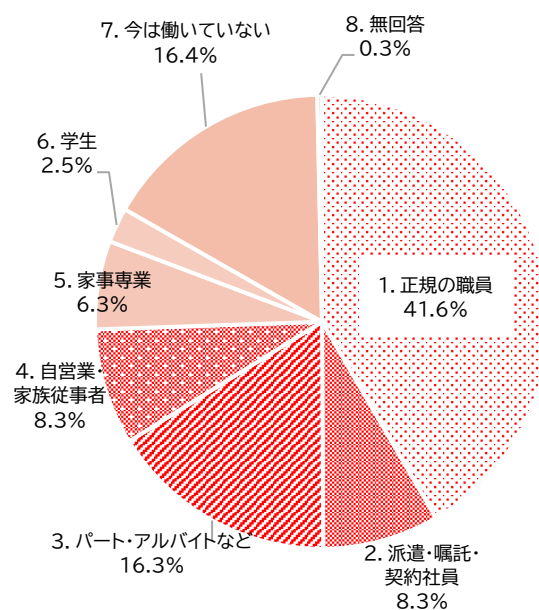
項目	回答数	構成比
①200 万円未満	106	17.6%
②200 万円以上 400 万円未満	154	25.5%
③400 万円以上 600 万円未満	131	21.7%
④600 万円以上	147	24.4%
⑤分からない	63	10.5%
⑥無回答	2	0.3%
計	603	100%



問 8 あなたの職業について教えてください。(○は1つ)

- 「正規の職員」が 41.6%と最も高く、次いで「今は働いていない」が 16.4%、「パート・アルバイトなど」が 16.3%の順となっている。

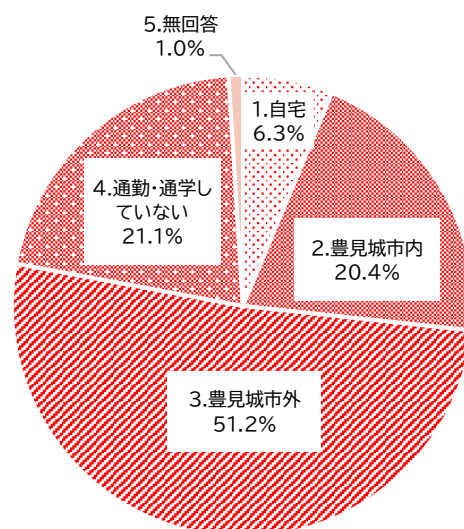
項目	回答数	構成比
①正規の職員	251	41.6%
②派遣・嘱託・契約社員	50	8.3%
③パート・アルバイトなど	98	16.3%
④自営業・家族従事者	50	8.3%
⑤家事専業	38	6.3%
⑥学生	15	2.5%
⑦今は働いていない	99	16.4%
⑧無回答	2	0.3%
計	603	100%



問 9 あなたの通勤・通学先について教えてください。(○は1つ)

- 「豊見城市外」が 51.2%と最も高く、次いで「通勤・通学していない」が 21.1%、「豊見城市内」が 20.4%の順となっている。

項目	回答数	構成比
①自宅	38	6.3%
②豊見城市内	123	20.4%
③豊見城市外	309	51.2%
④通勤・通学していない	127	21.1%
⑤無回答	6	1.0%
計	603	100%

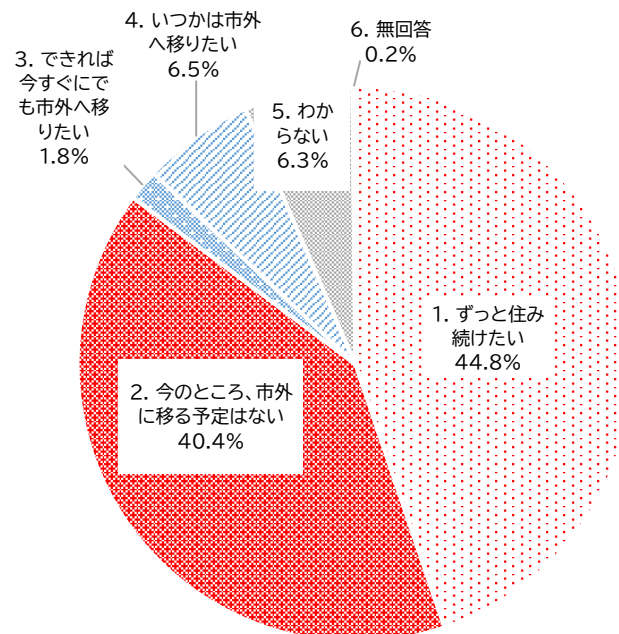


2. 豊見城市民全体のことについて

問 10 あなたは、市内に今後も住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

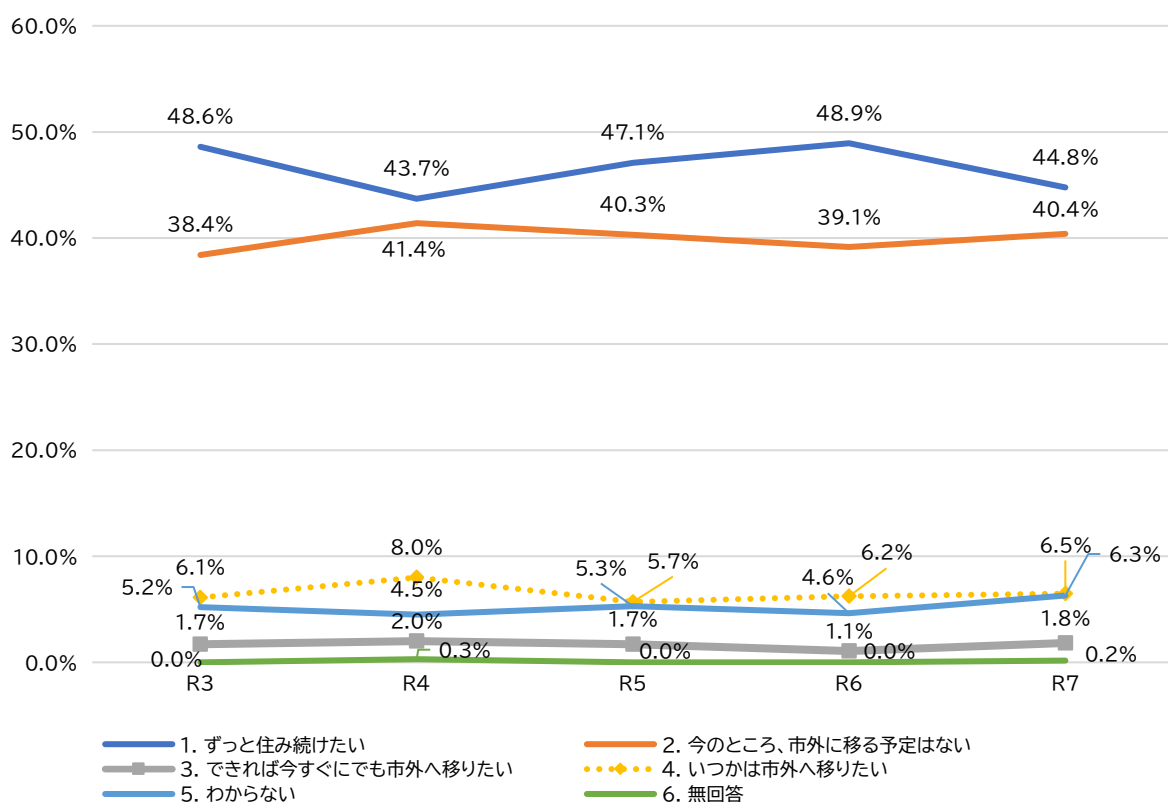
●「ずっと住み続けたい」が44.8%、次いで「今のところ、市外に移る予定はない」が40.4%となっている。

項目	回答数	構成比
1. ずっと住み続けたい	270	44.8%
2. 今のところ、市外に移る予定はない	244	40.4%
3. できれば今すぐにでも市外へ移りたい	11	1.8%
4. いつかは市外へ移りたい	39	6.5%
5. わからない	38	6.3%
6. 無回答	1	0.2%
計	603	100%



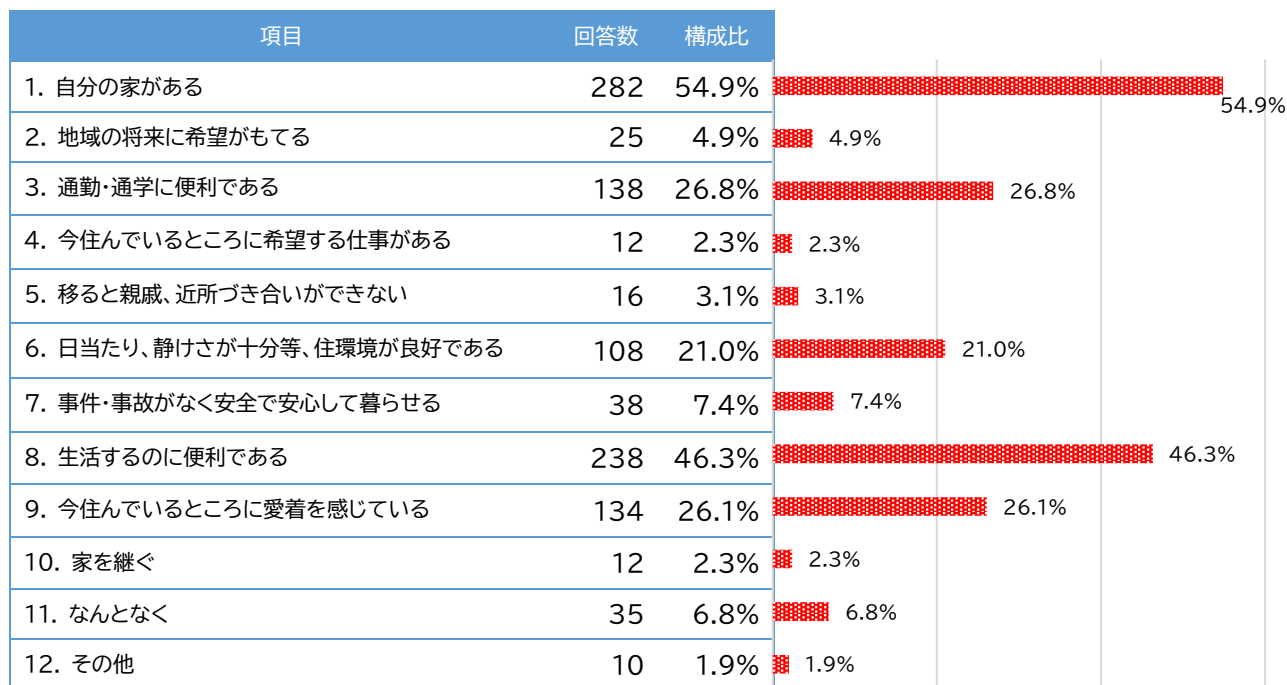
《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

●「今のところ、市外に移る予定はない」を含めた継続的な居住を希望する回答が引き続き8割以上を占めている。



問 10-2 前問で「1. ずっと住み続けたい」、「2. 今のところ、市外に移る予定はない」と答えた方に伺います。
なぜ市内に住みたいのですか。(〇は 3 つ以内)

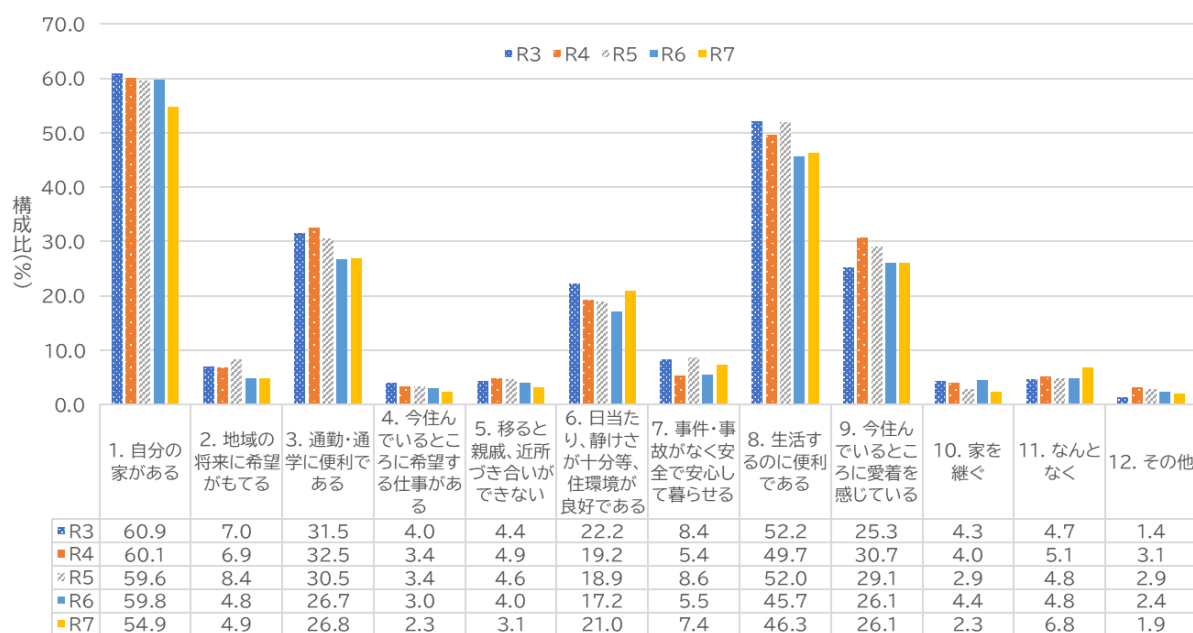
- 継続的な居住を希望すると答えた方のうち、その理由として、「自分の家がある」が 54.9%と最も高く、次いで「生活するのに便利である」が 46.3%、「通勤・通学に便利である」が 26.8%の順となっている。



※回答者数(514人)を母数として構成比を構成比を算出し、複数回答であるため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 「自分の家がある」が令和6年度と比較すると 4.9 ポイント減少している。
- 「日当たり、静けさが十分等、住環境が良好である」が令和6年度と比較すると 3.8 ポイント増加している。

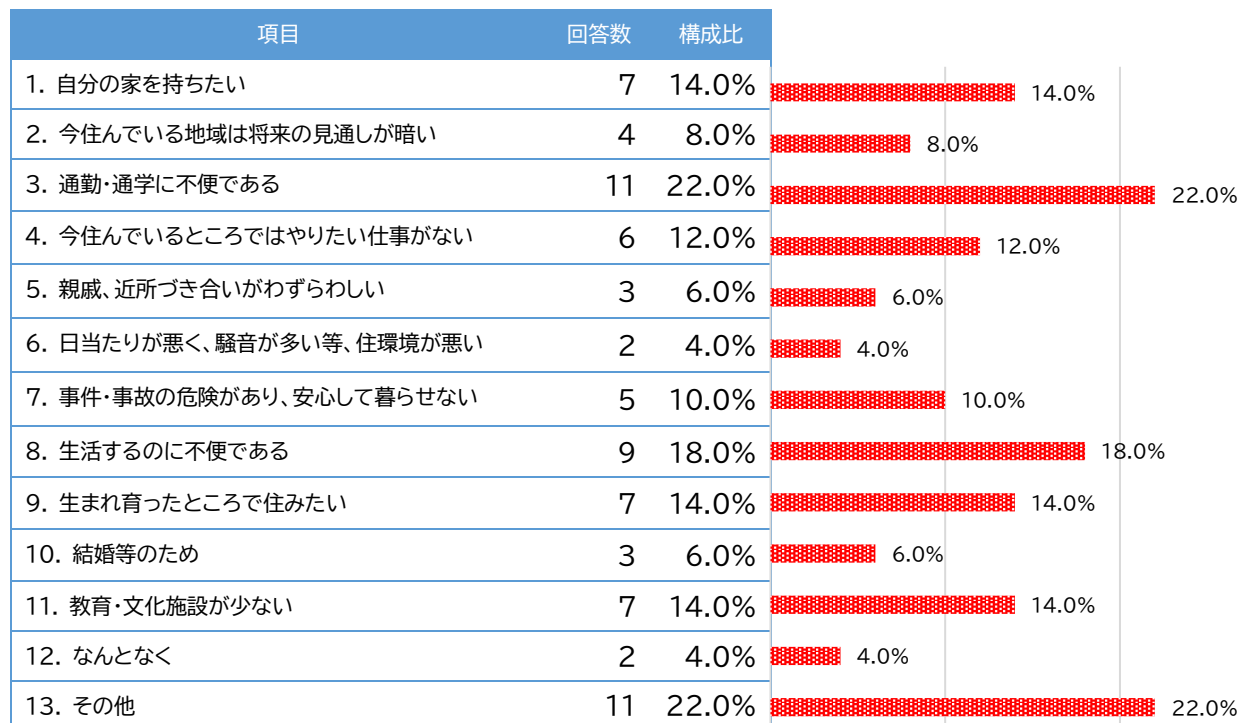


«「12.その他」の主な内容»

- ・豊見城市民が心優しく親切だから
- ・祖母の家で祖母と母の介護をしているため
- ・他に賃貸が見つからない
- ・友達が近くにいるから
- ・生まれ育った街だから
- ・家族が住んでるから
- ・家族が豊見城市に住みたいと希望しているから
- ・子供が学校に通っている
- ・子どもが転校をいやがっている

問10-3 問10で「3. できれば今すぐにでも市外へ移りたい」、「4. いつかは市外へ移りたい」と答えた方に伺います。なぜ市外へ移りたいのですか。(〇は3つ以内)

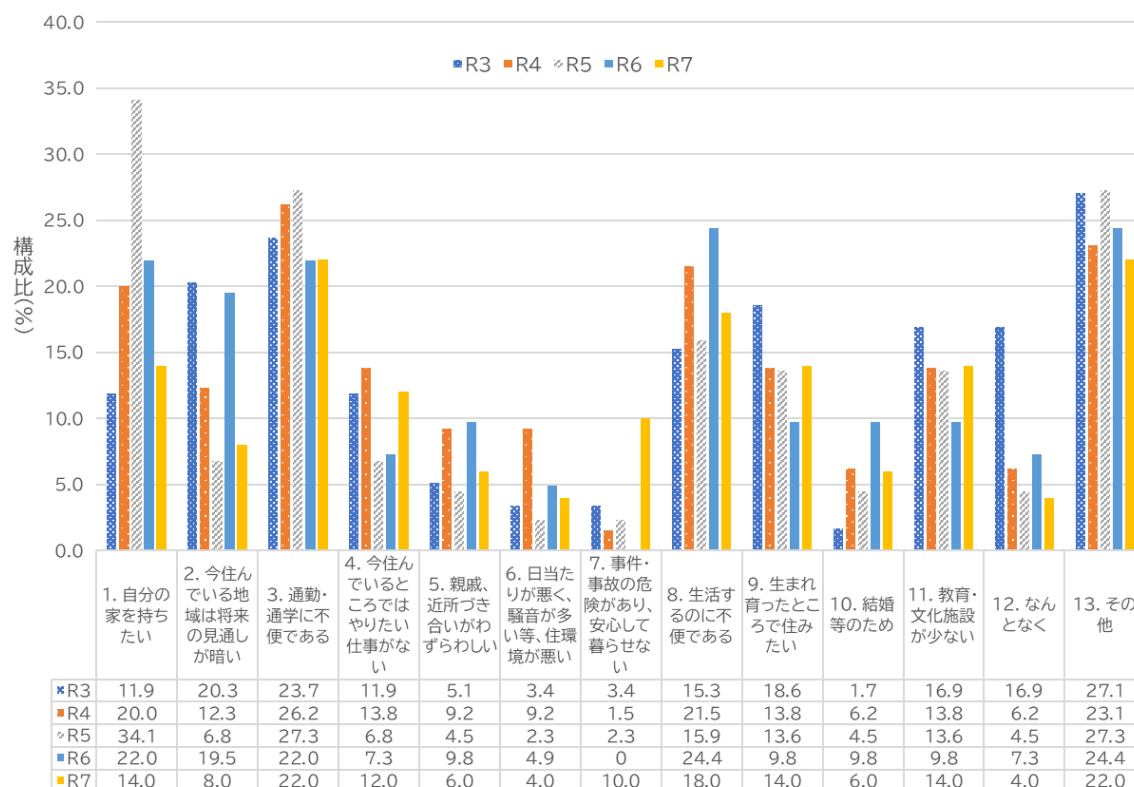
- 継続的な居住を希望しないと答えた方のうち、その理由として、「通勤・通学に不便である」「その他」が22.0%と最も高く、次いで、「生活するのに不便である」が18.0%となっている。



※回答者数(50人)を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 「自分の家を持ちたい」が令和6年度と比較すると8.0ポイント減少している。



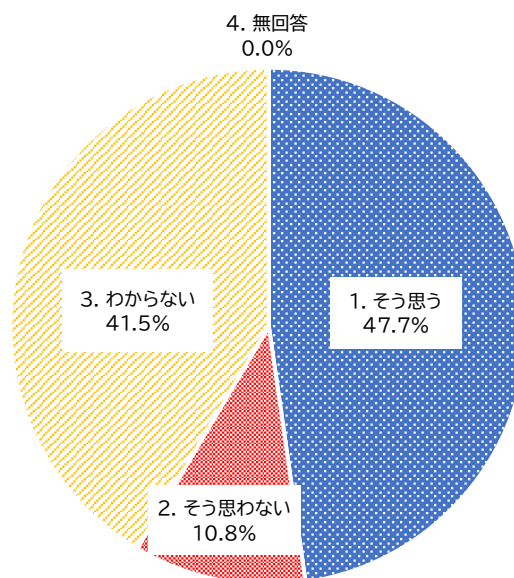
«「13.その他」の主な内容»

- ・県外で暮らす経験をしてみたい
- ・インフラ(整備)が悪く、渋滞が多い
- ・火災の対応が悪い
- ・就職で県外に行きたい
- ・周辺に路上駐車が多く迷惑
- ・那覇市など外出するときに公共交通手段がない
- ・市の工事により日当たりが悪く、騒音が多くなる等、住環境が悪くなると予想されるから
- ・夫の地元付近へ移住予定
- ・職場の近く(那覇市)に住みたいが、今住んでいる豊見城市内のアパートは快適だし、同じ仕様のアパートを那覇市では家賃が高すぎるので引っ越し出来ないでいる
- ・転勤で勤務先が県外となったため三月末で引っ越す予定である
- ・豊見城の市民税が高いのと家賃相場が高いから

問 11 あなたは、本市が子育てしやすい「まち」だと思いますか。(〇は 1 つ)

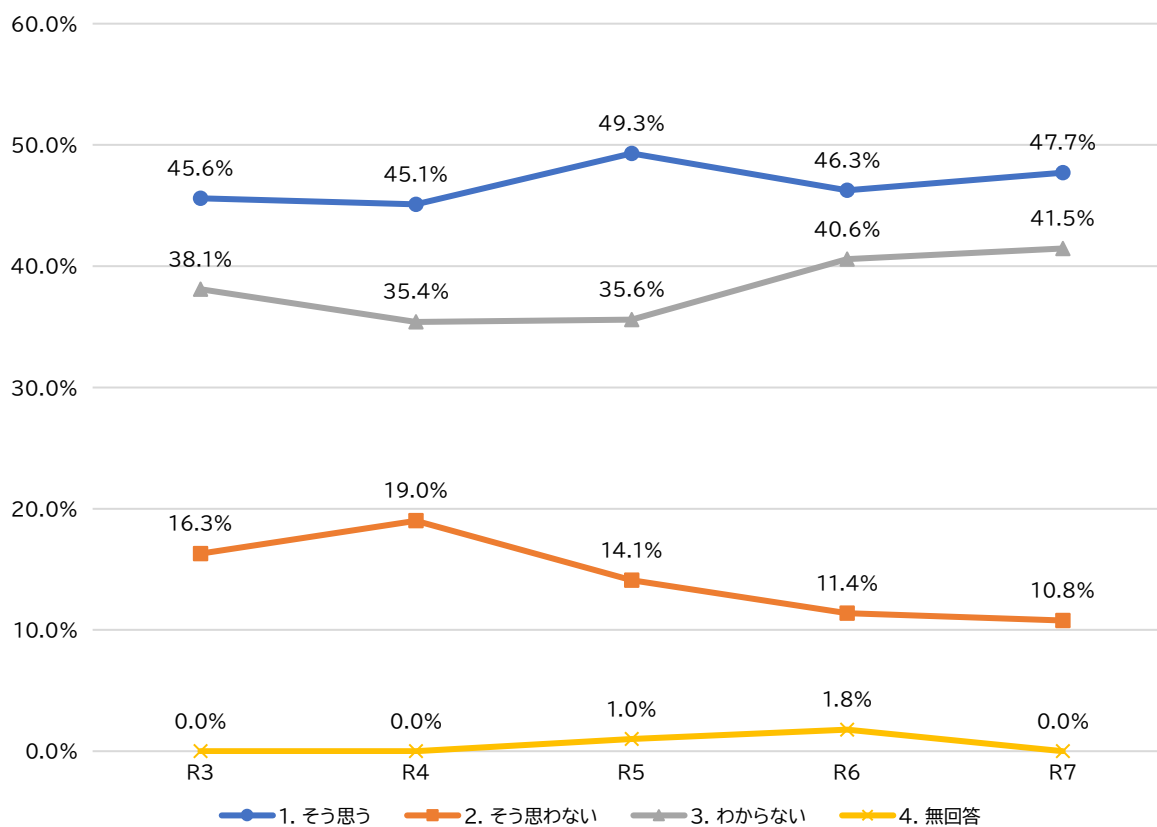
- 子育てのしやすさについて、「そう思う」が 47.7%と最も高く、次いで「わからない」が 41.5%、「そう思わない」が 10.8%となっている。

項目	回答数	構成比
1. そう思う	288	47.7%
2. そう思わない	65	10.8%
3. わからない	250	41.5%
4. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



《経年比較(令和 3 年度～令和 7 年度)》

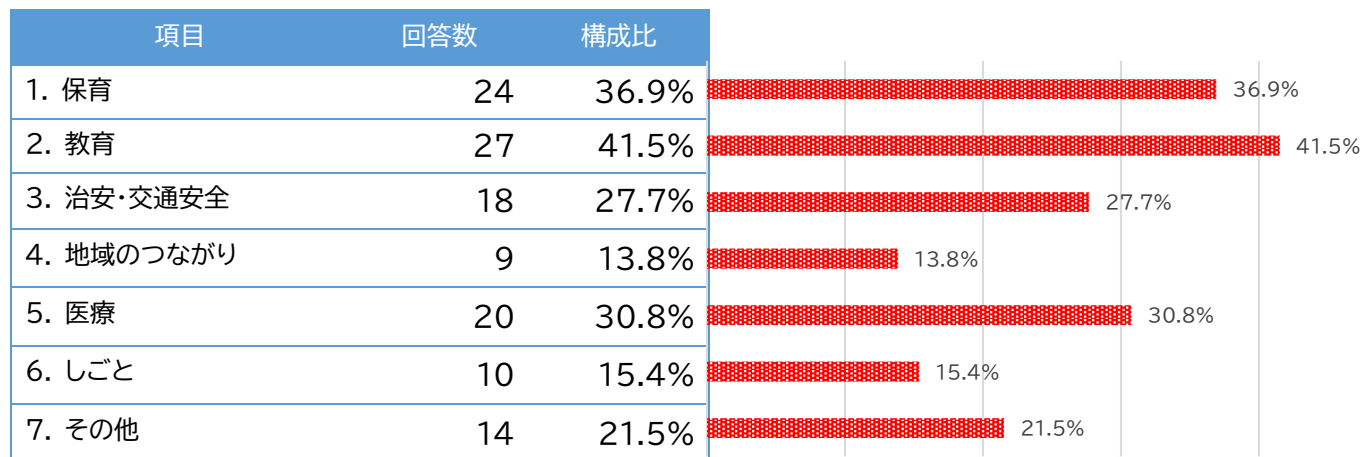
- 全体的に概ね横ばいの推移となっているが「そう思わない」が令和 4 年度から減少傾向にある。



問 11-2 前問で「2. そう思わない」と答えた方に伺います。どのような点でそう思いますか。

(あてはまるもの全てに○)

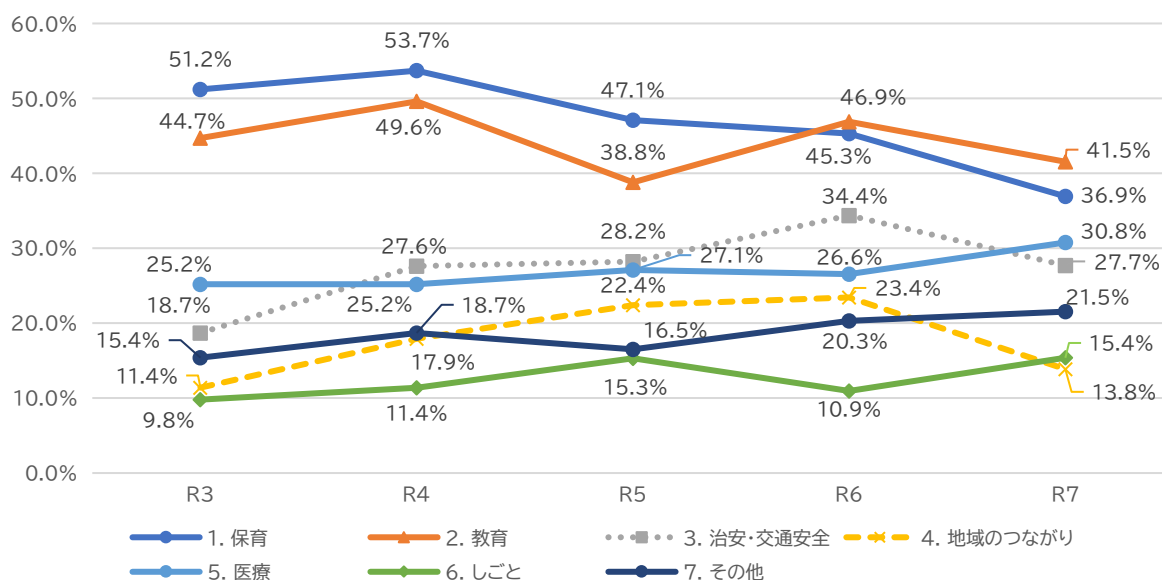
- 子育てしやすいと思わないと答えた方のうち、その理由として、「教育」が 41.5%と最も高く、次いで「保育」が 36.9%、「医療」が 30.8%の順となっている。



※回答者数（65 人）を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が 100%を超過している。

《経年比較(令和 3 年度～令和7年度)》

- 「保育」が直近 4 年間に於いて、減少傾向にある。
- 「医療」が増加傾向にある。



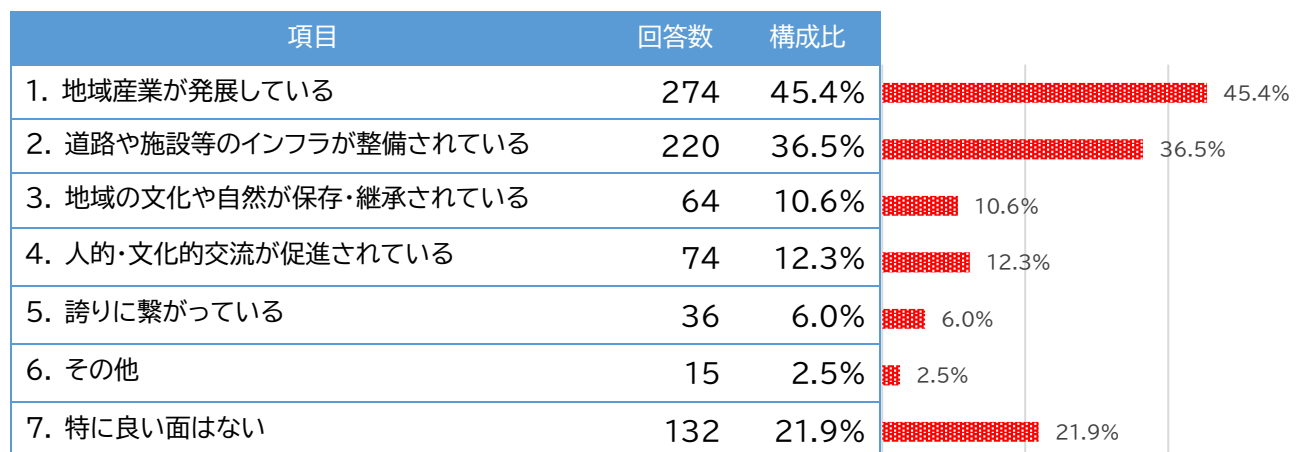
《「7. その他」の主な内容》

- ・坂が長い
- ・子ども医療費を 18 歳までにしてほしい
- ・子育て支援が充実していない
- ・公園や児童館が少ない
- ・学校区が遠い
- ・ひとり親の支援
- ・税金が高い、道路が整備されていない
- ・産後ケアの充実
- ・家賃が高く、観光客が多いため物価も高い 他 2 件

問 12 観光客が豊見城市に訪れることで、あなたの生活にどのような影響を感じていますか。良い面と悪い面で、当てはまるものを全て選んでください。

【良い面】

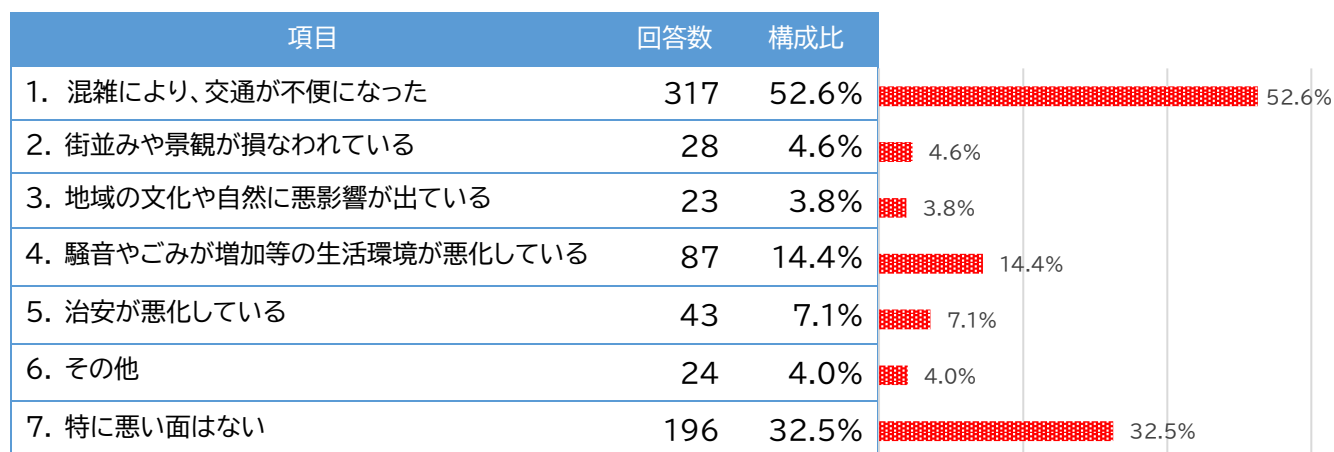
- 良い面については、「地域産業が発展している」が 45.4%、「道路や施設等のインフラが整備されている」が 36.5%となっている。



※回答者数（603 人）を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が 100%を超過している。

【悪い面】

- 悪い面について、「混雑により、交通が不便になった」が 52.6%、「特に悪い面はない」が 32.5%となっている。



※回答者数（603 人）を母数として構成比算出し、複数回答であるため、合計が 100%を超過している。



《「6. その他」の主な内容》

【良い面】

- ・空港に近い
- ・子どもがいない
- ・わからない
- ・観光客はそんなにきていないと思う

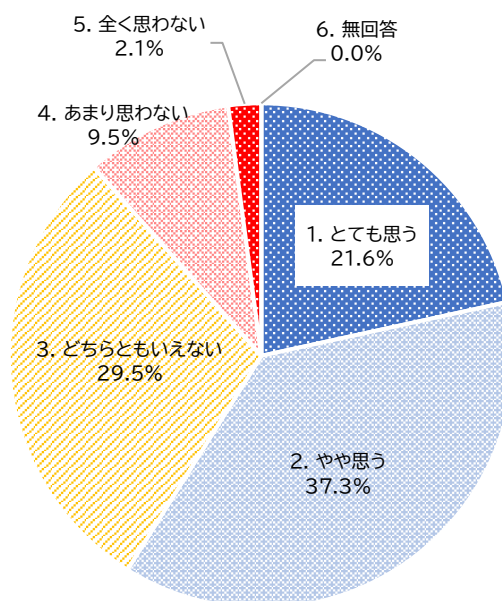
【悪い面】

- ・渋滞が多い、一車線道路が多すぎるため二車線にすべき
- ・バスなどの本数不足、時間の遅れ(公共交通面)
- ・道路、下水道などのインフラが遅れている
- ・土地の高値
- ・レンタカーの駐車場が多すぎる
- ・普通に買い物したいのに免税制度でレジが混む
- ・私道への観光客の出入り
- ・モノレールが利用できない
- ・瀬長島等以前はゲームセンター、バッティング、小さな安いゴーカートの場所があって子ども達をつれて楽しめた。今は高いお店がならびお客さんもほとんどいない。地域の人も観光客も楽しめていない様子を感じる。
- ・車がなかったら不便
- ・レンタカー屋が増えて不自然
- ・わからない

問 13 あなたは、本市の観光が、もっと盛んになると良いと思いますか。(〇は1つ)

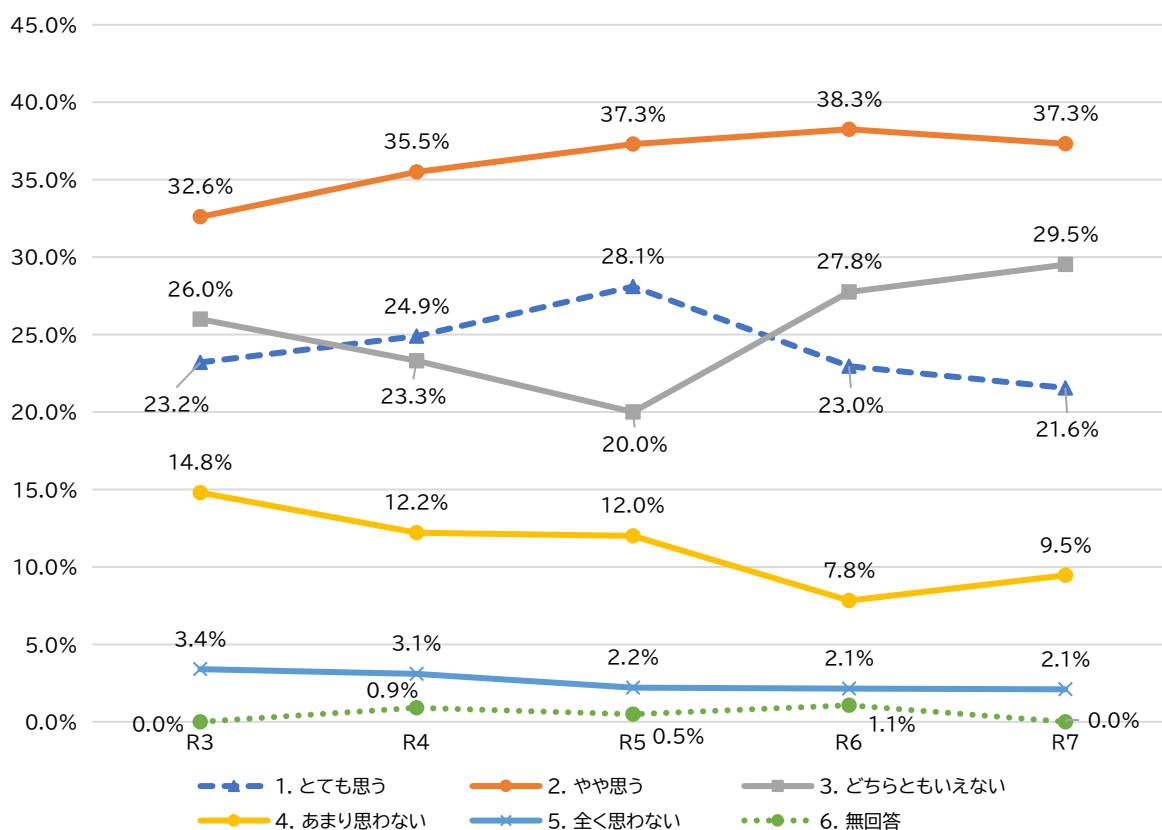
- 観光が盛んになると良いという回答について、「やや思う」が37.3%、「どちらともいえない」が29.5%となっている。

項目	回答数	構成比
1. とても思う	130	21.6%
2. やや思う	225	37.3%
3. どちらともいえない	178	29.5%
4. あまり思わない	57	9.5%
5. 全く思わない	13	2.1%
6. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 令和5年度をピークに「とても思う」が減少傾向にある。
- 令和6年度と比較して、「どちらともいえない」、「あまり思わない」がともに1.7ポイント増加している。

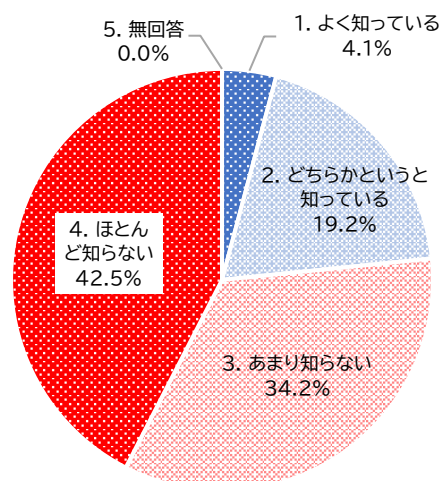


3. 地域活動について

問 14 あなたは、自分が困っている時に、自治会や公的相談所、民生委員等、相談できる機関や人をどの程度知っていますか。(〇は1つ)

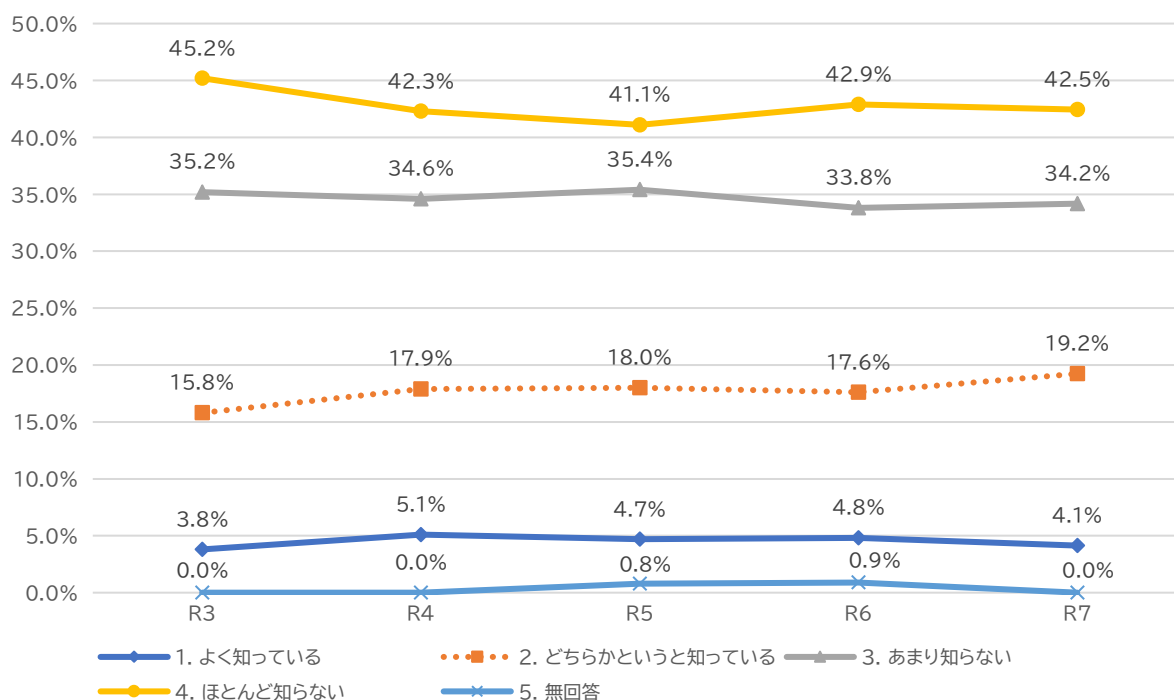
- 困っている時に相談できる機関や人について、「ほとんど知らない」が42.5%で最も高く、次いで、「あまり知らない」が34.2%となっている。

項目	回答数	構成比
1. よく知っている	25	4.1%
2. どちらかという知っている	116	19.2%
3. あまり知らない	206	34.2%
4. ほとんど知らない	256	42.5%
5. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

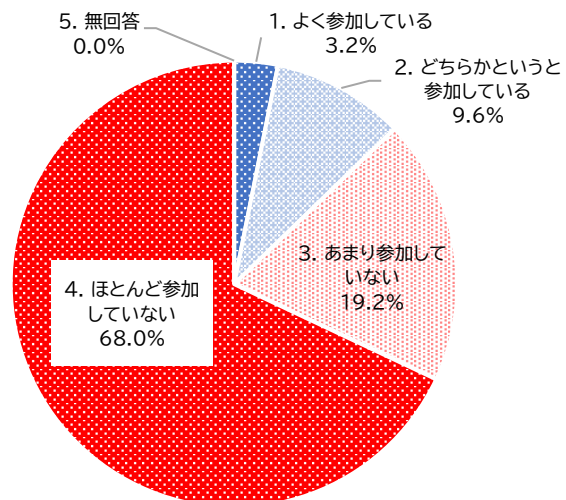
- 全体的に概ね横ばいの推移となっている。
- 「あまり知らない」及び「ほとんど知らない」の2項目が全体の7割以上を占めている。



問 15 あなたは、地域活動(自治会・通り会・PT(C)Aの活動)にどの程度参加していますか。(〇は 1 つ)

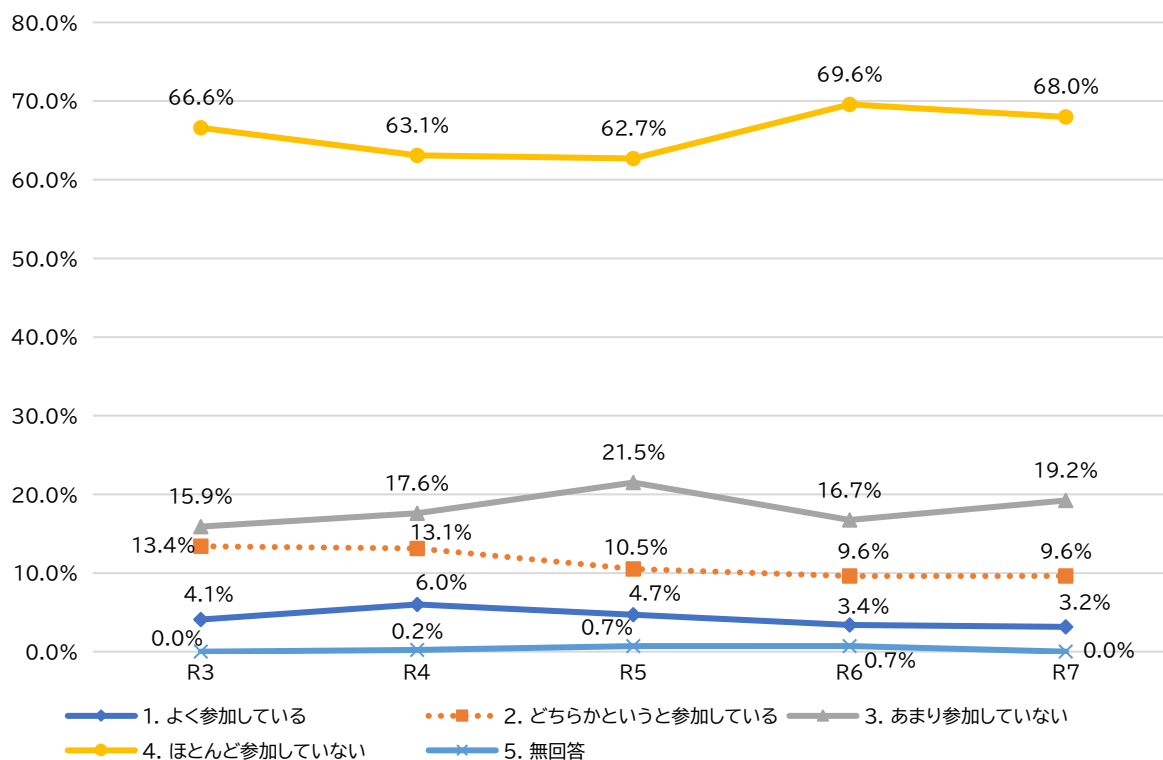
- 地域活動について、「ほとんど参加していない」が 68.0%と最も高く、次いで、「あまり参加していない」が 19.2%となっている。

項目	回答数	構成比
1. よく参加している	19	3.2%
2. どちらかというに参加している	58	9.6%
3. あまり参加していない	116	19.2%
4. ほとんど参加していない	410	68.0%
5. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



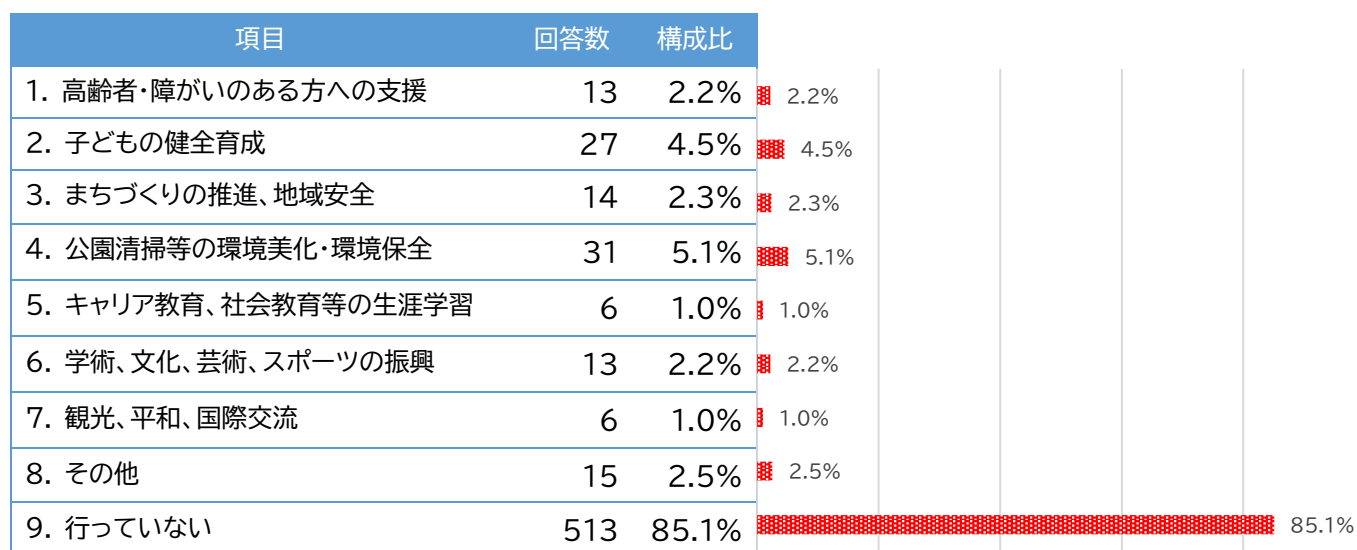
《経年比較(令和 3 年度～令和 7 年度)》

- 直近 5 年間ににおいては、「ほとんど参加していない」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が非常に大きい状況が続いている。
- 「ほとんど参加していない」「あまり参加していない」の 2 項目が全体の 8 割以上を占めている。



問 16 あなたは、現在、以下のようなボランティア活動を行っていますか。(あてはまるもの全てに○)

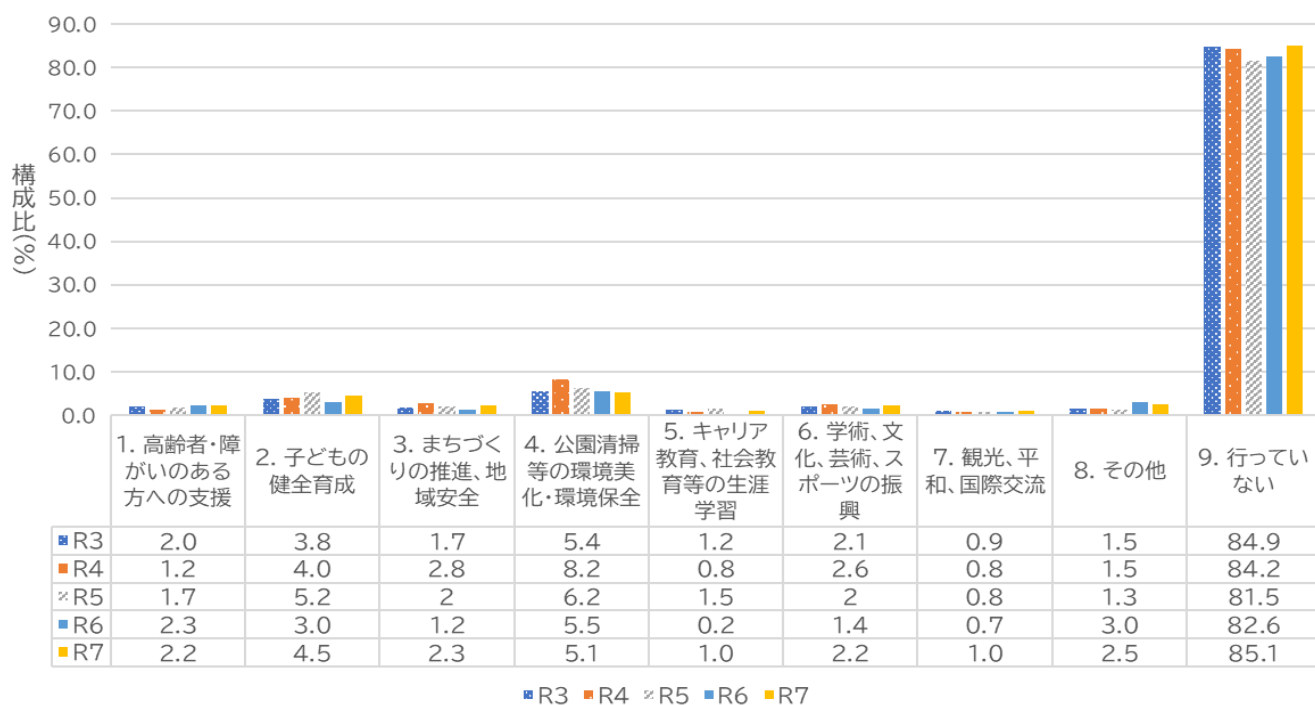
- ボランティア活動について、「行っていない」が 85.1%と最も高く、次いで「公園清掃等の環境美化・環境保全」が 5.1%となっている。



※回答者数（603 人）を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が 100%を超過している。

《経年比較(令和 3 年度～令和 7 年度)》

- 直近 5 年間においては、「行っていない」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が非常に大きい状況が続いている。



《「8.その他」の主な内容》

- ・フードバンク ・ 養育里親 ・ 飲酒の問題がある方への支援 ・ 医療施設ケア ・ 献血
- ・子育てに悩んでいる知人の子どもを預り支援 ・ 飲酒の問題がある方への支援 等

4. 健康、スポーツについて

問 17 以下の健康のための取組や実感について、それぞれ「1.はい」「2.いいえ」でお答えください。

項目	はい		いいえ		無回答	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
健康診断を1年に1回は受診している	463	76.8%	131	21.7%	9	1.5%
	76.8%		21.7%		1.5%	
自分の歯が 24 本以上ある(親知らず、差し歯含む)※インプラントや入れ歯は含まない	460	76.3%	138	22.9%	5	0.8%
	76.3%		22.9%		0.8%	
歯間ブラシまたはフロスを毎日使っている	315	52.2%	282	46.8%	6	1.0%
	52.2%		46.8%		1.0%	
朝食を週に5日以上食べる	468	77.6%	123	20.4%	12	2.0%
	77.6%		20.4%		2.0%	
ごはん(パン・麺)、肉(魚、卵、大豆製品)、野菜の3つが含まれる食事を1日2回以上をほぼ毎日食べる	486	80.6%	111	18.4%	6	1.0%
	80.6%		18.4%		1.0%	
家族や知人と一緒に食事を食べることが週に3日以上ある	427	70.8%	171	28.4%	5	0.8%
	70.8%		28.4%		0.8%	

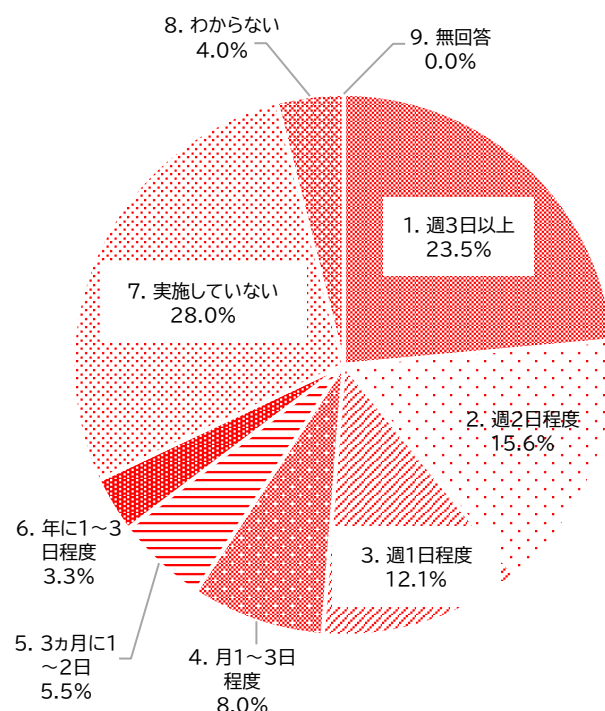


全項目	はい		いいえ		無回答	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
30分に1回は座りっぱなしを中断するようにしている	183	30.4%	412	68.3%	8	1.3%
						
1日の平均睡眠時間が6時間以上ある	422	70.0%	171	28.3%	10	1.7%
						
最近の生活で悩み、ストレスを感じる事が「ややある」又は「非常にある」	340	56.4%	254	42.1%	9	1.5%
						
悩みやストレスをリフレッシュする方法がある	459	76.1%	135	22.4%	9	1.5%
						
個人的な気持ちや悩みを打ち明けることのできる人がある	482	79.9%	115	19.1%	6	1.0%
						
お酒を「週5日以上飲む」又は「週3回以上ほろ酔い状態よりも多く飲む」	129	21.4%	470	77.9%	4	0.7%
						
たばこ(電子タバコ含む)を吸う	86	14.3%	511	84.7%	6	1.0%
						

問 18 あなたは、30 分以上の運動をどの程度の頻度で行っていますか。(〇は 1 つ)

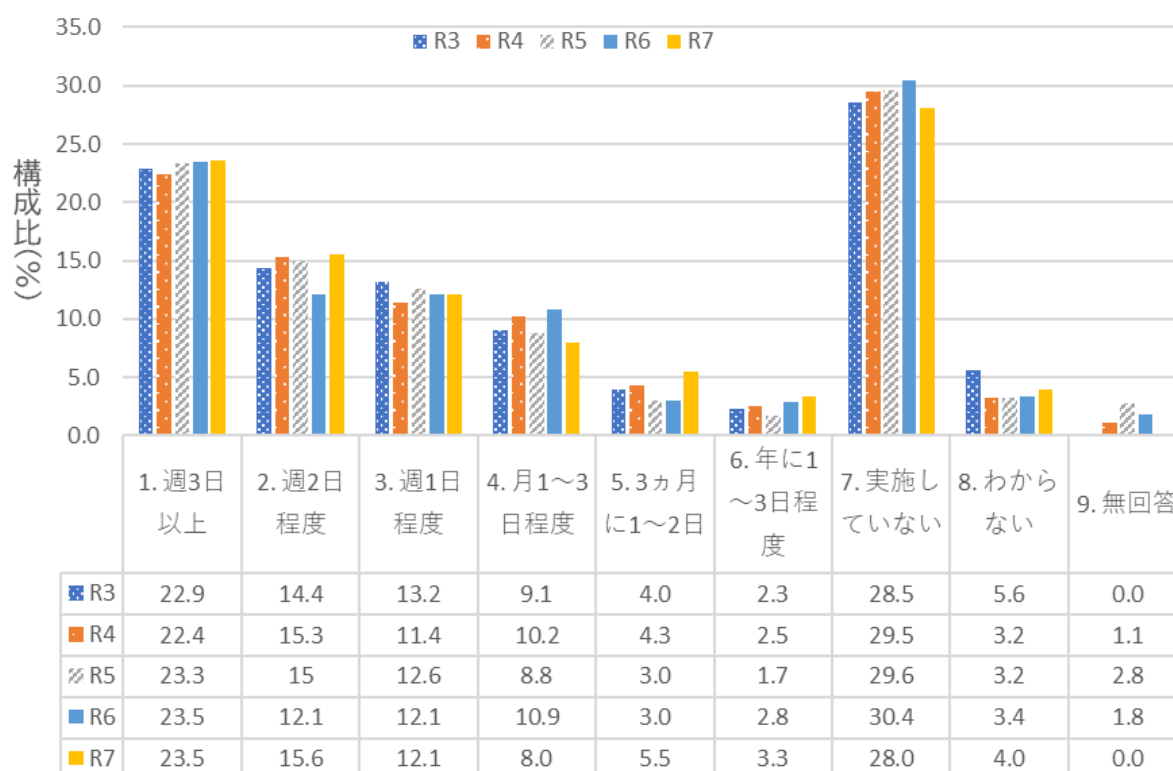
- 運動の頻度について、「実施していない」が 28.0%と最も高く、次いで、「週3日以上」が 23.5%、「週2日程度」が 15.6%の順となっている。

項目	回答数	構成比
1. 週 3 日以上	142	23.5%
2. 週 2 日程度	94	15.6%
3. 週 1 日程度	73	12.1%
4. 月 1～3 日程度	48	8.0%
5. 3 ヶ月に 1～2 日	33	5.5%
6. 年に 1～3 日程度	20	3.3%
7. 実施していない	169	28.0%
8. わからない	24	4.0%
9. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



《経年比較(令和 3 年度～令和 7 年度)》

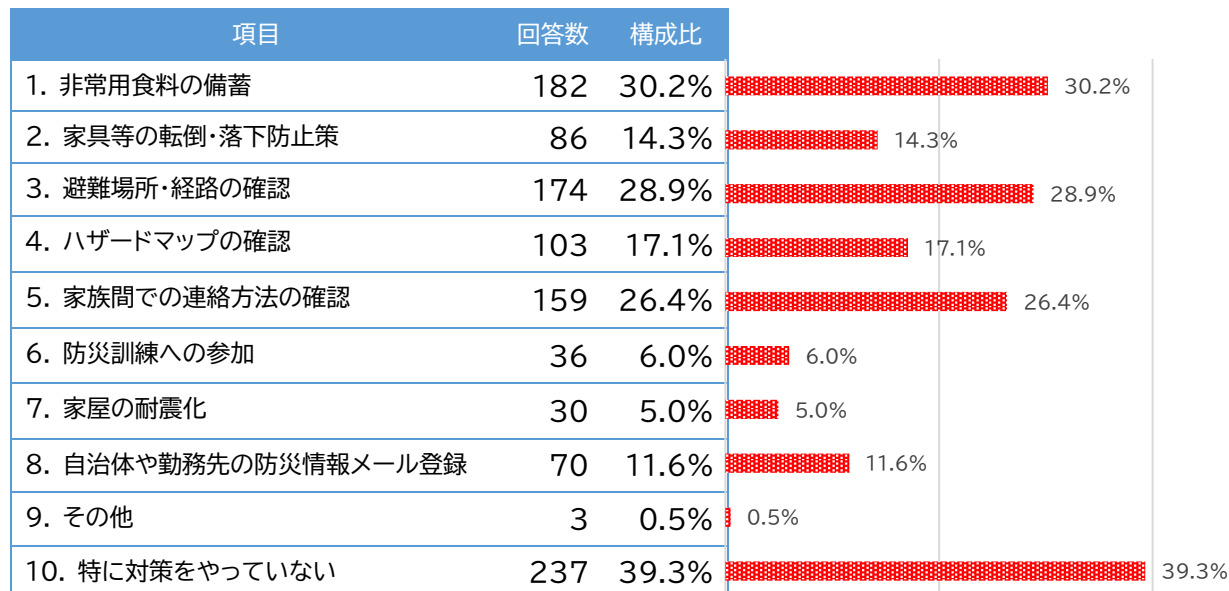
- 直近 5 年においては、「実施していない」が、最も高いポイントを継続している。



5. 防災、消防・救急、公共交通について

問 19 あなたが実施している防災対策は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

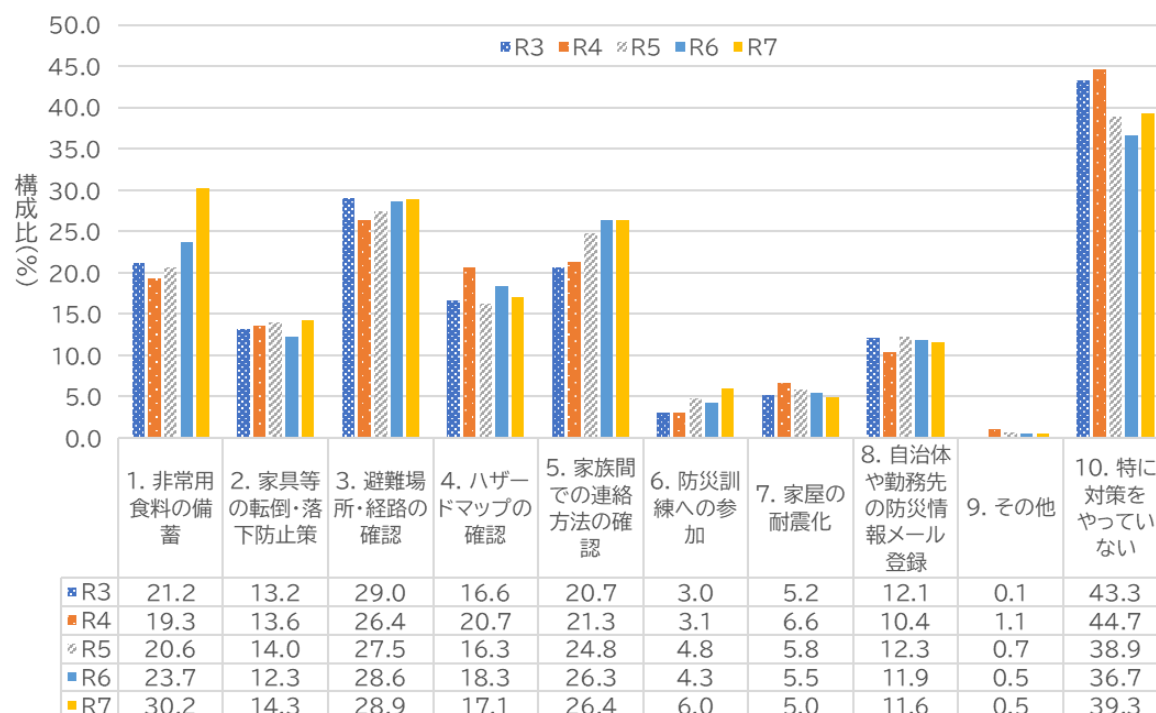
- 防災対策について、「特に対策をやっていない」が 39.3%と最も高く、次いで、「非常用食料の備蓄」が 30.2%、「避難場所・経路の確認」が 28.9%の順となっている。



※回答者数（603 人）を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が 100%を超過している。

《経年比較(令和 3 年度～令和 7 年度)》

- 「非常用食料の備蓄」が、令和6年度と比較して、6.5 ポイント増加している。



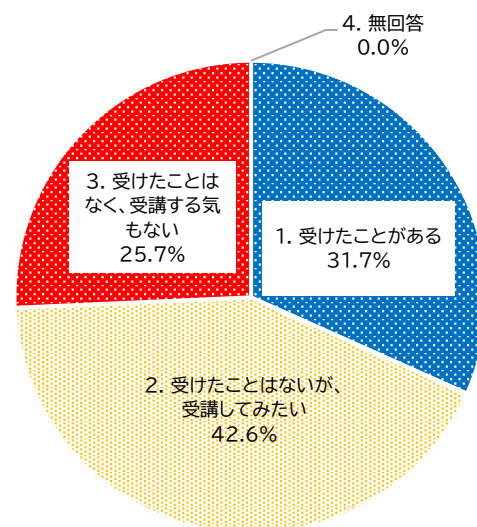
《「9.その他」の主な内容》

- ・ 防火管理者の資格を持っている
- ・ 職能団体や職場での防災研修等への参加

問 20 あなたは、過去 5 年以内に応急手当(心肺蘇生法及び AED の取扱い)の講習を受けたことがありますか。(〇は 1 つ)

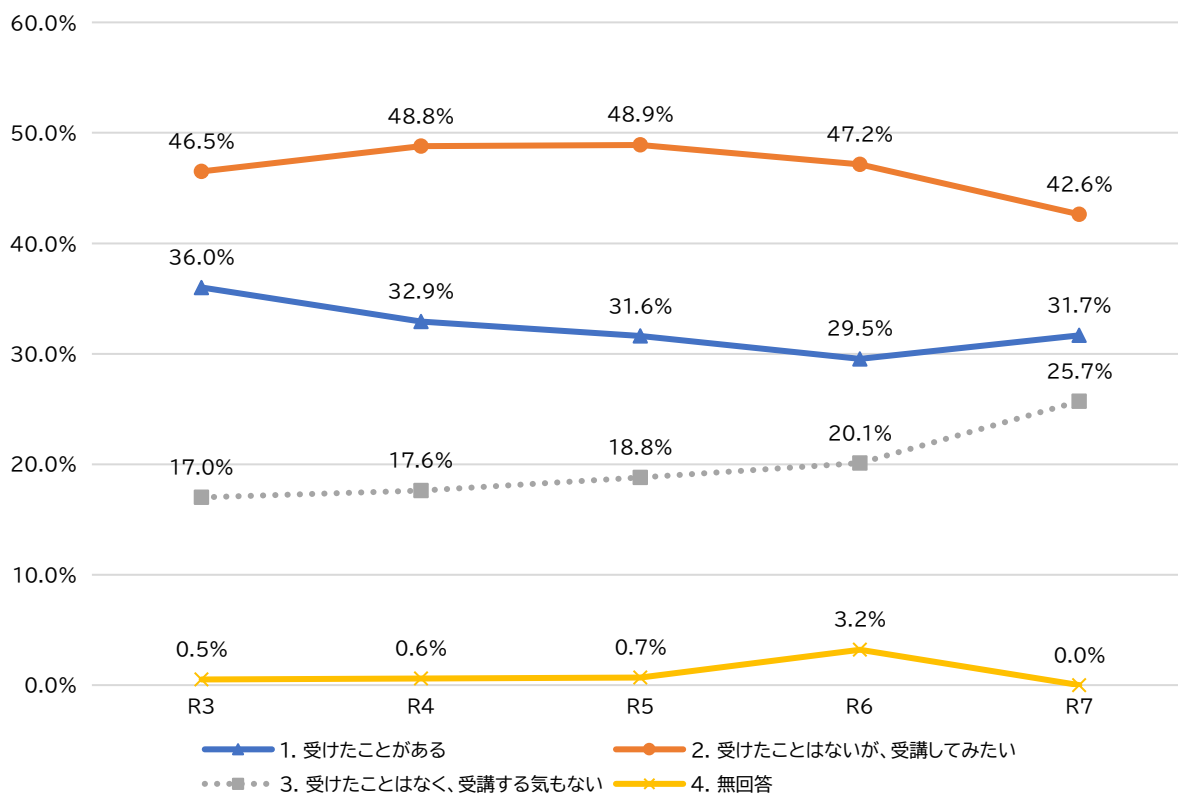
- 過去5年以内の応急手当の講習受講について、「受けたことはないが、受講してみたい」が 42.6%と最も高く、次いで、「受けたことがある」が 31.7%となっている。

項目	回答数	構成比
1. 受けたことがある	191	31.7%
2. 受けたことはないが、受講してみたい	257	42.6%
3. 受けたことはなく、受講する気もない	155	25.7%
4. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



《経年比較(令和 3 年度～令和 7 年度)》

- 直近 5 年間ににおいては、「受けたことはなく、受講する気もない」が増加傾向にある。

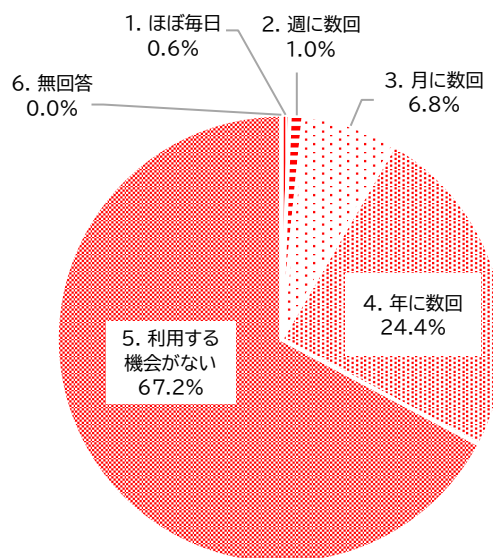


問 21 あなたは、現在、公共交通機関をどの程度利用されていますか。(それぞれに○を1つ)

【モノレール】

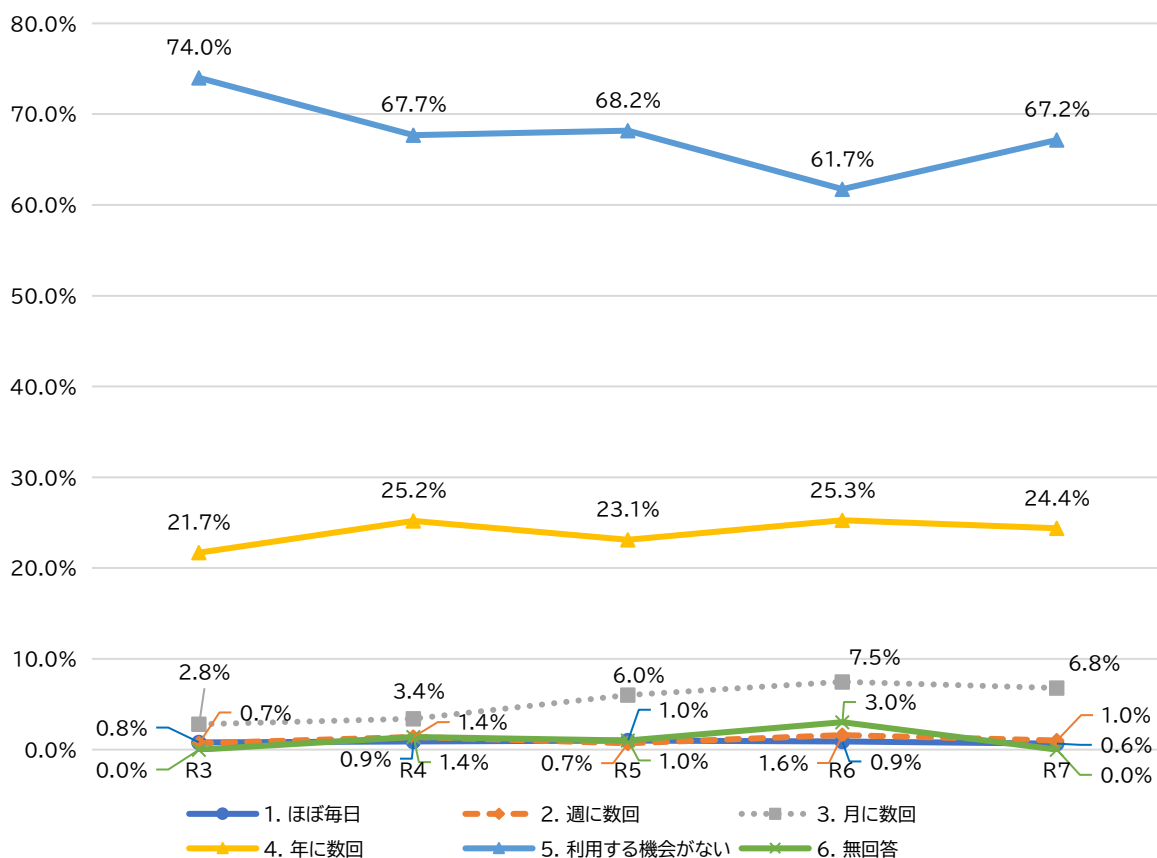
● モノレールの利用頻度については、「利用する機会がない」が67.2%を占めている。

項目	回答数	構成比
1. ほぼ毎日	4	0.6%
2. 週に数回	6	1.0%
3. 月に数回	41	6.8%
4. 年に数回	147	24.4%
5. 利用する機会がない	405	67.2%
6. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

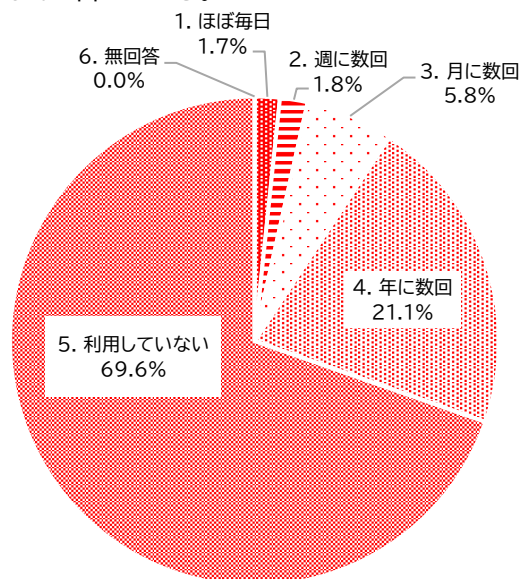
● 直近5年においては、「利用する機会がない」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が非常に大きい状況が続いている。



【路線バス】

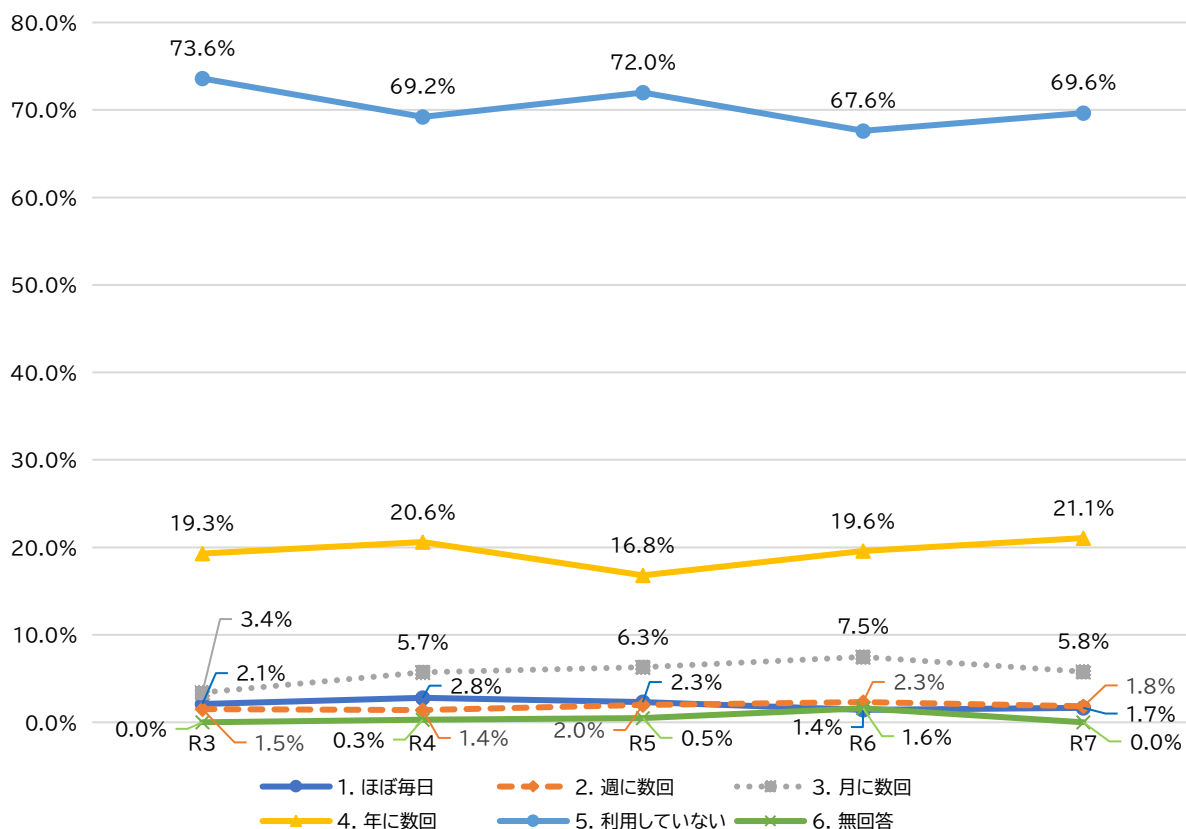
- 路線バスの利用頻度については、「利用していない」が 69.6%を占めている。

項目	回答数	構成比
1. ほぼ毎日	10	1.7%
2. 週に数回	11	1.8%
3. 月に数回	35	5.8%
4. 年に数回	127	21.1%
5. 利用していない	420	69.6%
6. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



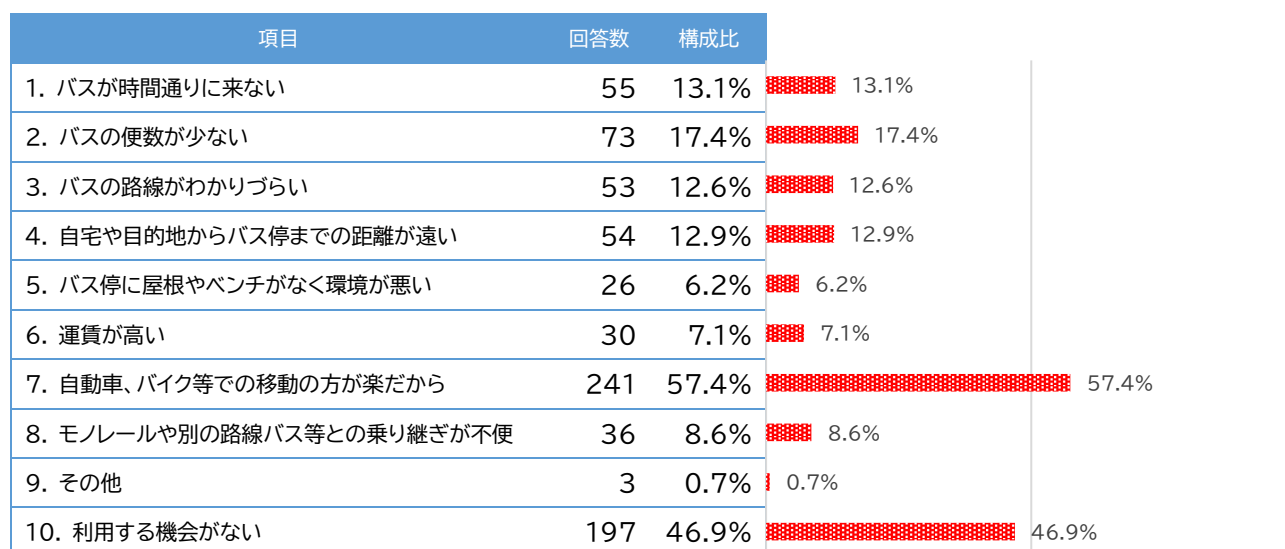
《経年比較(令和 3 年度～令和 7 年度)》

- 直近 5 年間ににおいては、「利用していない」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が非常に大きい状況が続いている。



問 21-2 前問で路線バスを「5. 利用していない」と答えた方に伺います。路線バスを利用しない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

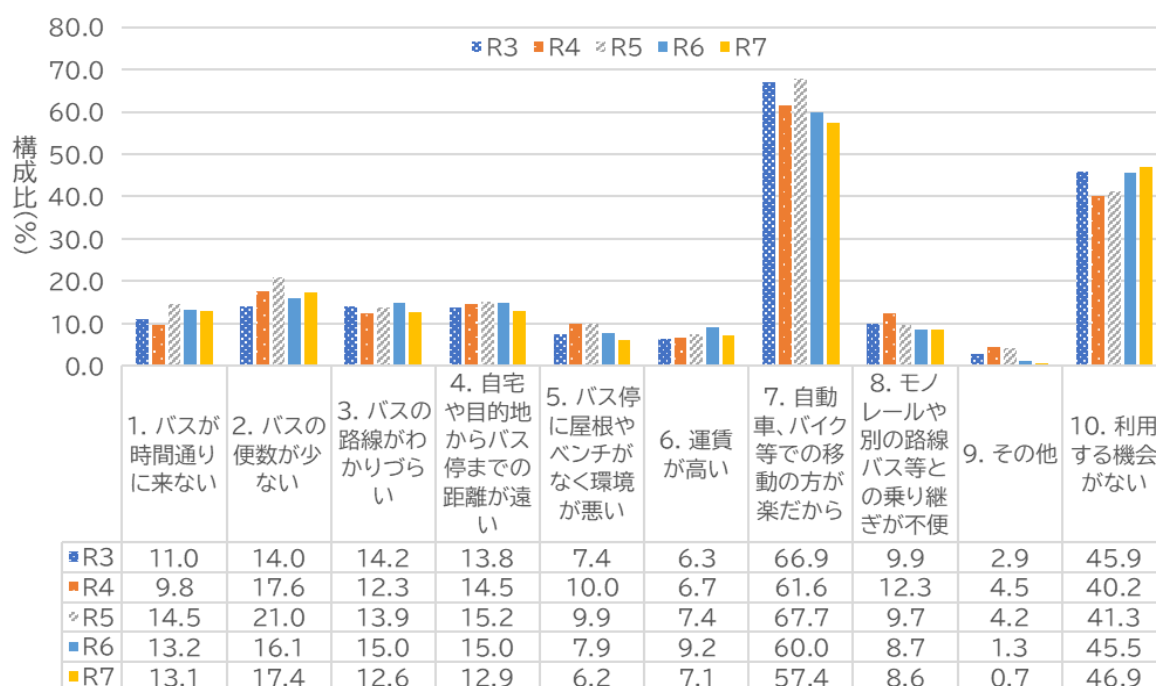
- 路線バスを利用していないと答えた方のうち、その理由として、「自動車、バイク等での移動の方が楽だから」が 57.4%と最も高く、次いで「利用する機会がない」が 46.9%となっている。



※回答者数(420人)を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 直近5年においては、「自動車、バイク等での移動の方が楽だから」及び「利用する機会がない」が上位を継続している。



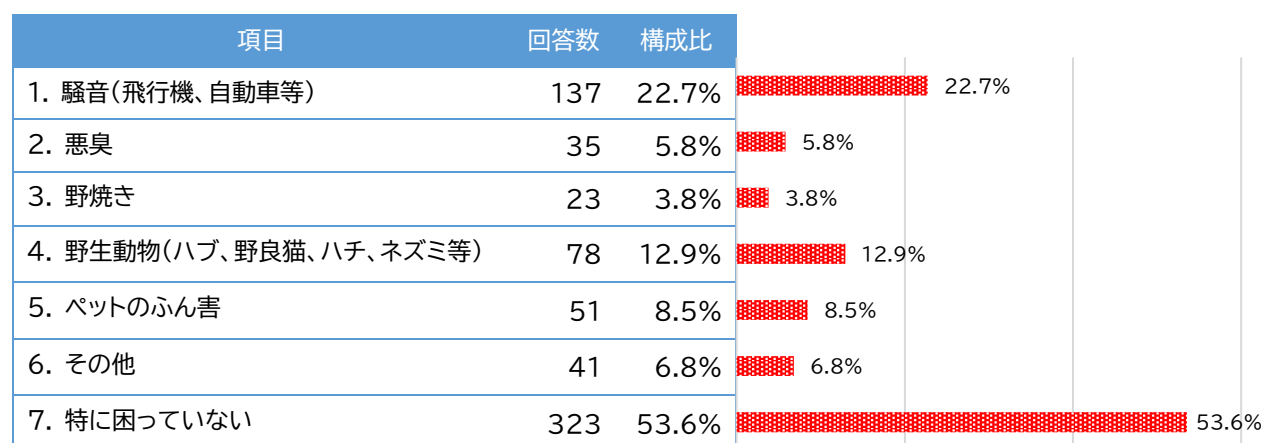
《「9.その他」の主な内容》

- ・自家用車を利用
- ・仕事に車が必要

6. 生活環境、自然環境について

問 22 あなたは、日常生活の中で、騒音や悪臭等の生活環境について現在困っていることがありますか。
(あてはまるもの全てに○)

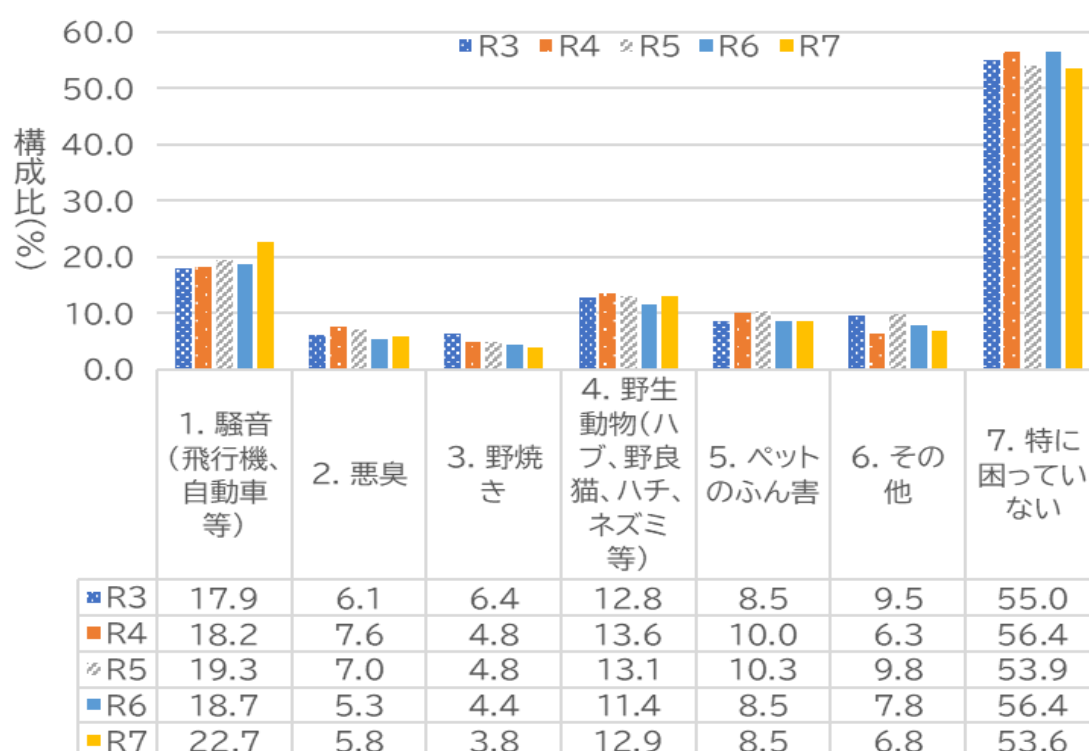
- 生活環境で困っていることについて、「特に困っていない」が 53.6%と最も高く、次いで、「騒音(飛行機、自動車等)」が 22.7%、「野生動物(ハブ、野良猫、ハチ、ネズミ等)」が 12.9%の順となっている。



※回答者数(603人)を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 直近5年間においては、「特に困っていない」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が大きい状況が続いている。



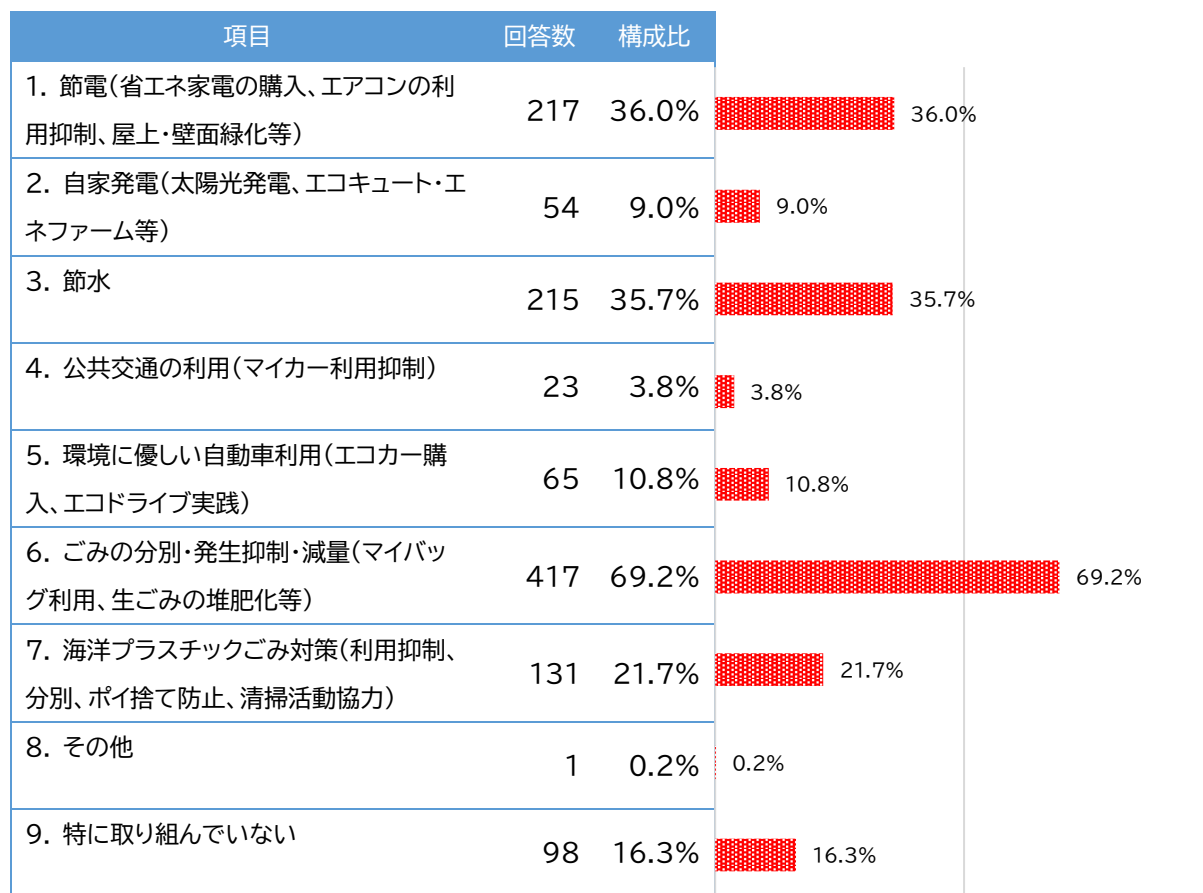
«「6.その他」の主な内容»

- ・賃貸物件の騒音問題
- ・公園へのゴミ放置
- ・周辺の雑草処理。伐採、運搬、処理費及び労力。せめて、回収・処理の補助や助成があると積極的に取り組みやすい。
- ・夜中の犬?の鳴き声、睡眠不足の原因でもある。
- ・空き缶のゴミ出しの日に、敷地に勝手に入り込み、持ち帰る人が地域に多い
- ・下水道の匂いがすることが多々ある。
- ・道路の雑草
- ・道路の陥没やボコボコしている道が多い。
- ・擁壁の側に自宅がありますが、擁壁側から枯葉が落ちてきて大変
- ・近くに公園があり、子供たちの声が気になる
- ・夜は、バイクの溜まり場の騒音が気になる
- ・子供の通学路に朝夕の通勤車両がスピードを落とさず通るなど、地域に暮らす者への配慮がない。
- ・自分の家に帰るまでの生活道路では高速乗り口につながる抜け道とされていて、他車への譲り合いの頻度が少なくゆいまーの精神に反している。
- ・近所で猫に餌をあげていて、子猫が増えている。ちゃんと管理してほしい。
- ・最近、マンションのゴミ捨て場に不法投棄のゴミが置かれていることがある。
- ・隣地の雑草、ペットの鳴き声
- ・土曜日のゴミ収集が早い
- ・周辺の路上駐車
- ・カラスによるゴミあらし
- ・雨の時、道路のタイヤの滑る音がうるさい(滑り止めを多く設置してほしい)
- ・動物(猫、ハト等)の糞尿被害
- ・近所の騒音
- ・家の前の溝が市有地らしく汚い。
- ・ヤスデ、ヤモリが多い
- ・集合住宅のゴミ出しルールの悪さ

問 23 あなたは、以下のような環境に優しいエコ活動として、実践していることはありますか。

(あてはまるもの全てに○)

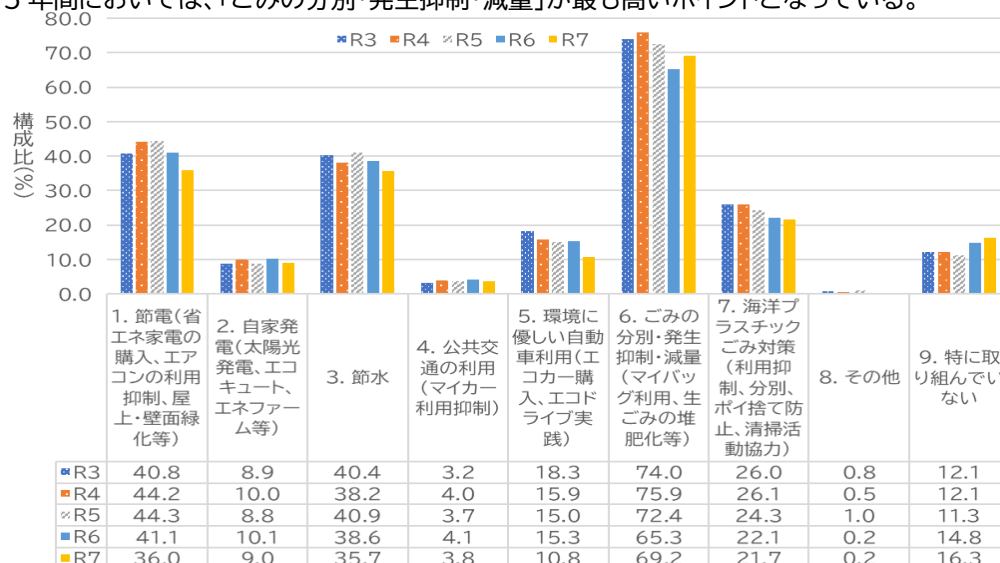
- 回答者が実践しているエコ活動として、「ごみの分別・発生抑制・減量(マイバッグ利用、生ごみの堆肥化等)」が 69.2%と最も高い。



※回答者数(603人)を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 直近5年間においては、「ごみの分別・発生抑制・減量」が最も高いポイントとなっている。

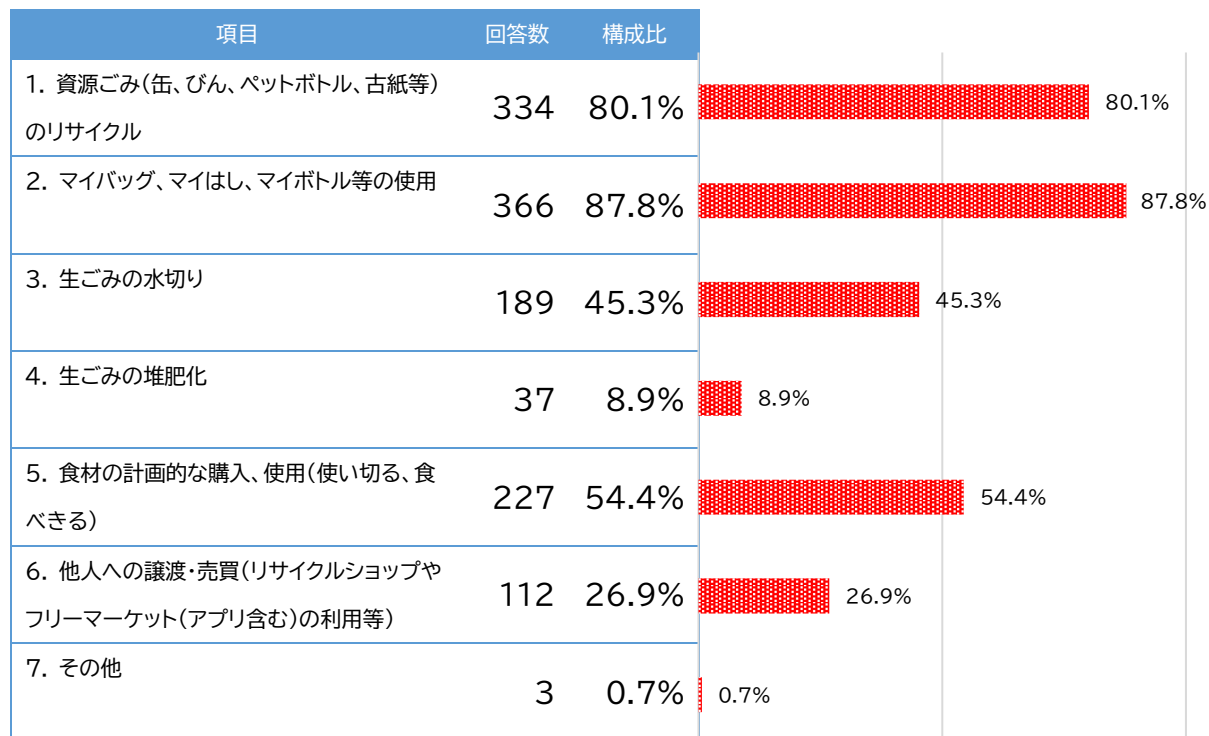


《「8.その他」の主な内容》 ・回答なし



問 23-2 前問で「6. ごみの分別・発生抑制・減量」と答えた方に伺います。ごみを減らすために日頃の暮らしの中で、どのような取組をしていますか。(あてはまるもの全てに○)

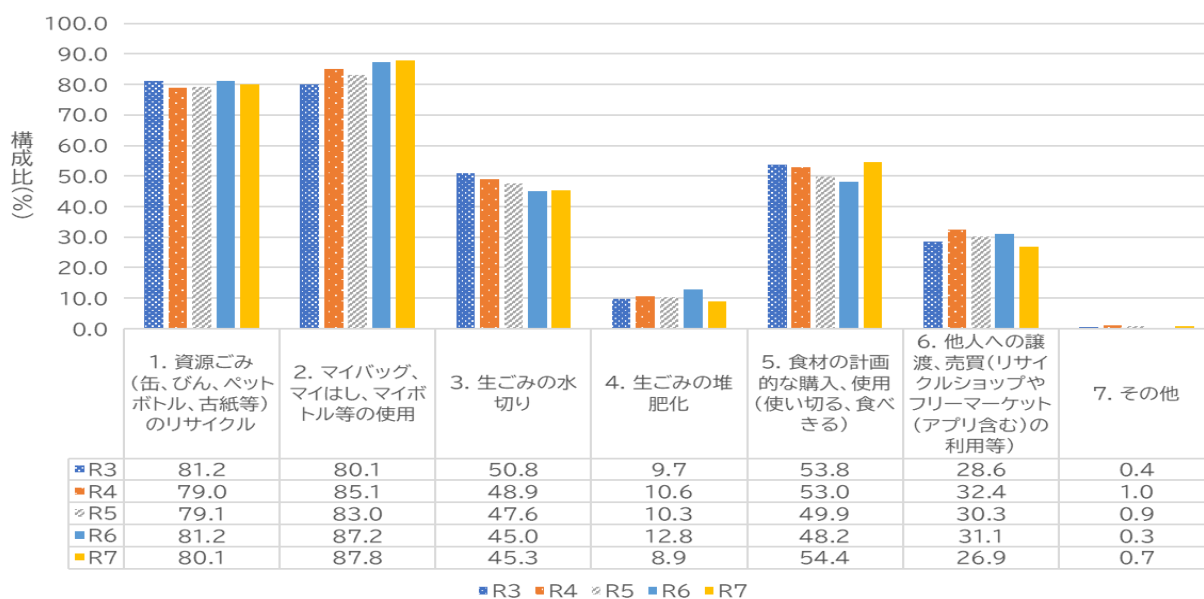
- ごみを減らすための取組として、「マイバッグ、マイはし、マイボトル等の使用」が 87.8%と最も高く、次いで、「資源ごみ(缶、びん、ペットボトル、古紙等)のリサイクル」が 80.1%となっている。



※回答者数(417人)を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が100%を超過している

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 直近5年間においては、「資源ごみ(缶、びん、ペットボトル、古紙等)のリサイクル」、「マイバッグ、マイはし、マイボトル等の使用」が上位を継続している。



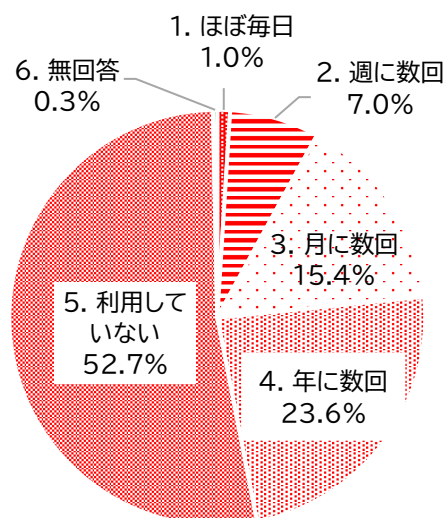
《「7.その他」の主な内容》

- ・ 詰替え用商品の選定など
- ・ 買い過ぎない、買わない

問 24 あなたは、市内の公園をどのぐらいの頻度で利用しますか。(○は1つ)

- 市内の公園の利用頻度について、「利用していない」が 52.7%と最も高く、次いで、「年に数回」が 23.6%となっている。

項目	回答数	構成比
1. ほぼ毎日	6	1.0%
2. 週に数回	42	7.0%
3. 月に数回	93	15.4%
4. 年に数回	142	23.6%
5. 利用していない	318	52.7%
6. 無回答	2	0.3%
計	603	100%



問 24-2 前問で「利用していない」を選択した方は、その理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- 利用しない理由として、「利用する目的がない」が 57.9%と最も高く、次いで、「近くにない、遠い、行きにくい」が 24.8%となっている。

項目	回答数	構成比
1. 利用する目的がない	184	57.9%
2. 近くにない、遠い、行きにくい	79	24.8%
3. 遊具などの施設が十分ではない	15	4.7%
4. 人気がない、誰も利用していない	5	1.6%
5. 管理状態が悪い	8	2.5%
6. 特に理由はない	77	24.2%
7. その他	12	3.8%

※回答者数（318 人）を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が 100%を超過している

《「7.その他」の主な内容》

- ・公園が少ない、花も少ない
- ・駐車場がない
- ・ウォーキングなどで利用したいが街灯が少なく、利用しにくい。
- ・行く時間がない
- ・人が多すぎてゆっくりできない。
- ・公園で子供と遊んでいたが、近隣住民に注意されトラウマになっている。子供は悲しんでいた。
- ・公園は整備されているが子供の邪魔になりそうなので、他地域に気に入っているウォーキング場所を利用している。
- ・孫たちと行く
- ・子どもが成長した為
- ・夏はあつい
- ・近く的那覇市の公園利用

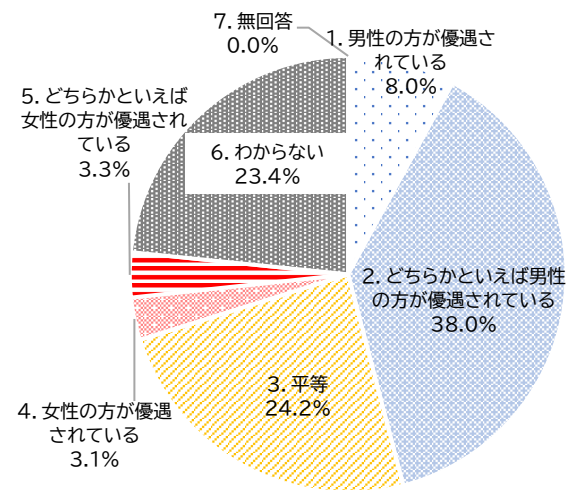


7. 男女平等、平和について

問 25 あなたは、家庭・職場・地域・社会通念・慣習など社会のあらゆる場面において、男女の地位は「平等」になっていると思いますか。(○は1つ)

- 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 38.0%と最も高く、次いで、「平等」が 24.2%となっている。

項目	回答数	構成比
1. 男性の方が優遇されている	48	8.0%
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	229	38.0%
3. 平等	146	24.2%
4. 女性の方が優遇されている	19	3.1%
5. どちらかといえば女性の方が優遇されている	20	3.3%
6. 分からない	141	23.4%
7. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



《クロス集計(男女別)》 ※性別不明は除く

■ 男性

項目	回答数	構成比		
1. 男性の方が優遇されている	13	5.1%	5.1%	
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	82	31.9%	31.9%	
3. 平等	80	31.1%	31.1%	
4. 女性の方が優遇されている	15	5.8%	5.8%	
5. どちらかといえば女性の方が優遇されている	11	4.3%	4.3%	
6. わからない	56	21.8%	21.8%	
7. 無回答	0	0.0%	0.0%	

※回答者数（257 人）を母数として構成比を算出

■ 女性

項目	回答数	構成比		
1. 男性の方が優遇されている	35	10.3%	10.3%	
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	143	42.1%	42.1%	
3. 平等	66	19.4%	19.4%	
4. 女性の方が優遇されている	4	1.2%	1.2%	
5. どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	2.3%	2.3%	
6. わからない	84	24.7%	24.7%	
7. 無回答	0	0.0%	0.0%	

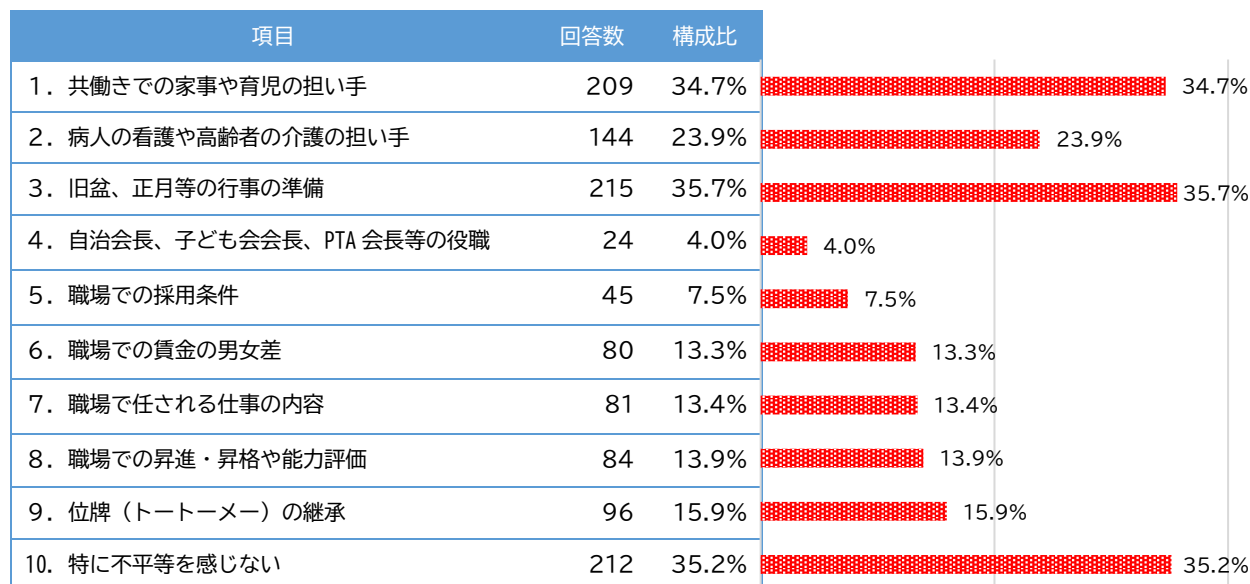
※回答者数（340 人）を母数として構成比を算出



問 26 あなたは、家庭・職場・地域・社会全般のどのようなことに関して男女の不平等を感じますか。

(あてはまるもの全てに○)

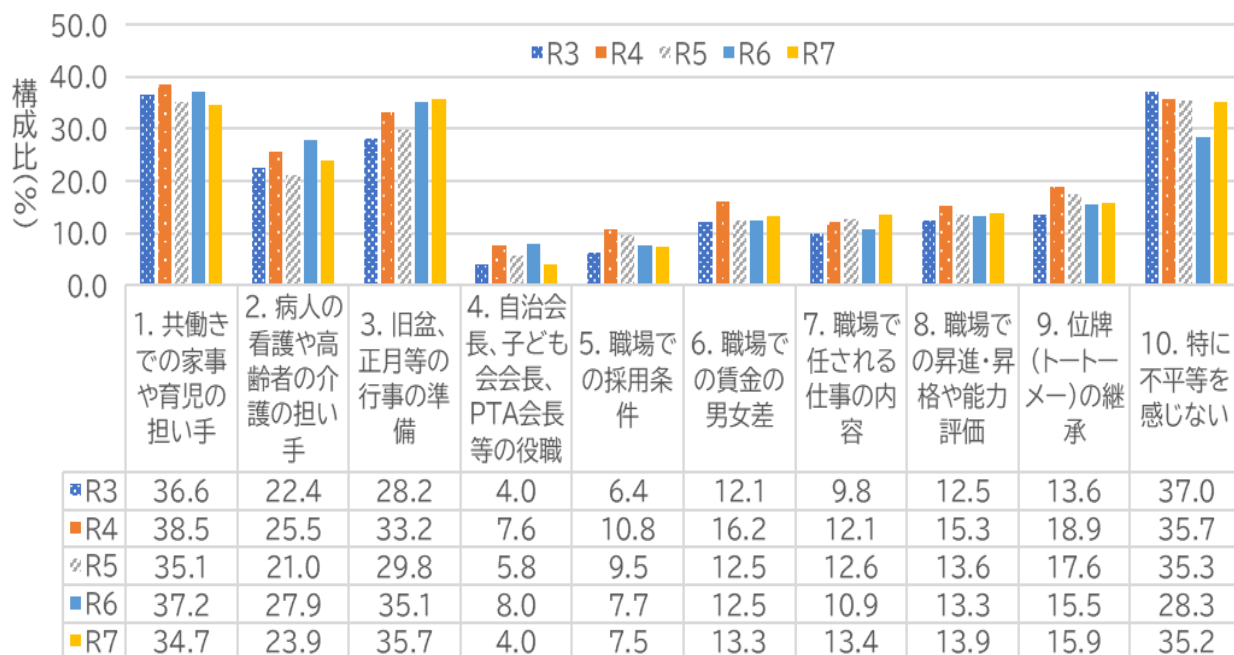
- 男女の不平等を感じることにについて、「旧盆、正月等の行事の準備」が 35.7%と最も高く、次いで、「特に不平等を感じない」が 35.2%となっている。



※回答者数（603 人）を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が 100%を超過している。

《経年比較(令和 3 年度～令和 7 年度)》

- 直近 5 年間ににおいては、不平等を感じる理由として「共働きでの家事や育児の担い手」、「旧盆、正月等の行事の準備」が上位を継続している。



《クロス集計(男女別)》 ※性別不明は除く

■ 男性

項目	回答数	構成比	
1. 共働きでの家事や育児の担い手	55	21.4%	21.4%
2. 病人の看護や高齢者の介護の担い手	35	13.6%	13.6%
3. 旧盆、正月等の行事の準備	59	23.0%	23.0%
4. 自治会長、子ども会会長、PTA 会長等の役職	10	3.9%	3.9%
5. 職場での採用条件	20	7.8%	7.8%
6. 職場での賃金の男女差	32	12.5%	12.5%
7. 職場で任される仕事の内容	47	18.3%	18.3%
8. 職場での昇進・昇格や能力評価	37	14.4%	14.4%
9. 位牌（トートーメー）の継承	36	14.0%	14.0%
10. 特に不平等を感じない	115	44.7%	44.7%

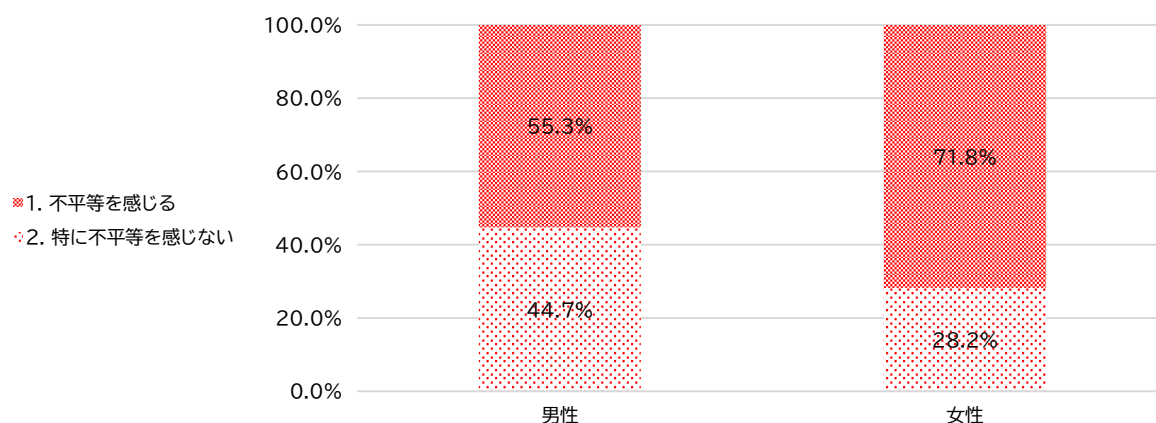
※回答者数（257 人）を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が 100%を超過している。

■ 女性

項目	回答数	構成比	
1. 共働きでの家事や育児の担い手	150	44.1%	44.1%
2. 病人の看護や高齢者の介護の担い手	107	31.5%	31.5%
3. 旧盆、正月等の行事の準備	155	45.6%	45.6%
4. 自治会長、子ども会会長、PTA 会長等の役職	13	3.8%	3.8%
5. 職場での採用条件	24	7.1%	7.1%
6. 職場での賃金の男女差	46	13.5%	13.5%
7. 職場で任される仕事の内容	31	9.1%	9.1%
8. 職場での昇進・昇格や能力評価	44	12.9%	12.9%
9. 位牌（トートーメー）の継承	58	17.1%	17.1%
10. 特に不平等を感じない	96	28.2%	28.2%

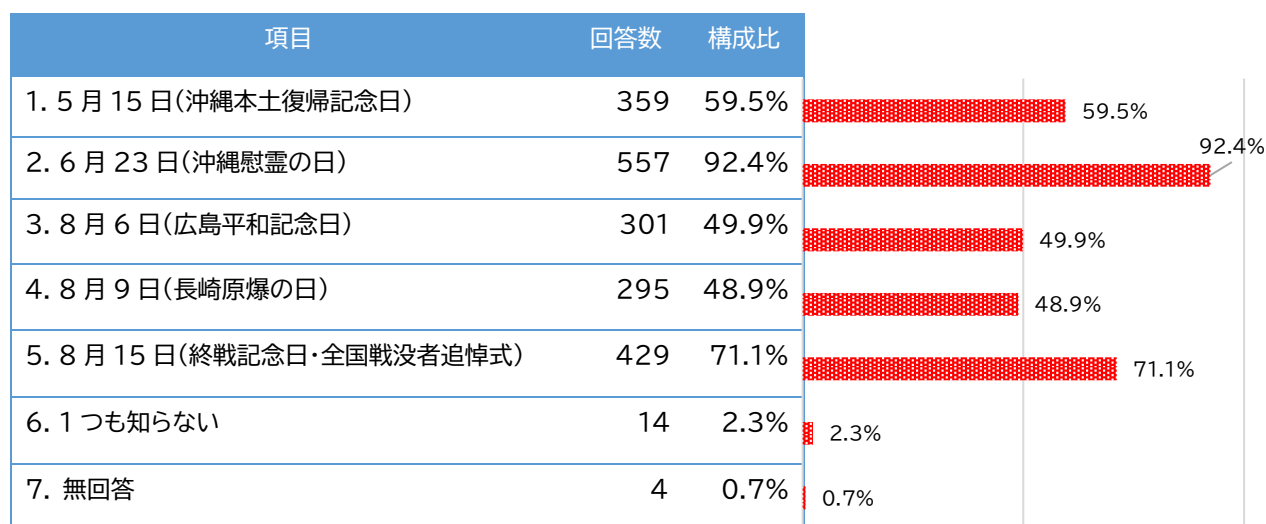
※回答者数（340 人）を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が 100%を超過している。

■ 男女別2項目換算 ※「特に不平等を感じない」を基準に構成比を 100%として算出



問 27 あなたが知っている平和に関連する日はありますか。(あてはまるもの全てに○)

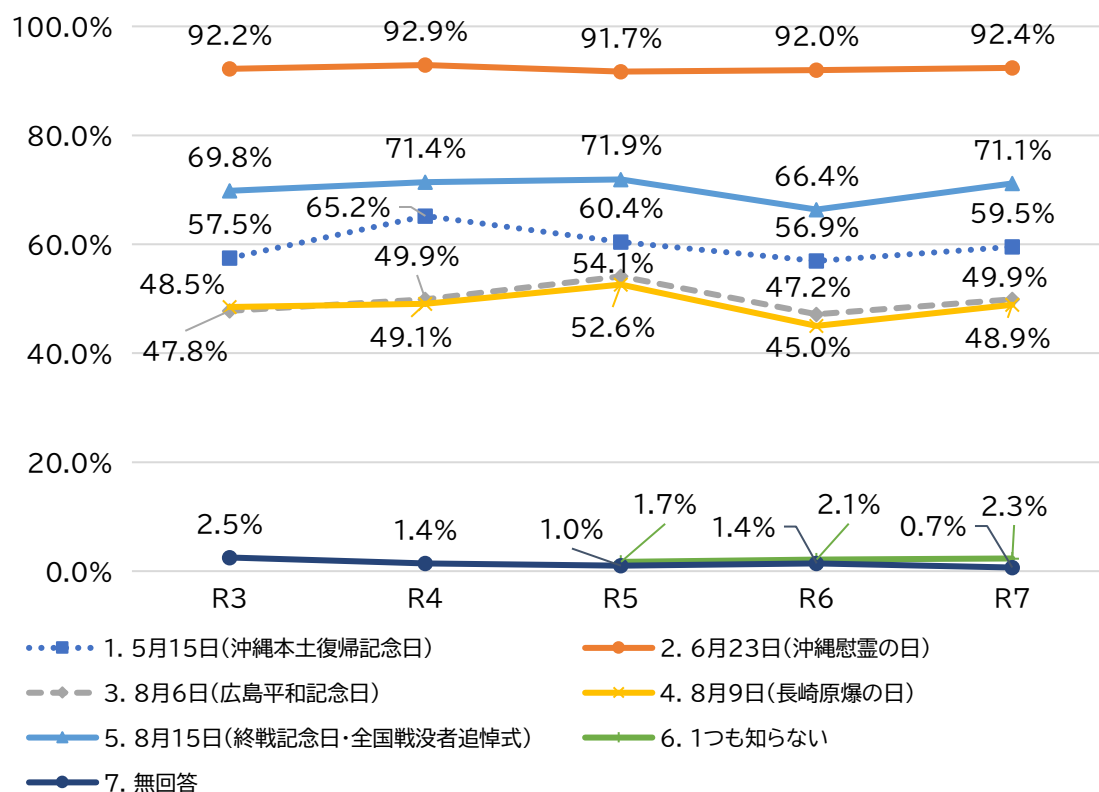
- 平和に関連する日の認知度について、「6月 23 日(沖縄慰霊の日)」が 92.4%と最も高く、次いで、「8月 15 日(終戦記念日・全国戦没者追悼式)」が 71.1%、「5月 15 日(沖縄本土復帰記念日)」が 59.5%となっており、沖縄に関連のある日が上位を占めた。



※回答者数(603人)を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 全体的に概ね横ばいの推移となっている。
- 「6月 23 日(沖縄慰霊の日)」が 9 割以上の認知度で推移している。



《クロス集計(年代別)》 ※年代不明は除く

■ 全年代

項目 \ 年代 (総数)	18～ 20歳代 (61)	30歳代 (97)	40歳代 (120)	50歳代 (125)	60歳代 (110)	70歳以上 (87)
1. 5月15日（沖縄本土復帰記念日）	34 55.7%	51 52.6%	61 50.8%	75 60.0%	78 70.9%	58 66.7%
2. 6月23日（沖縄慰霊の日）	56 91.8%	91 93.8%	110 91.7%	119 95.2%	101 91.8%	77 88.5%
3. 8月6日（広島平和記念日）	29 47.5%	44 45.4%	66 55.0%	69 55.2%	49 44.5%	41 47.1%
4. 8月9日（長崎原爆の日）	29 47.5%	48 49.5%	64 53.3%	66 52.8%	45 40.9%	40 46.0%
5. 8月15日（終戦記念日・全国戦没者追悼式）	38 62.3%	64 66.0%	89 74.2%	97 77.6%	79 71.8%	59 67.8%

■ 年代範囲限定

項目 \ 年代 (総数)	40歳代 以下 (278)	50歳以上 (322)
1. 5月15日（沖縄本土復帰記念日）	146 52.5%	211 65.5%
2. 6月23日（沖縄慰霊の日）	257 92.4%	297 92.2%
3. 8月6日（広島平和記念日）	139 50.0%	159 49.4%
4. 8月9日（長崎原爆の日）	141 50.7%	151 46.9%
5. 8月15日（終戦記念日・全国戦没者追悼式）	191 68.7%	235 73.0%

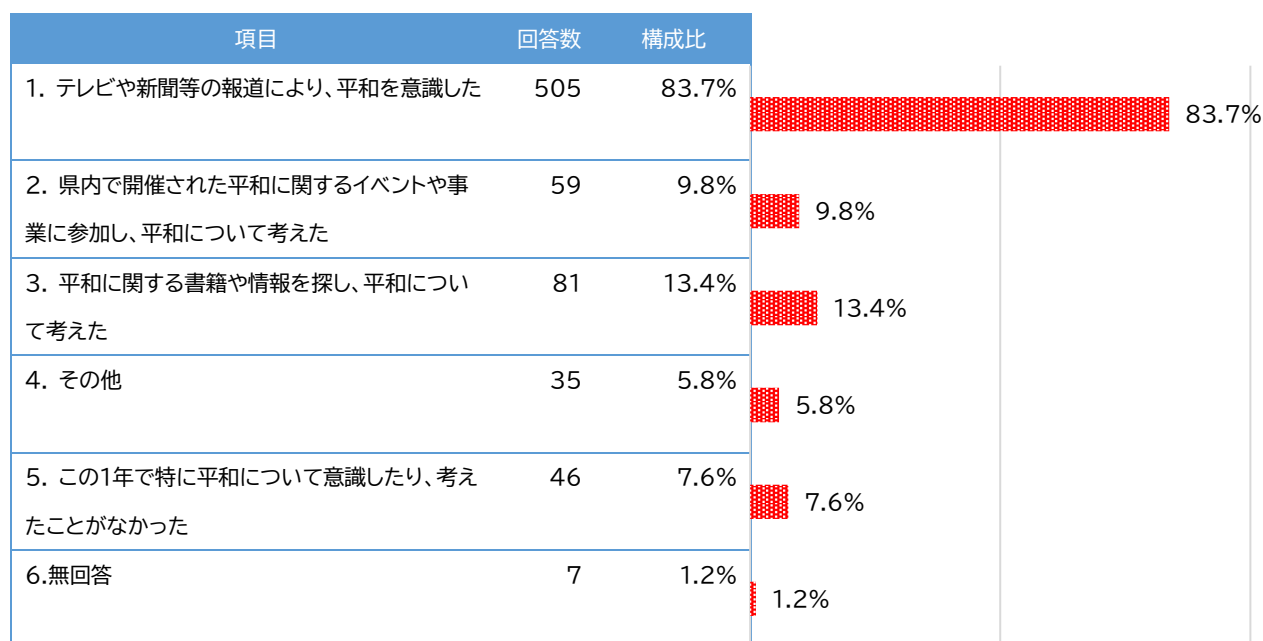
※ 複数回答可のため、各年代の総数と各年代における各項目の合計数は一致しない。

※ 各年代の総数を母数として割合を算出したため、各年代における割合の合計が100%を超過している。



問 28 あなたは、この1年間で平和について意識したり、考えたりすることはありましたか。
(あてはまるもの全てに○)

- 「テレビや新聞等の報道により、平和を意識した」が 83.7%と最も高く、次いで、「平和に関する書籍や情報を探し、平和について考えた」が 13.4%となっている。



※回答者数（603 人）を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が 100%を超過している。

《「7.その他」の主な内容》

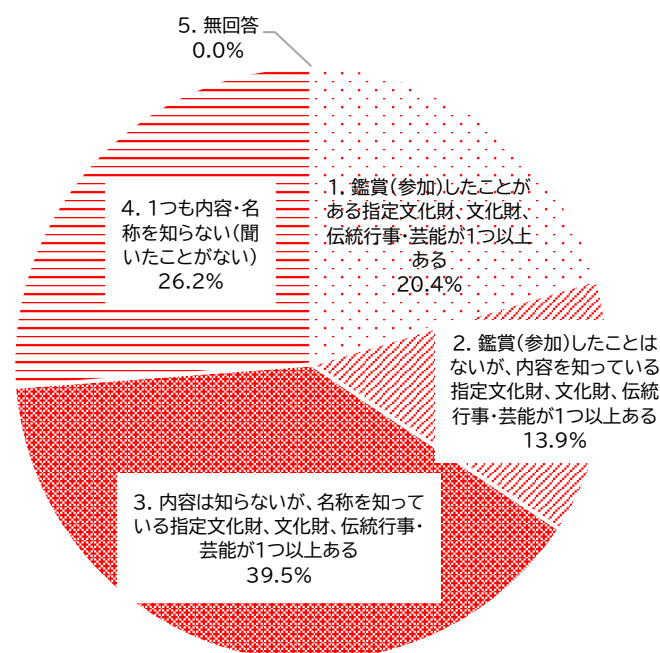
- ・Web ニュースを見た。
- ・ウクライナ紛争関連
- ・常に意識しています。
- ・年配者に戦争後の話を聞いたりした時
- ・対馬丸記念館へ見学
- ・選挙
- ・平和記念公園訪問
- ・親戚に被爆者がいた。
- ・自分の心
- ・テレビ特集
- ・資料館に行きたいと考えている。
- ・インスタグラム、ツイッター、SNS
- ・平和がどこまでの平和か考えた
- ・地球規模では平和を考える事
- ・戦死した祖父の命日を慰霊の日している事など、慰霊の日は平和を意識する。
- ・昨今 YouTube 等で政治関連の動画が配信されているので、それを観て学び、考えている。
- ・ネットで検索して調べた。テレビや新聞だけが正確な情報とは思えない。
- ・広島県原爆ドームに行き、資料館もまわった。
- ・トランプ大統領やトップの判断で戦争があちらこちらで起こっており恐ろしくなる。命を奪い合うのだけはやめてほしい
- ・職場が平和と健康を掲げている。そのため、オール沖縄や辺野古支援 平和行進などいろいろやっている。

8. 文化財、生涯学習について

問 29 あなたは、市の指定文化財、文化財、伝統行事・芸能を知っていますか。(○は1つ)

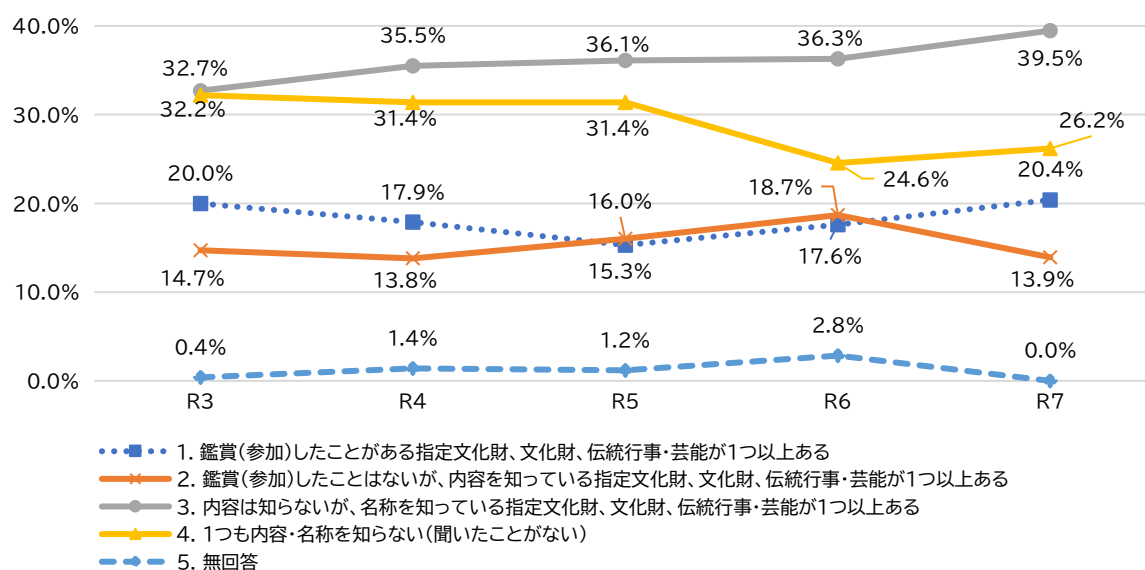
- 市の文化財等の認知度について、「内容は知らないが、名称を知っている指定文化財、文化財、伝統行事・芸能が1つ以上ある」が39.5%と最も高く、次いで、「1つも内容・名称を知らない(聞いたことがない)」が26.2%となっている。

項目	回答数	構成比
1. 鑑賞(参加)したことがある指定文化財、文化財、伝統行事・芸能が1つ以上ある	123	20.4%
2. 鑑賞(参加)したことはないが、内容を知っている指定文化財、文化財、伝統行事・芸能が1つ以上ある	84	13.9%
3. 内容は知らないが、名称を知っている指定文化財、文化財、伝統行事・芸能が1つ以上ある	238	39.5%
4. 1つも内容・名称を知らない(聞いたことがない)	158	26.2%
5. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

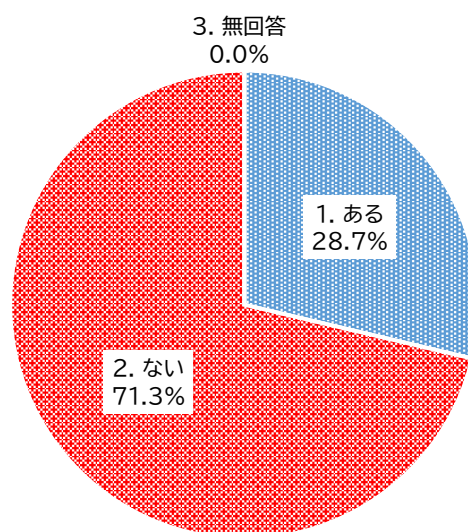
- 令和6年度と比較して、「鑑賞(参加)したことがある指定文化財、文化財、伝統行事・芸能が1つ以上ある」が、2.8ポイント増加している。
- 直近4年においては、「1つも内容・名称を知らない(聞いたことがない)」が減少傾向にある。



問 30 あなたは、この1年間で自発的に学習(生涯学習)したことがありますか。(〇は1つ)

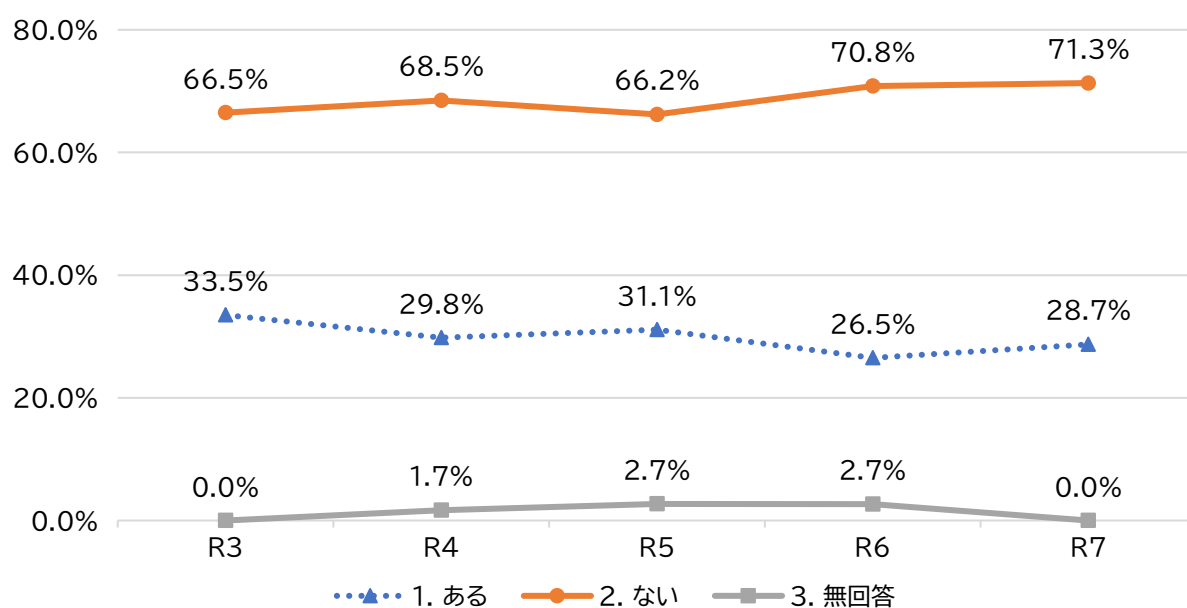
- 自発的な学習の実施について、「ない」が71.3%、「ある」が28.7%となっている。

項目	回答数	構成比
1. ある	173	28.7%
2. ない	430	71.3%
3. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



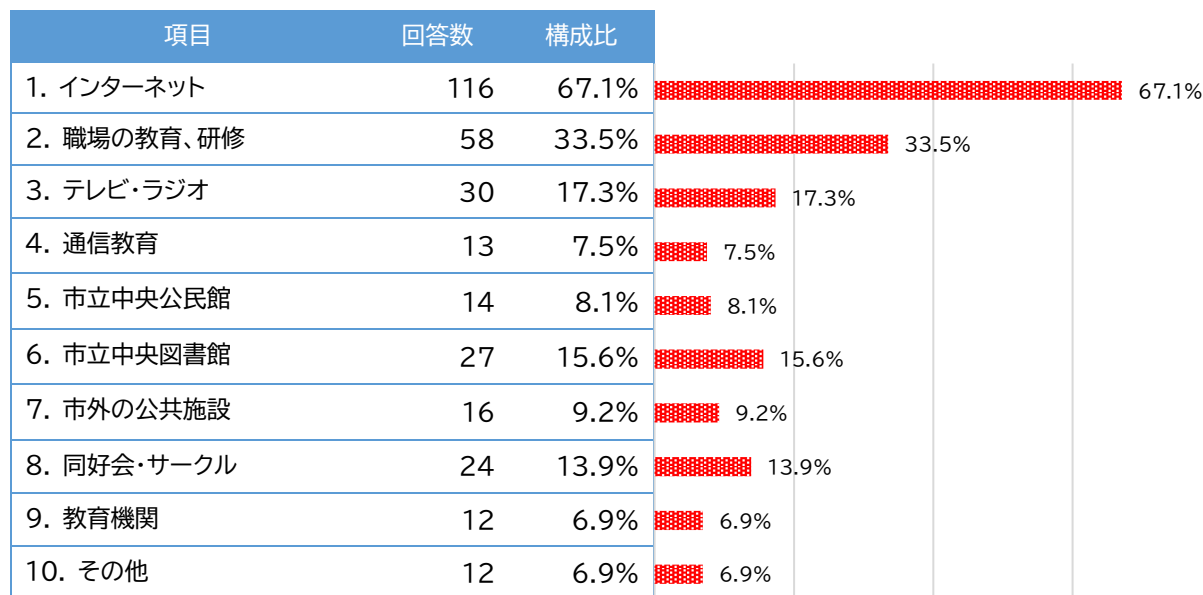
《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 令和3年度から「ある」が4.8ポイント減少している。
- 令和3年度から「ない」が4.8ポイント増加している。



問 30-2 前問で「1. ある」と答えた方に伺います。どのような場所・手段で学習(生涯学習)していますか。
(あてはまるもの全てに○)

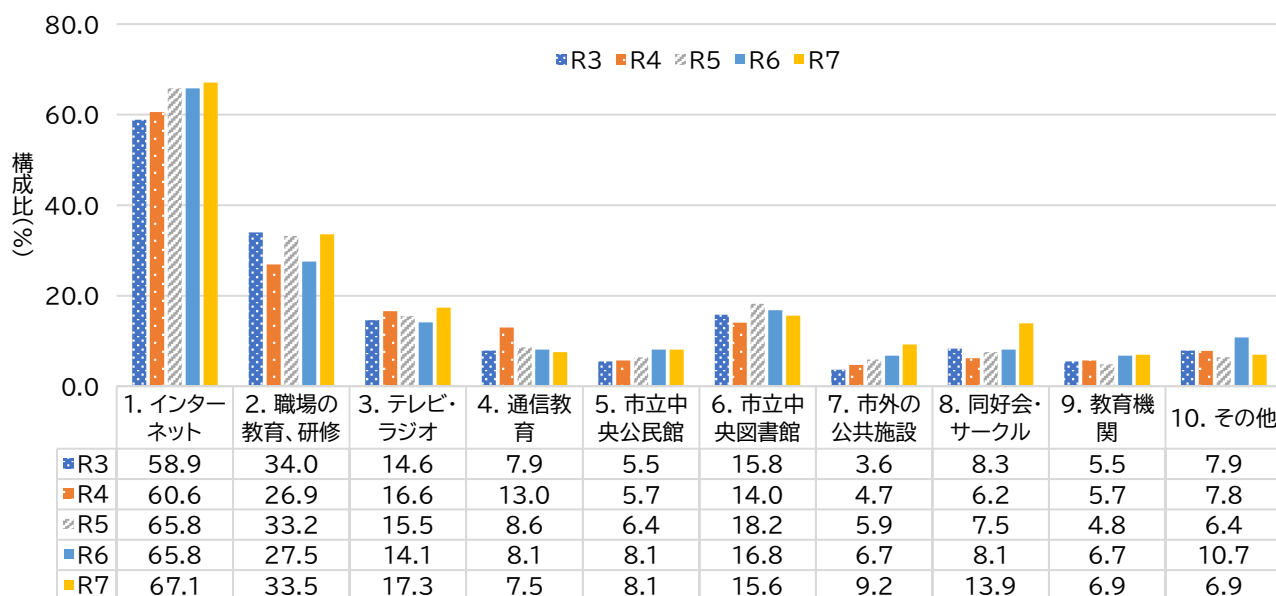
- 自発的に学習すると答えた方のうち、その場所・手段について、「インターネット」が 67.1%と最も高く、次いで、「職場の教育、研修」が 33.5%、「テレビ・ラジオ」が 17.3%の順となっている。



※回答者数(173人)を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 直近5年間に於いて「インターネット」で学習する人が、上位を継続しており、割合も増えている。



《「10.その他」の主な内容》

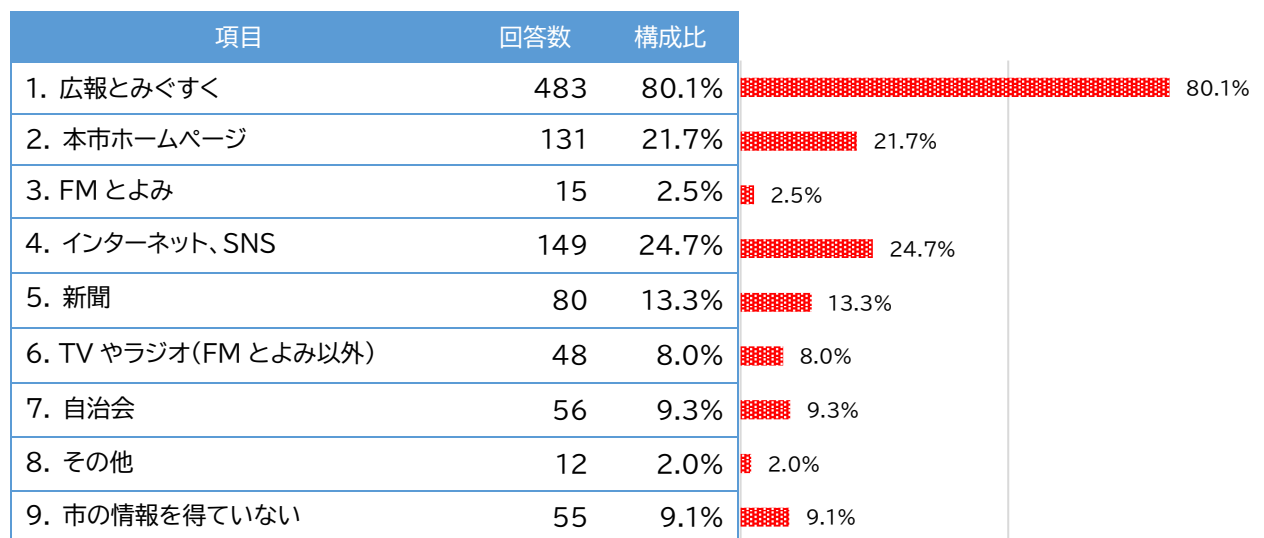
- ・ 歴史民俗資料展示室 ・ 県立博物館講座 ・ 本、アプリ ・ 独学 ・ 教室



9. 市政について

問 31 あなたは、市の情報をどのような方法で得ていますか。(あてはまるもの全てに○)

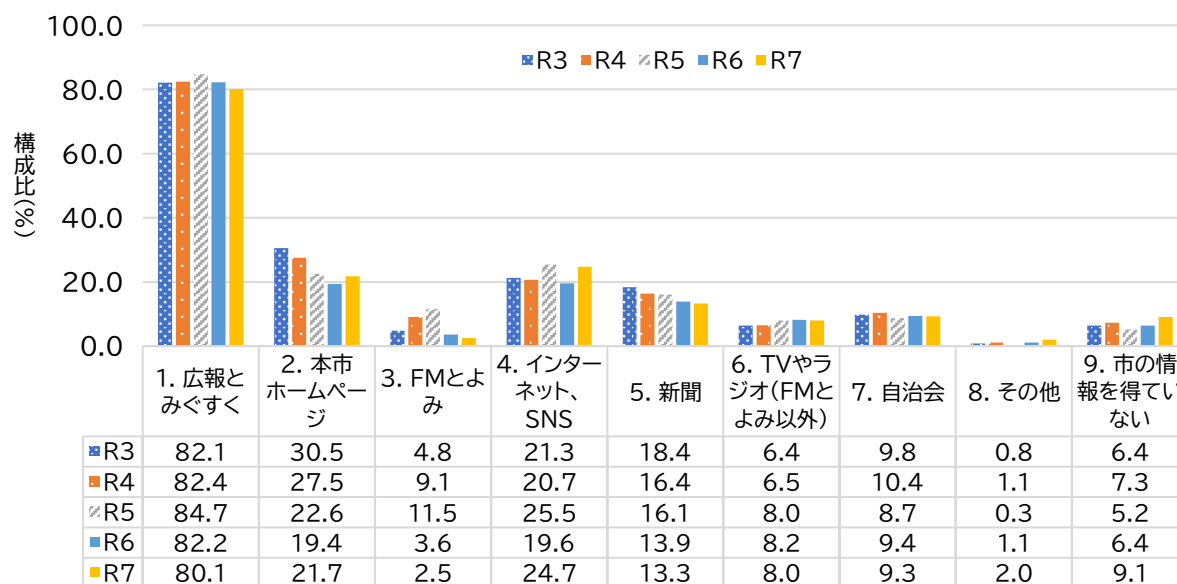
- 市の情報を得る方法として、「広報とみぐすく」が 80.1%と最も高く、次いで、「インターネット、SNS」が 24.7%、「本市ホームページ」が 21.7%の順となっている。



※回答者数(603人)を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 直近5年間ににおいては、「広報とみぐすく」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が大きい状況が続いている。



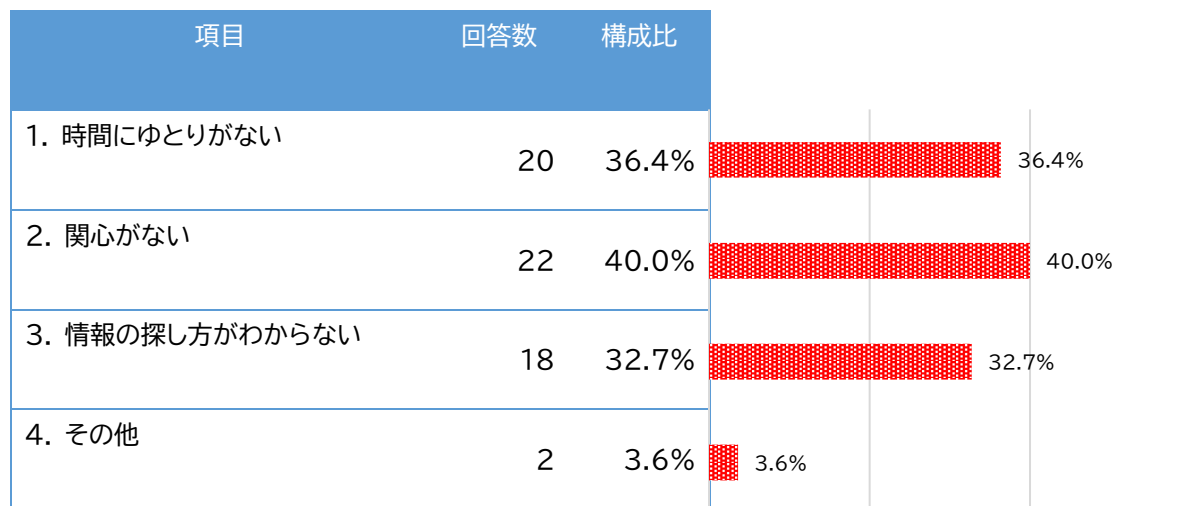
《「8.その他」の主な内容》

- ・Instagram ・ 友達同士で共有 ・ 知人からの情報 ・ LINE
- ・市の放送、しかし、声がこもって聞きづらい

問 31-2 前問で「9. 市の情報を得ていない」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

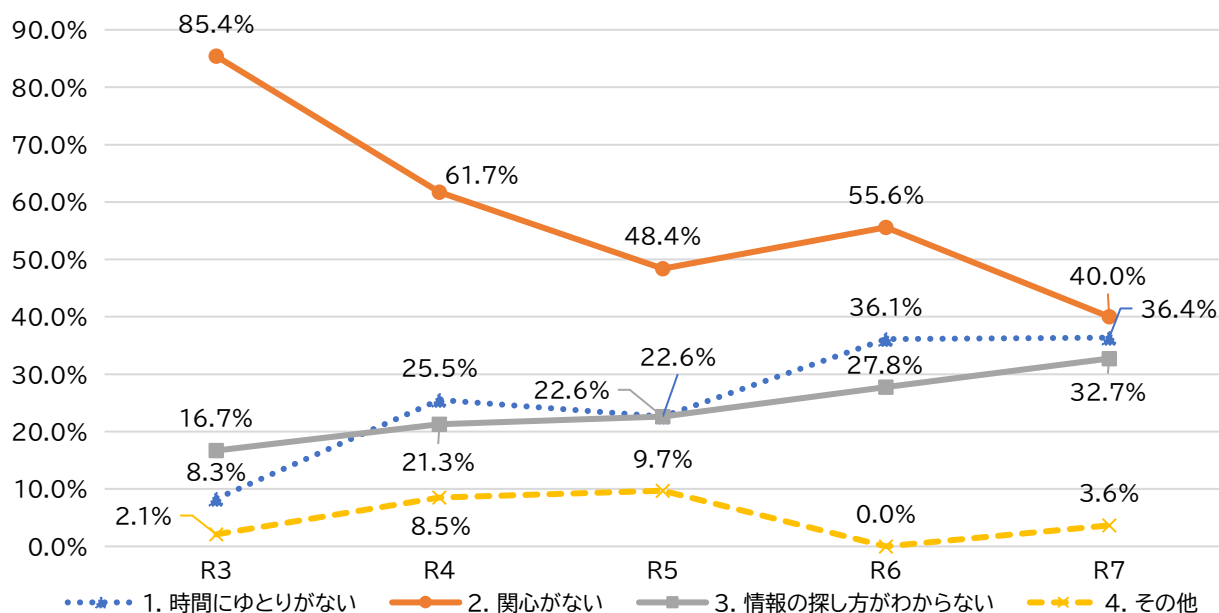
- 市の情報を得ていないと答えた方のうち、その理由として、「関心がない」が 40.0%と最も高く、次いで、「時間にゆとりがない」が 36.4%、「情報の探し方がわからない」が 32.7%となっている。



※回答者数(55人)を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 「関心がない」が令和6年度に増加したが、令和7年度は15.6ポイント減少している。
- 「時間にゆとりがない」、「情報の探し方がわからない」が増加傾向にある。



《「4.その他」の主な内容》

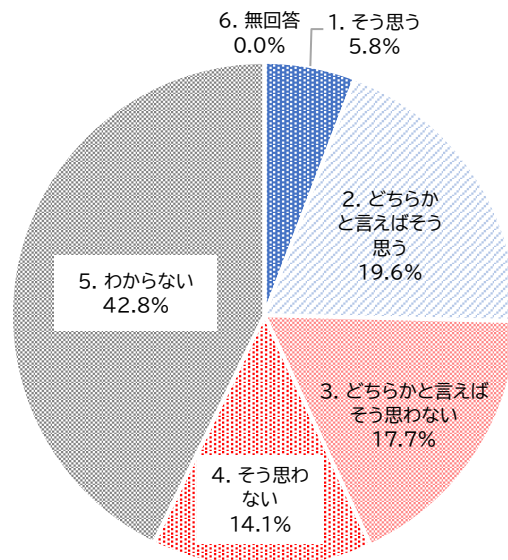
- ・ 回答なし



問 32 あなたは、市民が市政に対して意見や要望を言える機会が設けられていると思いますか。(〇は 1 つ)

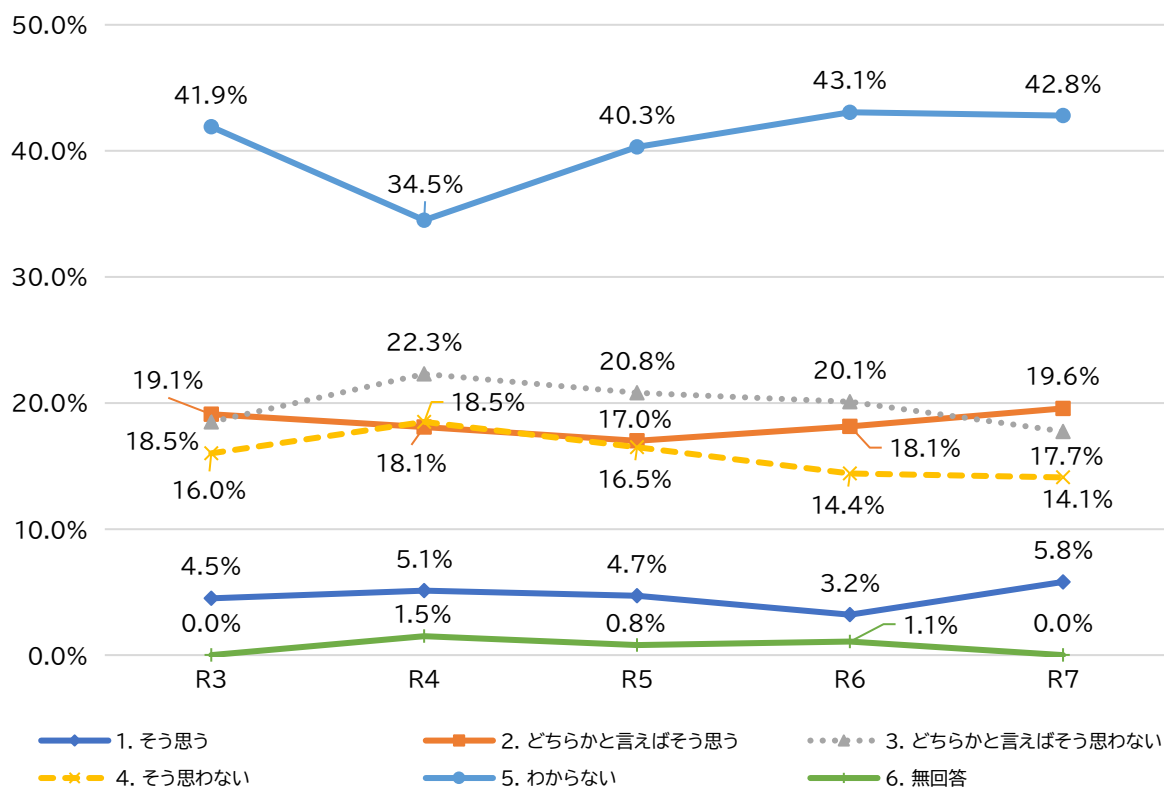
- 市政に対して意見できる機会があると思う割合が、全体の 25.4%(「そう思う」5.8%、「どちらかと言えばそう思う」19.6%)なのに対して、意見できる機会がないと思う割合が、全体の 31.8%(「どちらかと言えばそう思わない」17.7%、「そう思わない」14.1%)となっている。

項目	回答数	構成比
1. そう思う	35	5.8%
2. どちらかと言えばそう思う	118	19.6%
3. どちらかと言えばそう思わない	107	17.7%
4. そう思わない	85	14.1%
5. わからない	258	42.8%
6. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



《経年比較(令和 3 年度～令和 7 年度)》

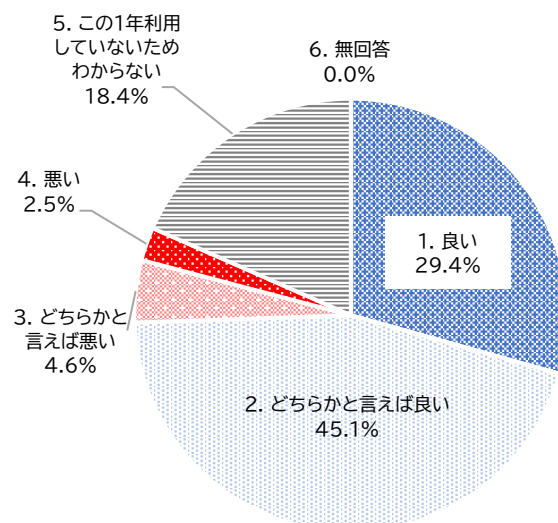
- 「わからない」が令和 4 年度より増加傾向にある。
- 他は概ね横ばいの推移となっている。



問 33 あなたは、この1年間で市役所職員の窓口や電話での対応(服装、挨拶、応対等)は、どのように感じていますか。(〇は1つ)

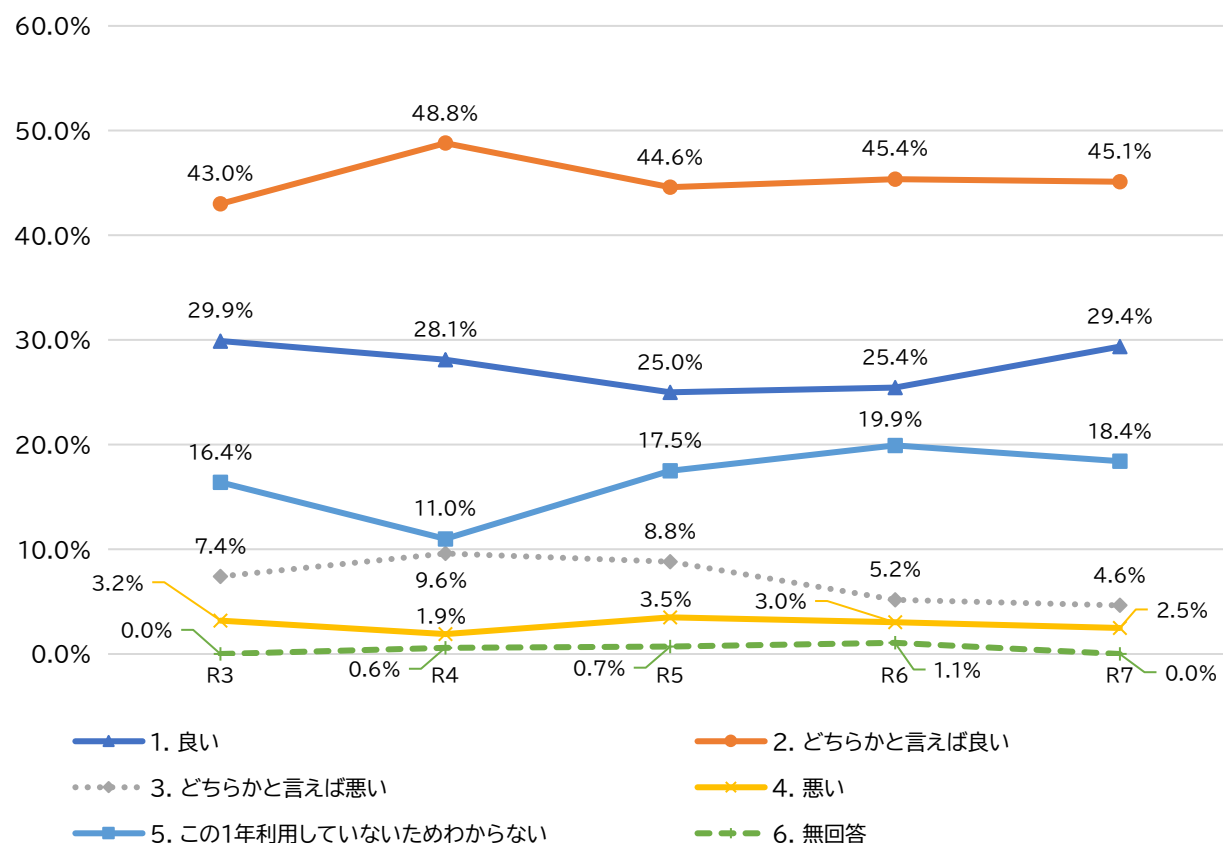
- 市職員の対応について、「どちらかと言えば良い」が45.1%と最も高く、次いで「良い」が29.4%となっている。

項目	回答数	構成比
1. 良い	177	29.4%
2. どちらかと言えば良い	272	45.1%
3. どちらかと言えば悪い	28	4.6%
4. 悪い	15	2.5%
5. この1年利用していないためわからない	111	18.4%
6. 無回答	0	0.0%
計	603	100%



《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 「良い」が令和5年度より増加傾向にある。
- 「どちらかと言えば悪い」が減少傾向にある。



問 33-2 前問で「3. どちらかと言えば悪い」、「4. 悪い」と答えた方に伺います。どのような点で悪い印象を感じましたか。(あてはまるもの全てに○)

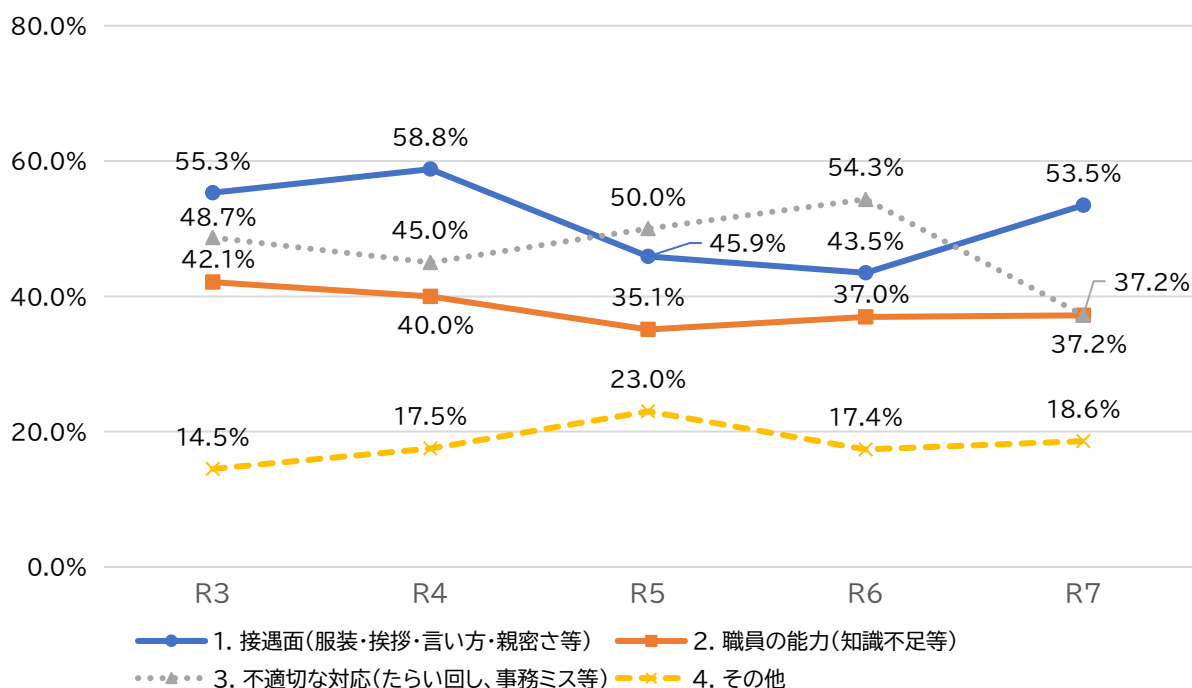
- 市職員の対応に悪い印象を感じた方のうち、その理由として、「接遇面(服装・挨拶・言い方・親密さ等)」が53.5%と最も高く、次いで、「職員の能力(知識不足等)」、「不適切な対応(たらい回し、事務ミス等)」が37.2%で同率となっている。

項目	回答数	構成比
1. 接遇面(服装・挨拶・言い方・親密さ等)	23	53.5%
2. 職員の能力(知識不足等)	16	37.2%
3. 不適切な対応(たらい回し、事務ミス等)	16	37.2%
4. その他	8	18.6%

※回答者数(43人)を母数として構成比を算出し、複数回答であるため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和7年度)》

- 令和6年度と比較して、「不適切な対応(たらい回し、事務ミス等)」が減少傾向にある一方、「接遇面(服装・挨拶・言い方・親密さ等)」が増加傾向にある。



《「4. その他」の主な内容》

- ・時間がかかることが多い
- ・他人任せで窓口に出てこない
- ・通路で職員同士のおしゃべり
- ・ブレーキング音で連絡したが、対応してくれない

10. まちづくりに対する満足度、重要度について

問 34 次の(1)～(5)の分野ごとに、まちづくりに対する現在の取組状況に関する満足度と今後取り組むべき重要度についてご意見をお聞きます。(「満足度」、「重要度」について、1～5の中から○を1つ)

【満足度】 満足＝5 やや満足＝4 普通＝3 やや不満＝2 不満＝1

【重要度】 重要＝5 やや重要＝4 普通＝3 あまり重要でない＝2 重要でない＝1

□ 政策分野別集計

み

- ・ 第5次豊見城市総合計画に掲げる5つの政策に基づき(1)～(5)の分野を設定した。
- ・ 各施策における平均点を「評価点」とする。
- ・ 無回答は集計除外としたため、施策ごとの回答数は一致しない。

(1)子どもが活きる夢と希望にみちたまち

施策		満足度						重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	(平均点)	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	(平均点)
		5	4	3	2	1		5	4	3	2	1	
1-1 子ども・若者の未来支援	回答数	36	103	389	53	22	3.13	345	106	148	2	2	4.31
	構成比	6.0%	17.1%	64.5%	8.8%	3.6%		57.2%	17.6%	24.6%	0.3%	0.3%	
1-2 親と子の健康づくりの推進	回答数	37	77	451	28	10	3.17	236	127	227	8	5	3.96
	構成比	6.1%	12.8%	74.8%	4.6%	1.7%		39.1%	21.1%	37.7%	1.3%	0.8%	
1-3 義務教育の充実	回答数	44	92	407	47	13	3.18	308	114	179	1	1	4.21
	構成比	7.3%	15.3%	67.5%	7.8%	2.1%		51.0%	18.9%	29.7%	0.2%	0.2%	
1-4 地域文化の振興	回答数	27	58	500	16	2	3.15	115	131	319	29	9	3.52
	構成比	4.5%	9.6%	82.9%	2.7%	0.3%		19.1%	21.7%	52.9%	4.8%	1.5%	
1-5 生涯学習社会の確立	回答数	24	62	475	33	9	3.10	134	145	297	22	5	3.63
	構成比	4.0%	10.3%	78.7%	5.5%	1.5%		22.2%	24.0%	49.3%	3.7%	0.8%	
1-6 県外・国際交流の活性化	回答数	27	59	491	24	2	3.14	76	117	346	47	17	3.31
	構成比	4.5%	9.8%	81.4%	4.0%	0.3%		12.6%	19.4%	57.4%	7.8%	2.8%	
1-7 スポーツ・レクリエーションの振興	回答数	45	80	442	31	5	3.21	116	137	317	25	8	3.54
	構成比	7.5%	13.3%	73.3%	5.1%	0.8%		19.3%	22.7%	52.6%	4.1%	1.3%	

- 満足度については、各施策の評価点が 3.00 ポイントを超えており、「スポーツ・レクリエーションの振興」が 3.21 ポイントと最も高く、次いで「義務教育の充実」が 3.18 ポイントとなっている。
- 重要度については、評価点が 4.00 ポイントを超える施策が 2 つ(「子ども・若者の未来支援(4.31)」 「義務教育の充実(4.21)」)ある。
- 重要度において、最もポイントの高い「子ども・若者の未来支援」については、全 34 施策中においても第 1 位のポイントとなっていることから、本施策における市民ニーズの高さが伺える。



(2)健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

施策		満足度						重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	(平均点) 評価点	重要	やや重要	普通	あまりない	重要でない	(平均点) 評価点
		5	4	3	2	1		5	4	3	2	1	
2-1 健康づくりの推進	回答数	36	74	439	46	8	3.14	223	140	233	7	0	3.96
	構成比	6.0%	12.3%	72.8%	7.6%	1.3%		37.0%	23.2%	38.6%	1.2%	0.0%	
2-2 地域福祉のまちづくり	回答数	22	67	469	35	10	3.09	172	134	280	17	0	3.76
	構成比	3.6%	11.1%	77.8%	5.8%	1.7%		28.5%	22.2%	46.5%	2.8%	0.0%	
2-3 男女共同参画社会の形成	回答数	22	41	511	23	6	3.08	161	119	308	8	7	3.69
	構成比	3.7%	6.8%	84.7%	3.8%	1.0%		26.7%	19.7%	51.1%	1.3%	1.2%	
2-4 平和行政の推進	回答数	26	48	500	24	5	3.11	120	114	336	19	14	3.51
	構成比	4.3%	8.0%	82.9%	4.0%	0.8%		19.9%	18.9%	55.7%	3.2%	2.3%	
2-5 高齢者福祉の充実	回答数	27	60	464	42	10	3.09	187	169	234	9	4	3.87
	構成比	4.5%	10.0%	76.9%	7.0%	1.6%		31.0%	28.0%	38.8%	1.5%	0.7%	
2-6 障がい者福祉の充実	回答数	27	61	475	34	6	3.11	191	159	240	11	2	3.87
	構成比	4.5%	10.1%	78.8%	5.6%	1.0%		31.7%	26.4%	39.8%	1.8%	0.3%	

- 満足度については、各施策の評価点が 3.00 ポイントを超えており、「健康づくりの推進」が 3.14 ポイントと最も高く、次いで「平和行政の推進」「障がい者福祉の充実」が 3.11 ポイントとなっている。
- 重要度については、「健康づくりの推進」が 3.96 ポイントで最も高く、次いで「高齢者福祉の充実」「障がい者福祉の充実」が 3.87 ポイントとなっている。

(3)活気ある豊かなまち

施策		満足度						重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	(平均点)	重要	やや重要	普通	あまりない	重要でない	(平均点)
		5	4	3	2	1		5	4	3	2	1	
3-1 農業の振興	回答数	30	82	454	30	7	3.16	196	149	252	3	3	3.88
	構成比	5.0%	13.6%	75.3%	5.0%	1.1%		32.5%	24.7%	41.8%	0.5%	0.5%	
3-2 水産業の振興	回答数	29	44	492	34	4	3.10	137	150	298	13	5	3.67
	構成比	4.8%	7.3%	81.6%	5.6%	0.7%		22.7%	24.9%	49.4%	2.2%	0.8%	
3-3 商工業の振興	回答数	30	55	489	26	3	3.14	154	166	276	5	2	3.77
	構成比	5.0%	9.1%	81.1%	4.3%	0.5%		25.6%	27.5%	45.8%	0.8%	0.3%	
3-4 企業立地の支援	回答数	28	66	471	32	6	3.13	134	164	283	15	7	3.67
	構成比	4.6%	11.0%	78.1%	5.3%	1.0%		22.2%	27.2%	46.9%	2.5%	1.2%	
3-5 観光・リゾート産業の振興	回答数	36	83	444	30	10	3.17	113	152	306	25	7	3.56
	構成比	6.0%	13.8%	73.5%	5.0%	1.7%		18.7%	25.2%	50.8%	4.1%	1.2%	
3-6 雇用の安定	回答数	24	53	473	42	11	3.06	186	147	265	2	3	3.85
	構成比	4.0%	8.8%	78.4%	7.0%	1.8%		30.8%	24.4%	44.0%	0.3%	0.5%	

- 満足度については、「観光・リゾート産業の振興」が 3.17 ポイントと最も高く、次いで「農業の振興」が 3.16 ポイントとなっている。
- 重要度については、「農業の振興」が 3.88 ポイントと最も高く、次いで「雇用の安定」が 3.85 ポイント、「商工業の振興」が 3.77 ポイントの順となっている。

(4)環境に優しい住みよいまち

施策		満足度						重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	(平均点)	重要	やや重要	普通	あまりでない	重要でない	(平均点)
		5	4	3	2	1		5	4	3	2	1	
4-1 環境の保全	回答数	36	89	444	29	5	3.20	161	159	274	8	1	3.78
	構成比	6.0%	14.8%	73.6%	4.8%	0.8%		26.7%	26.4%	45.4%	1.3%	0.2%	
4-2 生活衛生の充実	回答数	43	94	414	43	9	3.20	203	159	240	1	0	3.94
	構成比	7.1%	15.6%	68.7%	7.1%	1.5%		33.7%	26.3%	39.8%	0.2%	0.0%	
4-3 計画的な土地利用の推進	回答数	21	46	462	59	15	3.00	160	141	293	8	1	3.75
	構成比	3.5%	7.6%	76.6%	9.8%	2.5%		26.5%	23.4%	48.6%	1.3%	0.2%	
4-4 調和のとれた市街地・まちなみの整備	回答数	34	65	446	45	13	3.10	167	138	284	12	2	3.76
	構成比	5.6%	10.8%	74.0%	7.5%	2.1%		27.7%	22.9%	47.1%	2.0%	0.3%	
4-5 道路網等の整備	回答数	27	63	339	121	53	2.82	251	150	194	7	1	4.07
	構成比	4.5%	10.4%	56.2%	20.1%	8.8%		41.6%	24.9%	32.2%	1.1%	0.2%	
4-6 公共交通サービスの維持・向上	回答数	28	58	395	83	39	2.92	200	158	238	5	2	3.91
	構成比	4.6%	9.6%	65.5%	13.8%	6.5%		33.2%	26.2%	39.5%	0.8%	0.3%	
4-7 公園・緑地の整備	回答数	46	79	397	63	18	3.12	172	151	265	12	3	3.79
	構成比	7.6%	13.1%	65.8%	10.5%	3.0%		28.5%	25.0%	44.0%	2.0%	0.5%	
4-8 水の安定供給	回答数	128	115	332	22	6	3.56	320	78	203	2	0	4.19
	構成比	21.2%	19.1%	55.1%	3.6%	1.0%		53.1%	12.9%	33.7%	0.3%	0.0%	
4-9 下水道の整備・汚水処理の推進	回答数	71	89	369	51	23	3.22	316	105	178	4	0	4.22
	構成比	11.8%	14.8%	61.2%	8.4%	3.8%		52.4%	17.4%	29.5%	0.7%	0.0%	

- 満足度については、「水の安定供給」が 3.56 ポイントと最も高く、次いで「下水道の整備・汚水処理の推進」が 3.22 ポイントとなっている。
- 重要度については、評価点が 4.00 ポイントを超える施策が 3 つ(「下水道の整備・汚水処理の推進(4.22)」 「水の安定供給(4.19)」 「道路網等の整備(4.07)」)ある。

(5)安全安心な協働のまち

施策		満足度						重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	(平均点)	重要	やや重要	普通	あまりでない	重要でない	(平均点)
		5	4	3	2	1		5	4	3	2	1	
5-1 コミュニティの振興	回答数	22	59	494	23	5	3.12	112	139	332	15	5	3.56
	構成比	3.7%	9.8%	81.9%	3.8%	0.8%		18.6%	23.0%	55.1%	2.5%	0.8%	
5-2 防災・危機管理の強化	回答数	32	80	445	41	5	3.15	237	154	207	3	2	4.03
	構成比	5.3%	13.3%	73.8%	6.8%	0.8%		39.3%	25.6%	34.3%	0.5%	0.3%	
5-3 防犯・交通安全の推進	回答数	31	75	455	33	9	3.14	243	146	213	1	0	4.05
	構成比	5.1%	12.4%	75.5%	5.5%	1.5%		40.3%	24.2%	35.3%	0.2%	0.0%	
5-4 消防と救命救急体制の充実	回答数	51	74	458	14	6	3.25	240	136	224	3	0	4.02
	構成比	8.5%	12.3%	75.9%	2.3%	1.0%		39.8%	22.6%	37.1%	0.5%	0.0%	
5-5 広報・広聴の推進	回答数	42	87	445	23	6	3.23	116	136	331	16	4	3.57
	構成比	7.0%	14.4%	73.8%	3.8%	1.0%		19.2%	22.6%	54.9%	2.6%	0.7%	
5-6 行政運営・行財政改革の推進	回答数	25	71	473	26	8	3.13	153	152	289	9	0	3.74
	構成比	4.2%	11.8%	78.4%	4.3%	1.3%		25.4%	25.2%	47.9%	1.5%	0.0%	

- 満足度については、各施策の評価点が 3.00 ポイントを超えており、「消防と救命救急体制の充実」が 3.25 ポイントと最も高く、次いで「広報・広聴の推進」が 3.23 ポイントとなっている。
- 重要度については、評価点が 4.00 ポイントを超える施策が 3 つ(「防犯・交通安全の推進(4.05)」 「防災・危機管理の強化(4.03)」 「消防と救命救急体制の充実(4.02)」)ある。



□ 満足度・重要度評価点 順位表（全34施策）

- 全体的な評価として、満足度評価点の平均値は 3.14 ポイント、重要度評価点の平均値は 3.82 ポイントとなっている。
- 満足度については、「水の安定供給」が 3.56 ポイントと最も高く、「道路網等の整備」が 2.82 ポイントと最も低くなっている。
- 重要度については、「子ども・若者の未来支援」が 4.31 ポイントと最も高く、「県外・国際交流の活性化」が 3.31 ポイントと最も低くなっている。

【満足度】

【重要度】

順位	施策 番号	施策名	R6 満足度 評価点	R7 満足度 評価点	順位	施策 番号	施策名	R6 重要度 評価点	R7 重要度 評価点
1	4-8	水の安定供給	3.54	↗ 3.56	1	1-1	子ども・若者の未来支援	4.35	↘ 4.31
2	5-4	消防と救命救急体制の充実	3.22	↗ 3.25	2	4-9	下水道の整備・汚水処理の推進	4.28	↘ 4.22
3	5-5	広報・広聴の推進	3.20	↗ 3.23	3	1-3	義務教育の充実	4.23	↘ 4.21
4	4-9	下水道の整備・汚水処理の推進	3.22	→ 3.22	4	4-8	水の安定供給	4.33	↘ 4.19
5	1-7	スポーツ・レクリエーションの振興	3.07	↗ 3.21	5	4-5	道路網等の整備	4.17	↘ 4.07
6	4-1	環境の保全	3.17	↗ 3.20	6	5-3	防犯・交通安全の推進	4.12	↘ 4.05
7	4-2	生活衛生の充実	3.15	↗ 3.20	7	5-2	防災・危機管理の強化	4.14	↘ 4.03
8	1-3	義務教育の充実	3.09	↗ 3.18	8	5-4	消防と救命救急体制の充実	4.11	↘ 4.02
9	3-5	観光・リゾート産業の振興	3.11	↗ 3.17	9	1-2	親と子の健康づくりの推進	4.01	↘ 3.96
10	1-2	親と子の健康づくりの推進	3.14	↗ 3.17	10	2-1	健康づくりの推進	3.94	↗ 3.96
11	3-1	農業の振興	3.12	↗ 3.16	11	4-2	生活衛生の充実	4.05	↘ 3.94
12	5-2	防災・危機管理の強化	3.10	↗ 3.15	12	4-6	公共交通サービスの維持・向上	4.00	↘ 3.91
13	1-4	地域文化の振興	3.12	↗ 3.15	13	3-1	農業の振興	3.93	↘ 3.88
14	5-3	防犯・交通安全の推進	3.13	↗ 3.14	14	2-5	高齢者福祉の充実	3.99	↘ 3.87
15	1-6	県外・国際交流の活性化	3.03	↗ 3.14	15	2-6	障がい者福祉の充実	3.96	↘ 3.87
16	2-1	健康づくりの推進	3.16	↘ 3.14	16	3-6	雇用の安定	3.91	↘ 3.85
17	3-3	商工業の振興	3.09	↗ 3.14	平均値			3.87	3.82
平均値			3.09	3.14	17	4-7	公園・緑地の整備	3.92	↘ 3.79
18	5-6	行政運営・行財政改革の推進	3.08	↗ 3.13	18	4-1	環境の保全	3.84	↘ 3.78
19	1-1	子ども・若者の未来支援	3.11	↗ 3.13	19	3-3	商工業の振興	3.85	↘ 3.77
20	3-4	企業立地の支援	3.06	↗ 3.13	20	2-2	地域福祉のまちづくり	3.80	↘ 3.76
21	4-7	公園・緑地の整備	3.07	↗ 3.12	21	4-4	調和のとれた市街地・まちなみの整備	3.82	↘ 3.76
22	5-1	コミュニティの振興	3.08	↗ 3.12	22	4-3	計画的な土地利用の推進	3.80	↘ 3.75
23	2-6	障がい者福祉の充実	3.09	↗ 3.11	23	5-6	行政運営・行財政改革の推進	3.70	↗ 3.74
24	2-4	平和行政の推進	3.09	↗ 3.11	24	2-3	男女共同参画社会の形成	3.49	↘ 3.69
25	4-4	調和のとれた市街地・まちなみの整備	3.05	↗ 3.10	25	3-4	企業立地の支援	3.67	→ 3.67
26	3-2	水産業の振興	3.03	↗ 3.10	26	3-2	水産業の振興	3.67	→ 3.67
27	1-5	生涯学習社会の確立	3.03	↗ 3.10	27	1-5	生涯学習社会の確立	3.67	↘ 3.63
28	2-2	地域福祉のまちづくり	3.06	↗ 3.09	28	5-5	広報・広聴の推進	3.55	↗ 3.57
29	2-5	高齢者福祉の充実	3.04	↗ 3.09	29	3-5	観光・リゾート産業の振興	3.62	↘ 3.56
30	2-3	男女共同参画社会の形成	3.04	↗ 3.08	30	5-1	コミュニティの振興	3.55	↗ 3.56
31	3-6	雇用の安定	3.02	↗ 3.06	31	1-7	スポーツ・レクリエーションの振興	3.49	↗ 3.54
32	4-3	計画的な土地利用の推進	2.96	↗ 3.00	32	1-4	地域文化の振興	3.50	↗ 3.52
33	4-6	公共交通サービスの維持・向上	2.81	↗ 2.92	33	2-4	平和行政の推進	3.57	↘ 3.51
34	4-5	道路網等の整備	2.81	→ 2.82	34	1-6	県外・国際交流の活性化	3.36	↘ 3.31

□ 満足度・重要度のギャップ

- 満足度が低く、かつ、重要度が高いと評価された(満足度と重要度の隔たりが大きい)施策については、「道路網等の整備」が▲1.25 ポイントと最もその差が大きく、次いで「子ども・若者の未来支援」が▲1.18 ポイント、「義務教育の充実」が▲1.03 ポイントと続いている。

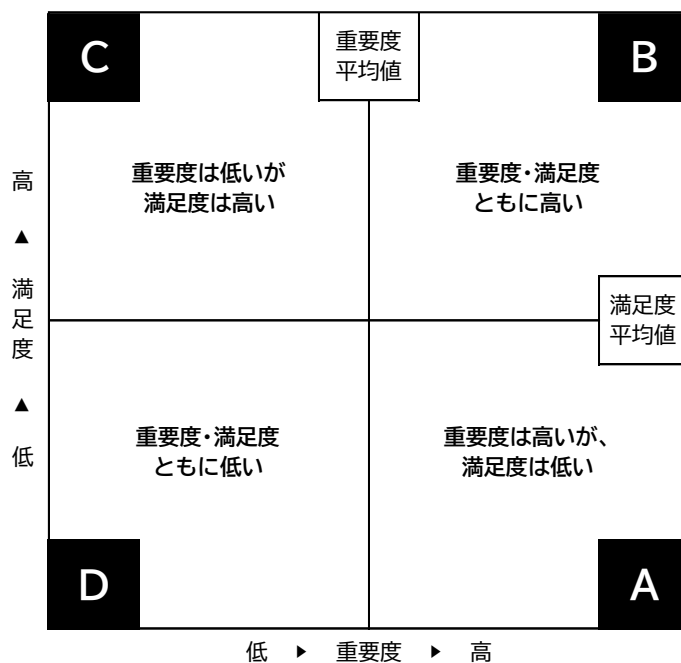
順位	施策番号	施策名	満足度評価点	重要度評価点	満足度－重要度
1	4-5	道路網等の整備	2.82	4.07	▲ 1.25
2	1-1	子ども・若者の未来支援	3.13	4.31	▲ 1.18
3	1-3	義務教育の充実	3.18	4.21	▲ 1.03
4	4-9	下水道の整備・汚水処理の推進	3.22	4.22	▲1.00
5	4-6	公共交通サービスの維持・向上	2.92	3.91	▲ 0.99
6	5-3	防犯・交通安全の推進	3.14	4.05	▲0.91
7	5-2	防災・危機管理の強化	3.15	4.03	▲ 0.88
8	2-1	健康づくりの推進	3.14	3.96	▲ 0.82
9	1-2	親と子の健康づくりの推進	3.17	3.96	▲ 0.79
10	3-6	雇用の安定	3.06	3.85	▲ 0.79
11	2-5	高齢者福祉の充実	3.09	3.87	▲0.78
12	5-4	消防と救命救急体制の充実	3.25	4.02	▲ 0.77
13	2-6	障がい者福祉の充実	3.11	3.87	▲ 0.76
14	4-3	計画的な土地利用の推進	3.00	3.75	▲ 0.75
15	4-2	生活衛生の充実	3.20	3.94	▲ 0.74
16	3-1	農業の振興	3.16	3.88	▲ 0.72
17	2-2	地域福祉のまちづくり	3.09	3.76	▲ 0.67
18	4-7	公園・緑地の整備	3.12	3.79	▲ 0.67
19	4-4	調和のとれた市街地・まちなみの整備	3.10	3.76	▲0.66
20	3-3	商工業の振興	3.14	3.77	▲ 0.63
21	4-8	水の安定供給	3.56	4.19	▲ 0.63
22	5-6	行政運営・行財政改革の推進	3.13	3.74	▲ 0.61
23	2-3	男女共同参画社会の形成	3.08	3.69	▲ 0.61
24	4-1	環境の保全	3.20	3.78	▲ 0.58
25	3-2	水産業の振興	3.10	3.67	▲ 0.57
26	3-4	企業立地の支援	3.13	3.67	▲ 0.54
27	1-5	生涯学習社会の確立	3.10	3.63	▲ 0.53
28	5-1	コミュニティの振興	3.12	3.56	▲ 0.44
29	2-4	平和行政の推進	3.11	3.51	▲ 0.40
30	3-5	観光・リゾート産業の振興	3.17	3.56	▲ 0.39
31	1-4	地域文化の振興	3.15	3.52	▲ 0.37
32	5-5	広報・広聴の推進	3.23	3.57	▲ 0.34
33	1-7	スポーツ・レクリエーションの振興	3.21	3.54	▲ 0.33
34	1-6	県外・国際交流の活性化	3.14	3.31	▲ 0.17



□ 満足度・重要度の相対分布

満足度を縦軸、重要度を横軸にとり、各施策の満足度・重要度の座標点を基に分布図を作成し、平均値を基準としたクロス分析を行った。

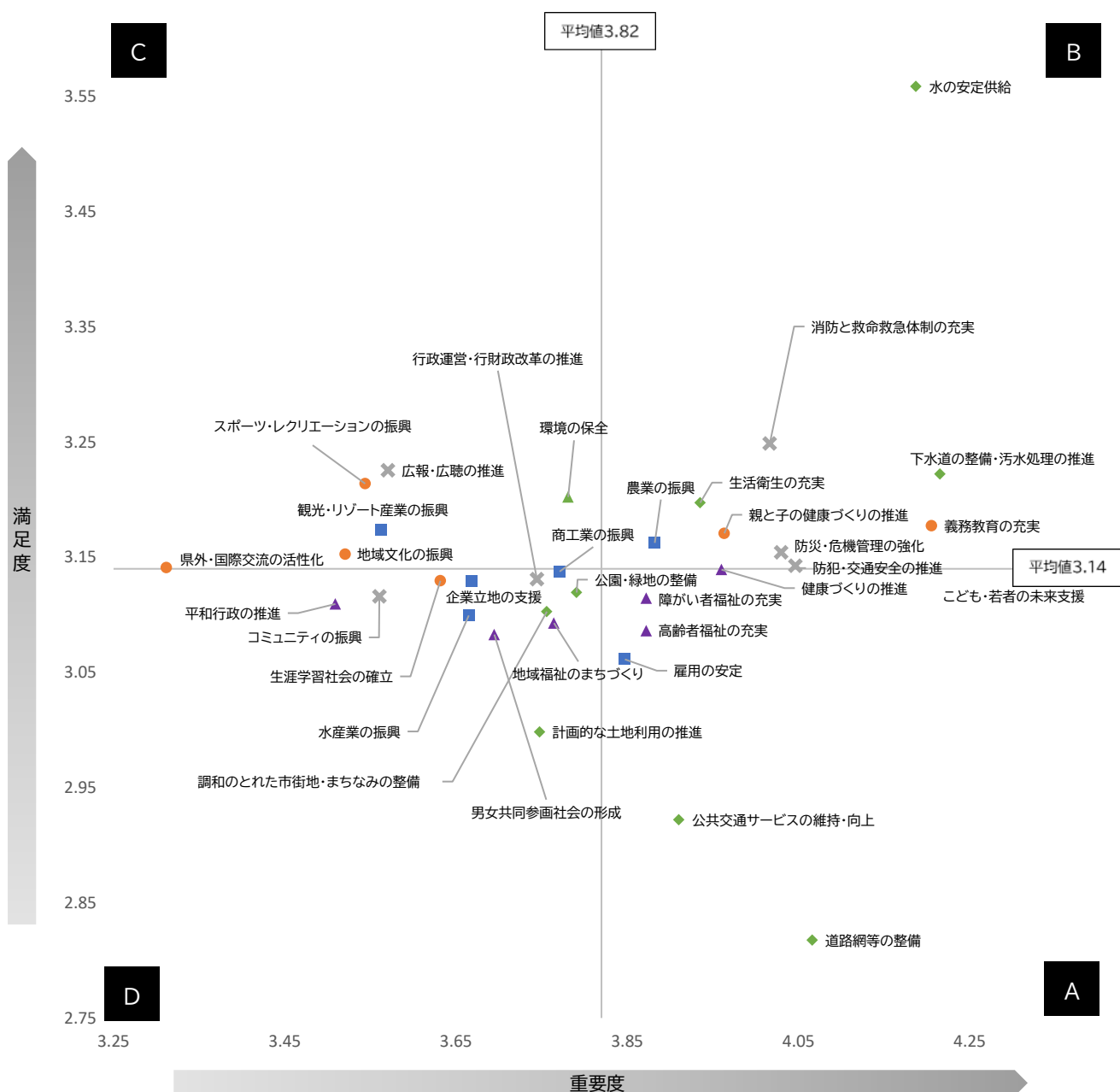
平均値の基準線を基に満足度・重要度の高低により各施策を4つの区分に分け、整理した。



- 「A(重点改善項目)」のエリアにおいては、満足度・重要度のギャップが大きかった「道路網等の整備」や「公共交通サービスの維持・向上」等の施策が位置しており、改善に向けた今後の取組が強く求められる。
- 「B(重点維持項目)」のエリアにおいては、「4 環境に優しい住みよいまち」「5 安全安心な協働のまち」の施策が多く位置しており、引き続き、現状の取組を維持、または、向上していくことが求められる。
- 「D(改善項目)」のエリアにおいては、「計画的な土地利用の推進」や「男女共同参画社会の形成」、「調和のとれた市街地・まちなみの整備」といった施策が位置しており、社会情勢の変化や市民ニーズを踏まえながら、今後の取組の改善が求められる。

< 第5次豊見城市総合計画 政策分野 >

- : 1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち
- ▲ : 2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち
- : 3 活気ある豊かなまち
- ◆ : 4 環境に優しい住みよいまち
- × : 5 安全安心な協働のまち



令和 7 年度
豊見城市 市民意識調査 報告書

豊見城市 企画部 企画調整課
〒901-0292 沖縄県豊見城市宜保一丁目1番地1
TEL : 098-850-0364
Mail : kikaku-g@city.tomigusuku.lg.jp
